

大町市統計要覧 2016

平成 28 年 版

厳しい風雪に耐えて、たくましく、心優しく生きる市民です (大町市民憲章第一章)

 <p>市の木／オオヤマザクラ</p>	<p>数ある桜の中でも北方に分布し、中部地方では、標高800メートル以上の高地に多く、大町市以南では群落は見られない。ほかの桜が短命で、春を告げた後、早々と散ってしまうのに比べ、オオヤマザクラは、5月半ばを過ぎても、里山で素朴なピンクの花を誇らせている。</p> <p>—麗しさのシンボル—</p>
 <p>市の花／カタカゴ</p>	<p>ユリ科の植物で、万葉時代から“カタカゴ”の名で知られている。田畑の残雪が消え終わらない3月末ころに、芽を出し美しい紫色の花を咲かせる。この花には、“初恋”という花言葉がつけられていて、山林の中でひそやかに花開く、その初々しい姿には、だれもが、なる程とうなずける。</p> <p>—優しさのシンボル—</p>
 <p>市の獣／カモシカ</p>	<p>国の特別天然記念物に指定されている珍獣で、名前に“シカ”とつけられているが、実はウシの仲間である。角は雄にも雌にもあり、抜け替わることはない。ふたつに分かれた爪を利用して上手に険しいところを歩くことができ、岩の上などにじっと立っている習性がある。</p> <p>—たくましさのシンボル—</p>
 <p>市の鳥／ライチョウ</p>	<p>日本アルプスの中で、2,000メートル以上の高山にのみ生息し、国の特別天然記念物に指定されている。“ゴロゴロ”と鳴くことから、“雷鳥”と名づけられた。キジやヤマドリと同じ仲間なので、飛翔はあまり得意でなく、天敵から身を守るために、夏の雄は黒褐色、雌は茶褐色、冬は純白とみごとに衣がえする。</p> <p>—愛らしさのシンボル—</p>
 <p>総合(木、花、獣、鳥)</p>	<p>四つのシンボルを総合したもの。市の顔ともいえる美しい自然環境に生息する多くの動植物の中から、北アルプス一番街・大町に最もふさわしい、自然の麗しさ、優しさ、たくましさ、愛らしさのシンボルを選んだもので、「心の豊かさを誇れるまち」にしたいとの願いも込められている。</p>

はじめに

本書は大町市の自然や人口、産業、教育など各分野に関する基本的な統計資料を総合的に収録し、市勢の現況と推移発展を明らかにするものです。

特に本市は普通都市の形態をとりながら、工業、商業そして観光面にも意を注ぐことから、統計の果たす役割はきわめて大なるものがあります。

本書が、各分野で、基礎資料として広くご活用いただければ幸いです。

編集にあたりましては、より使いやすいうようにと努めてまいりましたが、内容に不備な点等ございましたら、皆様からご指導いただき、より一層の充実を図って参りたいと存じます。

終わりに本書刊行に当たり、貴重な資料をご提供いただきました関係各位に対し、心から感謝申し上げるとともに、今後とも一層のご協力をお願い申し上げます。

長野県大町市長 牛越 徹

くらしのすうじ

人口密度



1 k m² 50 人

出産



1 日に 0.4 人

死亡



1 日に 1.1 人

家族



1 世帯に 2.4 人

結婚



1 日に 0.2 組

離婚



1 日に 0.1 組

小学生



9.5 世帯に 1 人

転入



1 日に 2.4 人

転出



1 日に 2.8 人

決算



市民 1 人 609,877 円

市税



市民 1 人当たり 144,855 円

乗用車

(軽乗用車含む)



1 世帯に 1.5 台

(平成 28 年 10 月 1 日現在)

総 人 口 28,517 人

世 帯 数 11,844 戸

上水道



1 人 1 日平均 408ℓ

ごみ処理量



1 日当り 19.2 t

し尿処理量



1 日 28.4kℓ

緊急出動



1 日 9.3 件

消防職員



市民 620 人に 1 人

交通事故



1 日 0.5 件

病院・医院



395 世帯に 1 院

耕地面積



1 農家当り 127.9a

商店



43 世帯に 1 店

教 員



小学生 10.1 に 1 人
中学生 9.1 に 1 人

市議会議員



市民 1,782 人に 1 人

市職員



市民 93.2 人に 1 人

利用者のために

- 1 本書は原則として、大町市の全般的な基本資料を掲載しています。
- 2 本書は原則として、平成25年及び最新の資料を収録しました。ただし、資料の有無、性質、及び編集の都合により、異なるものもあります。
- 3 新大町市誕生(平成18年1月1日)前の数値については、合併前の大町市、旧八坂村、旧美麻村の合算値を表示しています。なお、合算できない統計表については、旧市村単位または、合併前の大町市の数値を表示しています。
- 4 資料は各官公庁・民間事業所及び庁内各部課等からの提供によるものと企画財政課において直接調査収集したもので、その出所は各表脚注に掲げてあります。
- 5 調査の時点、時期については、特に注記しないかぎり次のとおりです。
 - 「年」「年次」……………暦 年(1月～12月)
 - 「年 度」……………会計年度(4月～翌年3月)
 - 「年・月・日」……………調査年月日
- 6 数字の単位未満は、四捨五入してありますので、総数欄の数字と内訳の計は必ずしも一致しません。また、すでに公表されている数値と相違するものは、編集の際に訂正したものです。
- 7 統計中の符号は次のとおりです。
 - 「－」 事実のないもの
 - 「…」 不詳または調査を欠くもの
 - 「0」 掲載単位に満たぬもの
 - 「△」 マイナスまたは赤字のもの
 - 「X」 調査対象が少なく秘密保護のため伏字としたもの

目 次

	くらしのすうじ	1
	利用者のために	3
	目 次	4
	沿 革	10
	明治以降の合併系図	11
	市 史 年 表	12
1	土 地・気 象	29
	位置と面積	29
	地目別土地面積	29
	年次別気象概況	30
	降雪・積雪量	30
2	人 口	31
	人口の推移	31
	年齢3区分別人口構成比の推移	32
	年齢3区分別人口の推移	32
	大字別人口の推移	33
	人 口 動 態	34
	出生率の推移	34
	年齢（5歳階級）別人口構成	35
	国籍別外国人登録者数	35
	人口集中地区別人口・面積・人口密度 D I D s	36
	15歳以上男女別労働力人口	36
	産業分類別就業者数	37
	産業別従業上の地位・男女別15歳以上就業者数	37
	職業分類別就業者数	38
	世帯人員別一般世帯数及び一般世帯人員	38
	世帯の家族類型別一般世帯数・一般世帯人員及び親族人員	39
	高齢者の年齢（5区分）、男女別高齢単身者数	39
	住居の種類、住宅の所有の関係別65歳以上の親族のいる一般世帯数・人員、 1世帯当たり延べ面積及び1人当たり延べ面積	40
	住居の種類・住宅の所有の関係別一般世帯数・人員、 1世帯当たり延べ面積及び1人当たり延べ面積	41
	常住人口・流入流出人口及び昼間人口（通勤・通学ほか）	42
	通勤者市町村別内訳（15歳以上）	43

	通学者市町村別内訳（15歳以上）	44
	町名別、男女別人口及び世帯数	45
3	行政	49
	議会の開催状況	49
	市議会委員会の状況	49
	市議会会派別議員数	50
	年齢別議員数	50
	選挙の執行状況	51
	選挙人名簿登録者数等の推移	53
4	財政	54
	一般会計歳入決算・歳出決算構成比	54
	会計別決算の状況	55
	市税の収入状況	55
	歳入内容別決算状況（一般会計）	57
	歳出内容別決算状況（一般会計）	57
	目的別市債の状況	58
	市税市民負担額の推移	59
	地方交付税の状況（普通交付税）	59
	市有財産	59
5	農林業	60
	専業・兼業別農家数と農家人口	60
	販売農家における主副業別農家数	60
	経営耕地面積の推移	61
	経営耕地の規模別農家数	62
	販売農家における農家人口と就業状態別世帯員数	62
	販売農家における年齢別農家人口	63
	販売農家における家畜の頭羽数	63
	販売農家農業用機械所有台数	63
	農地の移動状況	64
	林野面積	64
6	事業所	65
	事業所数・従業者数の推移	65
	産業大分類別事業所数	65
	産業大分類別従業者数	66

7	工 業	67
	産業中分類別の製造品出荷額等の推移	67
	年次別の工場数・従業者数・製造品出荷額等の推移	67
8	商 業	68
	卸売・小売業の推移	68
	年間商品販売額の推移	68
	商業の推移	68
	産業中分類別年間商品販売額の推移（卸売・小売業）	69
9	教 育・文 化	70
	学校総覧	70
	幼稚園の状況	70
	小学校の状況	71
	中学校の状況	71
	高等学校の状況	71
	中学校進路別卒業生数	72
	高等学校進路別卒業生数	72
	高等学校卒業生の産業大分類別就職者数（県内）	73
	高等学校卒業生の職業分類別就職者数（県内）	73
	高等学校卒業生の県内地区別就職者数	74
	高等学校卒業生の都道府県別大学等進学者数	74
	奨学金貸与の状況	74
	図書館貸出冊数の推移	75
	図書館登録者数の推移	75
	図書館の蔵書と利用冊数	75
	夏期大学講座の受講者数	76
	山岳博物館の観覧状況	76
	文化財	77
10	労 働	87
	一般職業紹介の状況	87
	雇用保険失業給付の支給状況	87
	産業別平均賃金の実態	88
	附属施設の利用状況	88
	業種別・主な事故の型別労働災害発生状況	89

11	社 会・福 祉	90
	保育施設	90
	保育園の入園児童数の推移	90
	市民課窓口事務の処理状況	91
	国民健康保険被保険者数・決算状況	91
	国民健康保険給付状況	91
	福祉医療費支給状況	92
	老人福祉の状況	92
	福祉施設の利用状況	92
	障害別身体障害者数の推移	93
	知的障害者数の推移	93
	生活保護状況の推移	93
	生活保護費の推移	94
	共同募金の状況	94
12	保 健 衛 生	95
	医療施設数・医療従事者数の推移	95
	主な死因別死亡者数の推移	95
	市立大町総合病院の利用状況（延数）	95
	予防接種・検診等の状況	96
	ごみ処理の状況	97
	し尿処理の状況	97
	狂犬病予防法による犬の登録及び注射状況	97
	公害苦情処理件数	98
	北アルプス広域葬祭場の利用状況	98
13	建 設	99
	主要道路	99
	橋梁数	99
	主要河川	100
	幅員別の道路状況	101
	都市計画区域	101
	地域地区	101
	都市計画用途地域	102
	都市計画区域内の用途地域の指定のない区域	102
	建築確認申請の状況	102
	都市施設	103

14	水道・電気・ガス	104
	大町市水道事業普及状況	104
	大町市公営簡易水道事業普及状況	104
	大町市水道事業配水量の推移	104
	大町市公営簡易水道事業配水量の推移	104
	大町市水道事業用途別栓数と給水量	105
	大町市水道事業水源施設状況	105
	大町市公営簡易水道事業水源施設状況	105
	都市ガスの需給状況	106
	電力需給状況	106
15	運輸・通信	107
	信濃大町駅乗車人員の推移（一日平均）	107
	加入電話・公衆電話の回線数	107
	自動車の保有台数	107
	有線放送の利用状況	108
16	金融・市民生活	109
	金融機関の預金・貸出残高状況	109
	消費者物価指数（年平均）	109
	制度資金の利用状況	110
	一人当たりの市民所得	110
	産業別市町村内総生産	110
	市町村民所得・可処分所得の分配	111
17	公 安	112
	消防施設と人員	112
	救急出動及び搬送状況	112
	出火原因別の出火件数	112
	火災の発生件数・焼失面積と損害額等	113
	山岳遭難事故の状況	113
	交通違反	114
	交通事故	114
	刑法犯罪の発生件数と検挙件数	114
	民事事件の推移	115
	刑事事件の推移	115
	家事事件の推移	115

18	観	光	116
		観光客の入込数の推移（延数）	116
		観光客の入込数（スキー場）	116
		観光地等の概要	117
		北アルプスの紹介	120
		大町の山岳標高一覧（2,400m以上）	121
	資	料	122
		行政組織機構図	123
		課等の事務分掌	125
		社会施設	126
		体育施設	127

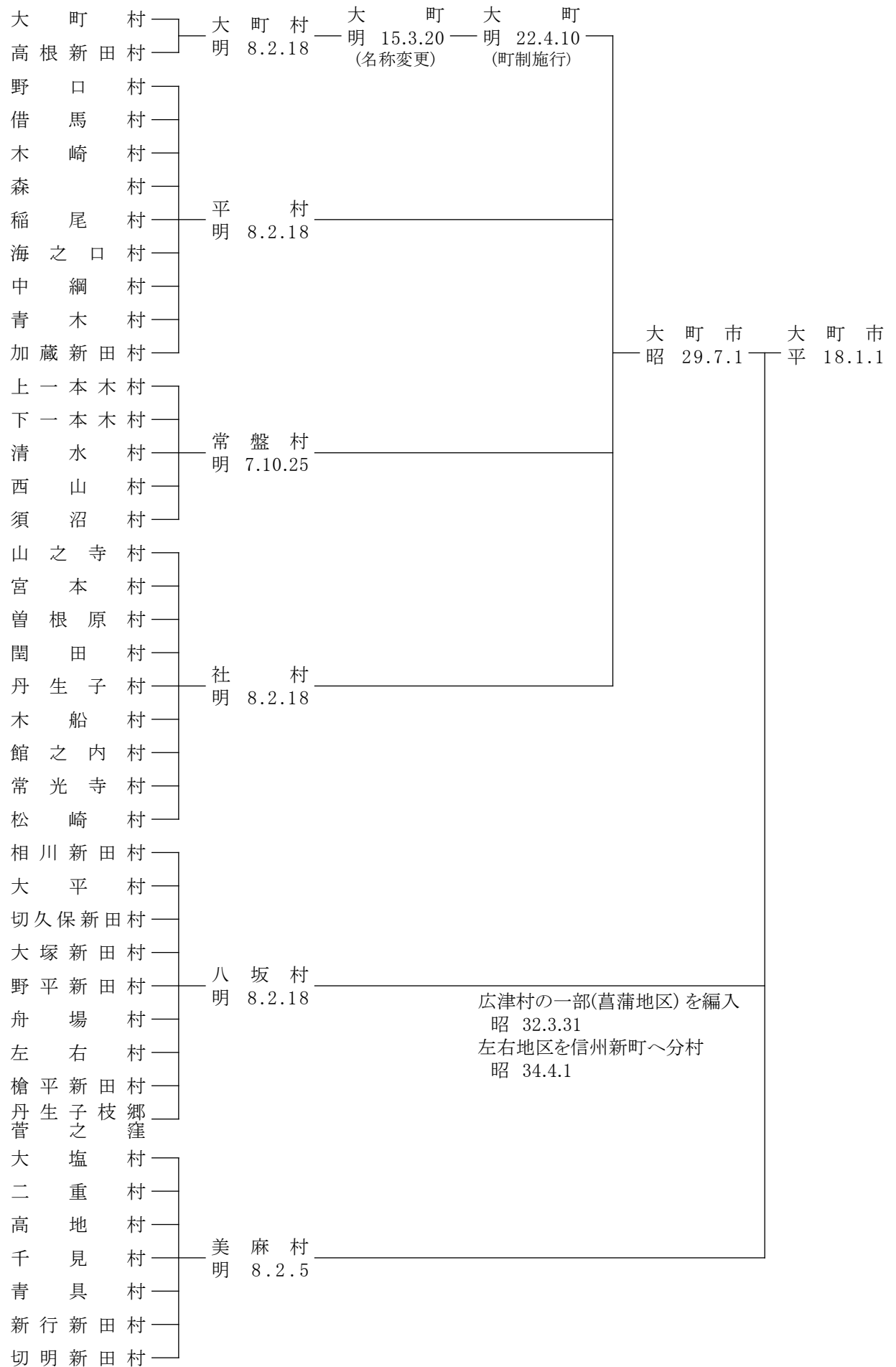
沿 革

この地方が、わが国の歴史の上に現われるようになったのは約900年前、伊勢の皇太神宮御領としての仁科御厨が設定されてからである。早くからこの地方に定着していた仁科氏は、この御厨を預かって神宮への神役を果たしていたことから勢力を得、さらに進んで大町、平、常盤の開発にも力を用いてこれを皇室御領仁科庄とし、みずからはこれをも預かって支配するようになった。

仁科氏は、平安時代末から鎌倉時代に社の館の内に居館を構えたが、室町時代に入ってから大町に居館を移して広く糸魚川方面にまで勢力を張るにいたった。この地方が仁科と呼ばれるようになったのは、このような歴史的事情があつてのことである。仁科氏は早くから京都や伊勢と深いつながりをもっていた関係で、中央の進んだ文化をとり入れてこの地方の開発に意を注ぎ、仁科神明宮本殿及び中門(国宝)等のすぐれた文化財をのこしている。しかし今から約400年前、戦国時代の終わり近くにいたって、武田信玄のためその家系を絶っている。信玄はその子盛信をつかわしてその名跡をつがせたが、天正9年高遠城に去ってからまもなく、松本城を回復した小笠原氏の勢力下に入ることになり、この地方の支配関係に一大変革をきたすことになったのである。その後江戸時代になってから、松本藩では北安曇地域に大町、池田、松川の3組を置いて治めていた。大町市域では、大町平(大町村、高根新田村及び平地区9カ村)と八郷(社区8カ村)とが大町組に、常盤地区5カ村が松川組に、現社地区山ノ寺村が池田組に属していた。仁科氏が領有していた年時から、この地域は北方日本海岸の北陸道ぞいの糸魚川方面と、南方松本方面とを結ぶ千国道(後の糸魚川街道)が通じており、海産物をはじめ多くの物資が流通し、信州における経済的交通路の一つとして重視されていたのである。そして、それらの物資や付近から多く産出した麻類その他集散地であつた大町は、宿駅的性格を基盤として商業都市として栄えるに至つたのである。明治維新後大町市域は、一時松本県に属したが明治4年筑摩県の成立するに及んでその管下に入り、同9年筑摩県が長野県の管下に移ることとなつた。明治8年村々の合併の議が進み大町村と高根新田村が合併して大町村、社地区の9カ村を社村、平地区の9カ村を平村、常盤地区の5カ村を常盤村、八坂地区の8カ村1地区を八坂村、美麻地区7カ村を美麻村とした。同年22年町村制が実施され、その後多少の推移を経て昭和29年7月1日にいたって町村合併促進法により、大町・社村・平村・常盤村の1町3村の間に合併の議が成立し大町市が誕生した。

また、平成15年3月に、大町市、北安曇郡八坂村及び同郡美麻村の3市村で任意合併協議会を設置し、合併協議を進め、平成16年2月には法定合併協議会に発展させ、平成18年1月1日に合併特例法の適用を受け3市村の合併が実現し、現在にいたっている。

明治以降の合併系図



市 史 年 表

年 月 日	事 項
S 29. 5. 24	大町、平村、常盤村及び社村の合併の調印が成立
25	大町、平村、常盤村及び社村の町村長から長野県知事あてに町村合併によって大町市を設置し昭和29年7月1日から施行したい旨申請
6. 17	大町、平村、常盤村及び社村を廃し、その地区をもって大町市をおき、昭和29年7月1日から施行する旨知事名で告示(県告示第329号)
28	県告示の内容を内閣総理大臣名で告示(総理府告示第548号)
7. 1	市制施行
25	市長選挙、初代市長松田正人氏が当選
8. 1	大町市消防団結団式
10. 1	公益質屋を開設
S 30. 1. 14	社地区に上水道敷設
3. 20	市制施行後初の市議会議員選挙、定員30名
5. 10	大町～糸魚川間に直通バスの運行開始
7. 1	大町市連合婦人会が発足
8. 28	中綱に集団赤痢発生(患者発生数35人)
15	市立小中学校の完全給食を実施
11. 1	市財政の円滑な運用をはかるため愛市公債を発行
4	都市計画による大町駅前広場の拡張工事完成(工事費1,600万円)
12. 6	関電黒四発電所建設工事の資材輸送基地に大町市が決定し、市議会で協力援助を決議
S 31. 5. 20	大町警察署庁舎落成
6. 18	常盤中学校の普通教室、管理棟が新築落成(工事費1,425万円)
19	農作物の病虫害防除条例を制定
7. 30	日本専売公社大町出張所庁舎落成
9. 14	観音橋の架け替え工事完成(工事費2,840万円)
11. 27	市全域を都市計画区域に決定
S 32. 3. 27	山岳博物館指導の大映映画「白い山脈(動物記録映画)」完成、文部省特選となる
6. 3	北安曇教育会館落成
7. 31	鹿島大橋完成
8. 1	大町福祉園開設(工事費550万円)
15	大糸線全通
11. 1	大町山岳博物館落成開館(工事費360万円)
12	宮本橋の吊橋完成(工事費2,946万円)
23	大町高等学校校舎落成
12. 20	大町平上水道の敷設工事完成(工事費 1億1,450万円)
S 33. 3. 20	大町市南部及び北部新農村建設計画を策定
25	関電大町トンネル貫通
5. 30	青木湖一周湖畔道路完成
6. 5	市議会で原水爆実験禁止を政府に要請する決議文を議決
7. 6	市長選挙が行われ松田正人氏が再度当選
10	都市計画による仁科町街路拡張工事が完成(工事費2,345万円)
12. 11	子ども劇場を開設
S 34. 1. 22	関電工事請負の熊谷組作業所が火災により焼失(損害額6,400万円)
2. 1	大町南部農事放送施設が完成(工事費1,330万円)
3. 12	上原遺跡を買収、復元に着手

- S 34. 3. 15 市議会議員一般選挙
 20 都市計画による町川下水路工事完成(工事費2,100万円)
 28 市立大町病院の一般病棟、結核病棟の増改築工事完成(工事費720万円)
4. 1 市立第一中学校・第二中学校・第三中学校となる
 1 収納事務の合理化をはかるため市収入証紙制度を採用
 1 北安南部伝染病院(池田町・松川村組合立)を大北伝染病院に統合
 5 野口橋の架け替え工事完成(工事費4,400万円)
6. 10 針ノ木岳周辺総合学術調査報告書を山岳博物館で出版、針ノ木自然園の基本計画できる
 7. 1 市制施行5周年記念式典及び祝賀行事を挙式
 1 市民会館落成(工事費4,310万円)
 10 天然記念物の「噴湯丘」が湯俣沢の増水で流失したことを発見
 17 大糸線信濃大町駅～信濃四ツ谷駅間の電化完成
8. 30 国宝仁科神明宮の防災工事完成(工事費180万円)
 9.26～27 伊勢湾台風により耕地、堤防などに大被害(被害額3億円)
 10. 30 国宝仁科神明宮の式年造営(工事費120万円)
- S 35. 2. 1 市内各町、区に自治会結成発足
 3. 1 大町北部農事放送施設が完成(工事費1,940万円)
 14 市財政の再建をはかるため財政再建申出を市議会で議決
 18 市建設計画を策定(建設基本計画及び実施計画を市議会で議決)
 31 総合グラウンド(野球場)完成(工事費2,800万円)
 7. 1 大糸線に北大町駅、稲尾駅が無人駅として開業
 9. 8 老人クラブ連合会結成
 15 総合グラウンドのテニスコート、バレーコートが完成(皇太子殿下成婚記念)(工事費105万円)
 24 常盤農業会館落成(工事費2,000万円)
11. 25 自治会連合会結成
- S 36. 2. 12 仁科神明宮の「縣仏」を重要文化財に指定
 3. 10 上原遺跡のタテ穴保存工事完成(工事費5万円)
 20 大町労働基準監督署庁舎落成
 27 皇太子殿下来市(昭和電工大町工場、大町山岳博物館などをご視察)
 28 宮本橋の吊橋に接続する永久橋完成(工事費3,600万円)
 28 大糸線にジーゼルカーの運転を開始
 29 第一中学校普通教室、特別教室、管理棟落成(工事費6,140万円)
4. 1 市の公金を取扱わせるため、市金庫を設置
 1 平、常盤、社の3支所を廃止し、それぞれに出張所を設置
 1 大町山岳博物館が高山植物「こまくさ」の低地栽培に成功
6. 15 秋父宮妃と高松宮ご夫妻が大町山岳博物館を見学
 29 梅雨前線豪雨により、鹿島川、高瀬川の堤防などに被害(被害額6,500万円)
7. 2 関電大町ルートに登山者用バスの運行を開始
10. 13 大町郵便局局舎落成
12. 1 第一中学校体育館落成(工事費2,288万円)(第一中学校建設工事が完了)
 1 かまど神社南に中央児童遊園地を設置(工事費95万円)
- S 37. 3. 17 安全都市を宣言、大町市安全会議を設置
 20 農業共済事業を市に移管
 3. 31 大北伝染病院落成(工事費1,114万円)
 4. 5 大町山岳博物館の北ア動物生態グループが雷鳥の生態研究結果を学会に発表
 10 皇居外苑保存会から「こぶ白鳥」ひとつがいが贈られ、木崎湖畔に「白鳥の池」を作って放鳥
 5. 1 大町市温泉開発株式会社が設立

- S 37. 6. 8 第3回全日本学生ワンデルングが鹿島大谷原で開かれる
27 鹿島川丸山堰堤完成(工事費3,100万円)
7. 15 市長選が行われ、縣聰氏が当選
9. 6 青島に共同養豚組合が誕生(事業費700万円)
10. 1 常盤地区に第三保育園を開設(工事費303万円)
20 大町保健所庁舎落成
11. 1 大町山岳博物館の裏山にカモシカ園をつくり、カモシカ「岳子」を放し飼い
10 し尿処理施設「衛生センター」が完成(工事費4,000万円)
10 葛温泉から上原、日向山、犬の窪までの引湯事業を県企画局が行うことに決定
12. 1 国鉄糸魚川～新宿間に急行列車の運行開始
9 大久保原で政財界、経済学者のグループによるエコノミスト村の起工式
(村長・稲葉秀三氏)
10 農業機械化センターを設置
12. 20 公明選挙都市を宣言
25 水道の統合拡張5ヶ年事業が認可
- S 38. 1. 30 隣接の美麻村から合併の申し入れ、大町市は研究を約束
2. 12 大町山岳博物館が北アルプス爺が岳で「冬期雷鳥調査」を開始
3. 15 居谷里地区に電灯がつき市内の無電灯世帯が解消
18 市議会で水稻農業共済事業の中止を議決
25 林道常盤線の災害復旧工事が完成(工事費960万円)
4. 6 源汲の永久橋架け替え工事が完成(工事費4,100万円)
6. 5 黒部ダムが完成
10 針ノ木自然園総合学術調査を開始(黒部の観光開発と並行して、学術的資料を整備)
22 葛温泉からの引湯起工式
29 雷雨をとまなう降雹、大町、北安地区をおそい農作物に被害(被害額2億4,000万円)
9. 4 市議会で松本諏訪地区新産都市指定申請に同意することを議決
10. 18 総合都市計画による街路の追加変更および廃止が認可(今後20年の都市計画街路網が正式に決定)
11. 18 水道拡張工事起工式(初年度事業着工)
12. 1 大町市社会福祉協議会が助産院を開設
1 鹿島槍国際スキー場が開設
- S 39. 1. 10 二ツ屋37年度災害復旧耕地事業完成(工事費926万円)
3. 3 大町市を含む松本諏訪地区が新産都市に指定される
4. 1 と蓄場移転落成(工事費1,309万円)
5. 13 木崎湖「白鳥の池」でこぶ白鳥のヒナ3羽かえる
23 上原地区に集団赤痢が発生(患者53人)
6. 25 市制施行10周年記念NHK公開放送「のど自慢大会」を開催
7. 1 市制施行10周年記念式典を行なう
8. 1 黒四ダムが観光地として一般に開放
3 南北農事有線放送間にケーブル接続工事が完成し通話が可能となる(工事費165万円)
7 工場誘致による大沢製作所が落成
8. 28 皇太子殿下ご夫妻が黒四ダムをご視察
9. 1 NHK大町テレビ中継放送所(サテライト局)開局
11. 14 葛温泉から犬の窪、上原、日向山地区への大町引湯事業しゅん工
- S 40. 3. 1 大町山岳博物館が秩父宮学術賞受賞
3. 17 大町市開発公社発足
4. 1 常設消防署発足
4. 1 大町市第四保育園開設

S 40.	8.	3	消防庁舎完成	
	10.	9	大町有料道路共用開始	
S 41.	1.	13	若一王子神社三重塔を県宝に指定	
	3.	1	大町市、北安地方の13農協が合併し大北農協が発足	
	4.	14	若一王子神社の社務所が全焼	
		15	大町山岳博物館にカモンカ放養園が完成	
		26	呉羽紡績と東洋紡績が合併し呉羽紡績大町工場が東洋紡績大町工場として発足	
		30	勤労者福祉センターが完成	
	7.	10	市長選挙、縣聰氏再選される	
	10.	10	常盤松原へ市営住宅20戸完成(松原団地へ初進出)	
		12.	14	大沢寺本堂など全焼
	S 42.	2.	25	社保育園しゅん工(工事費638万円)
3.			市内に微少地震群発(42.3~43.12)	
		3	市内中央通り駐車禁止	
		31	仁科台中学校しゅん工(工事費2億7,500万円)	
7.		21	農免道路全線開通(2,214m)	
S 43.		1.	28	市内電話自動化に切り換え
		2.	24	市営ごみ焼却場完成(工事費3,470万円)
	3.	21	市街地全面駐車禁止	
	7.	1	社地籍の国土調査開始	
		19	市民浴場完成(工事費2,522万円)	
	9.	14	老人福祉センター完成(工事費1,540万円)	
		23	第1回戦没者慰霊祭	
		24	大町小学校校舎1棟全焼	
	10.	1	大北農協のカントリーエレベーター完成(工事費1億2,000万円)	
	11.	10	大原2号団地へ市営住宅10戸完成	
		14	中部圏開発整備の保全区域として指定される	
	S 44.	2.	28	厚生事業センター落成(工事費820万円)
		4.	1	第五保育園落成(工事費1,115万円)
		17	異常降雪あり市内に被害でる	
		17	都市計画人口31,741人となる(建設省告示)	
5.		23	県山岳総合センターしゅん工	
6.		5	大町市、平両森林組合合併	
8.		1	五日町踏切(147号線)立体交差開通(工事費3億6,100万円)	
		2	大町小学校2棟建設起工式(工事費4,980万円)	
		11	集中豪雨災害(8.11災害)で災害救助法適用(被害額22億6,300万円)	
9.		8	大町市霊園工事着工(工事費1,620万円)	
		16	公害問題で気象調査開始	
		22	中山地籍牧草地造成完了	
11.		4	8.11集中豪雨災害復旧の大北地区合同起工式	
		6	扇沢総合案内センターしゅん工	
	11	大町市臨時市議会で火力発電所建設について受入れ決定		
	20	市民公園建設起工式(3ヶ年計画事業)		
S 45.	12.	10	大町市文化財審議委員会決定	
		12	霊松寺山線工事完了	
	1.	31	大町小学校2棟しゅん工	
	2.	19	米の生産調整で大町市の減反面積155ヘクタールの配分決まる	

- S 45 . 3 . 22 平小学校の野口(明治5年開設)、源汲(明治8年開設)分校閉校
- 3 . 25 市立大町病院(ベット数180床)の新築工事起工、3ヶ年計画で(土地買収費7,300万円、工事費5億813万円)一部地下、地上5階の規模
- 28 大町市霊園しゅん工
- 4 . 1 「敬老年金制度」満85歳以上の老人に年額6,000円の年金支給開始
- 22 大町市振興計画審議会発足
- 7 . 12 市長選挙で縣聰氏三選される
- 8 . 1 三日町来見原地籍「かしわくずれ1号墳」の埋蔵文化財発掘
- 10 . 12 市立図書館のしゅん工開館(工事費2,484万円)
- 24 大北地域公害対策推進協議会発足
- S 46 . 3 . 23 大町市振興計画基本構想議決
- 24 「大町市環境保全に関する条例」を制定
- 4 . 1 「敬老年金制度」満80歳以上の老人に年金6,000円支給拡大
- 6 . 1 立山・黒部アルペンルート全面開通
- 8 . 1 75歳以上の医療費無料となる
- 10 大北地域広域市町村圏事務組合発足
- 9 . 12 市立大町病院しゅん工
- 31 新築された市立大町病院の一般診療開始
- 12 . 10 平借馬地籍に市営住宅30戸建設完工(総工費3,660万円)
- S 47 . 1 . 1 児童手当支給
- 3 . 25 44年災害復旧工事完成(鹿島岩鼻など58ヶ所工事費1億2,000万円)
- 4 . 1 常盤2区国土調査開始
- 1 児童館開館(工事費738万円)
- 1 重度心身障害者の医療費無料となる
- 1 75歳以上老人の入院費無料となる
- 6 . 7 長野県総合防災訓練実施
- 26 大町市同和対策審議会発足
- 7 . 1 ゴミ収集区域の拡大と収集用紙袋へ切り替え
- 1 印鑑証明の様式変更
- 20 都市計画道路、中央道り線の拡幅工事に着工
- 7 . 県、市、業者の3者による自然保護協会締結(日向山高原、青木湖西部地区開発)
- 8 . 1 都市計画法による用途地域の原案、県から提示
- 24 小学校制度審議会「小学校制度」について答申
- 9 . 16 台風20号により水道、耕地、林道等に被害発生(常盤全域4日間断水)
- 10 . 31 し尿処理施設の増設工事完成(総工費1億500万円、1日50kl処理)
- 11 . 20 富山県氷見市と姉妹都市の調印
- 12 . 25 東京電力株式会社の高瀬川開発補償6億5千万円で調印
- S 48 . 1 . 1 高齢者(70歳以上)医療費無料となる
- 2.15~3.3 市長、中日親善のための中国訪問
- 3 . 1 南北有線合併により「大町市有線放送電話農業共同組合」として発足
- 25 山岳博物館のニホンカモシカ「太郎」と「辰子」が中国へ贈られる
- 29 第六保育園しゅん工(総工費6,400万円)
- 30 都市計画用途地域の公聴会実施される
- 31 都市計画公園(西公園)しゅん工
- 4.1~S49.3.31 人権モデル地区に指定される
- 4 . 1 常盤3区国土調査開始
- 1 2歳未満の乳幼児の医療費無料となる

- S 48 . 4 . 1 電子計算機(NEAC-1240)導入
6 . 15 「大町市勤労者互助会」発足
7 . 8 自治消防発足25周年記念大会
28 「土地を守る市民運動推進本部」発足
30 市民プールしゅん工(総工費約2,000万円)
9 . 8 大北福祉会館起工
10 . 1 「農業振興地域整備計画」公告
1 寝たきり老人の医療無料となる
15 都市計画法による用途地域告示
21 第1回大北身体障害者スポーツ大会
11 . 29 大町市土地改良区総代選挙
12 . 15 ごみ焼却炉電気集塵機増設
- S 49 . 1 . 5 運動公園建設工事着工
2 . 21 昭和53年長野県国体サッカー競技会場に決定
3 . 31 大北福祉会館しゅん工
6 . 2 常盤小学校東校舎焼失
30 市長選挙で縣聰氏四選
7 . 8 国道147号付け替え道路改良工事しゅん工(通称大町バイパス)
8 . 30 大町市土地開発公社設立
10 . 7 老人陶芸の家開館
11 . 1 母子家庭等の医療費等無料になる
3 市制施行20周年記念式典、名誉市民に、鳥羽實、松田正人、一志茂樹3氏を顕彰
- S 50 . 3 . 31 大町北小学校建設工事着工
5 . 8 勤労青少年ホーム開館
26 降雹による被害、常盤、社地区780戸(被害額1億6,000万円)
8 . 13 第一保育園焼失
10.1~2 第24回長野県公民館大会
12 . 1 常盤小学校校舎5教室しゅん工
- S 51 . 2 . 14 第一回大町市民同和大会
3 . 22 市庁舎起工、敷地18,500㎡ 総延建築面積8,825.105㎡
4 . 1 第一保育園移転新築完成
1 少年補導センター教育委員会内設置
5 . 1 大北緊急医療センター開設
6 . 30 養護老人ホーム「鹿島荘」新築移転(収容定員54名)
7 . 10 不用品交換コーナー開設
9 . 18 やまびこ国体実行委員会が発足
- S 52 . 2 . 26 第2回部落解放市民大会
3 . 22 市立平小学校閉校
4 . 4 市立大町北小学校開校
5 . 13 山岳博物館のニホンカモシカ「岳子」永眠(飼育21年3ヶ月余)
7 . 2 市民憲章を制定
21 市新庁舎が完成(総工費11億8,000万円)
30~31 国体リハーサル大会の全国選抜少年サッカー大会が開かれる
8 . 1 印鑑登録と証明が「登録証方式」(カード)に変わる
23 常盤・松川土地改良区が「高瀬川右岸土地改良区」に改称
9 . 12 大町市を美しくする推進協議会が発足
10 . 25 平地区県営ほ場事業起工式

- S 52 . 11 . 2 高瀬川右岸県営かんがい事業しゅん工
12 . 1 「広報おおまち」総集編発刊
- S 53 . 2 . 25 第3回部落解放市民大会
4 . 1 部落解放都市宣言
1 市立大町総合病院に院内学級開設
5 . 15 第33回国体大町市の炬火の名称「仁科かがり火」と決定
6 . 29 市長選で高橋恭男氏無投票で初当選
7 . 9 大町市運動公園陸上競技場(第3種公認)完成
8 . 2 大町市役所平出張所、旧平小学校跡に移転
10 . 13 大出橋しゅん工
15 第33回国体体育大会やまびこ国体開催(15日～20日)
16 やまびこ国体サッカー競技会開始式
19 常陸宮殿下ご夫妻サッカー競技ご観覧
11 . 2 仮称大町東小学校起工式
5 第1回全国健康マラソン大会
12 . 2 大町市社会会館開設
12 七倉ダムたん水開始
26 高瀬ダムたん水開始
- S 54 . 3 . 3 第4回部落解放市民大会
5 . 25 B&G財団大町海洋センター起工式
7 . 8 市制施行25周年記念式典
9 高齢者職業相談室開設
23 常盤小学校プール完成
24 社地区県営ほ場整備事業起工式
8.3～4 第1回大町やまびこまつり
10 大町合同庁舎しゅん工式
10 高瀬川上橋しゅん工式
22 大町ダム本体コンクリート打設開始式
8 . 27 第三保育園起工式
9 . 26 市立大町総合病院診療棟増築工事しゅん工式(人口透析、皮膚科、泌尿器科、脳神経外科診療開始)
26 西公園グランド照明灯点灯式
10 . 8 衛生センター汚泥浄化施設起工式
22 石油関係苦情相談所開設
11 . 9 市史編纂スタート
16～18 仁科神明宮遷宮祭
29 B&G財団大町海洋センター開所
- S 55 . 3 . 15 第5回部落解放市民大会
26 第三保育園完成(総工費2億157万円)
4 . 27 仁科の里めぐり周遊観光バススタート
5 . 15 東京電力・中の沢発電所営業運転開始(自流式最大出力4万2千キロワット)
21 大町ダム定礎式
26 五日町踏切横断地下歩道工事開始
6 . 29 長野地方裁判所・家庭裁判所大町支部・大町簡易裁判所・長野地方検察庁大町支部・大町地区検察庁の庁舎しゅん工
7 . 25 平グランドの夜間照明点灯
31 し尿浄化槽・汚泥処理施設が完成(工事費2億600万円)
8 . 2 第2回やまびこまつり

- S 55 . 8 . 6 市内施設めぐり実施される
11 「酒の博物館」が温泉郷にオープン
26 暴走族追放都市宣言
27 林業会館(平木崎)しゅん工
9 . 8 山岳博物館起工式
10 . 15 市立大町総合病院にCTスキャナー(コンピューター・X線断層撮影装置)を導入
12 . 28 大町市豪雪対策本部を設置(12月27日夕～1月7日断続的に大雪が降り大正2年以來の豪雪といわれる。56年5月30日解散)
- S 56 . 1 . 14 政府の雪害対策調査団が被害状況を視察
2 . 13 B&G大町海洋センター武道館しゅん工
3 . 28 第6回部落解放市民大会
31 市立社小学校閉校
4 . 4 市立東小学校開校
21 大町エネルギー博物館起工式
4.22～5.5 パンダ「ランラン」のはく製が山岳博物館で公開(貸出し第1号)
5 . 8 東京電力・新高瀬川発電所完成(最大出力128万キロワット)
18 五日町踏切横断地下歩道しゅん工(総工費2億2,855万円)
6 . 27 林道前越線しゅん工(工事費4億4,450万円)
7 . 1 大町市消費者問題協議会発足
8 . 1 第3回やまびこまつり
10 大町福祉園起工式(平野口)
11 . 27 大町市行政機構改善委員会発足
- S 57 . 3 . 6 第7回部落解放市民大会
4 . 28 大町エネルギー博物館開館(総工費3億2,000万円)
5 . 1 塩の道博物館開館
6 . 5 大町山岳博物館開館(総事業費4億9,300万円)
12 初代市長で名誉市民の松田正人さん死去(92歳)
15 核兵器廃絶・軍備縮小を推進する都市宣言
17 昭和電工大町工場でアルミ精錬を停止
7 . 4 市長選で高橋恭男氏再選される
9 B&G大町海洋センター多目的広場完成(社小跡地)
12 市立大町総合病院病棟増築工事始まる
13 児童生徒健全育成推進モデル地区に指定
8 . 1 公共事業の入札結果を公表
7 第4回やまびこまつり
大町霊園に墓地112区画完成
9 . 4 心身障害者救護施設「れんげ荘」しゅん工(収容定員80人)
9.24～10.8 NHK 大町市民のつどい開催「ひるのプレゼント」「おかあさんの勉強室」など収録
25 第1回交通安全推進市民大会
27 文化公園建設研究委員会発足
10 . 22 仁科三湖環境保全対策専門委員会発足
12 . 21 市立大町総合病院病棟増築工事しゅん工
- S 58 . 4 . 1 市役所出張所(平、常盤、社)を廃止 平、常盤、社に公民館が設置される
1 近藤紡績大町工場の操業開始
6 . 10 高瀬川観音橋の歩道新設
25 (仮称)大町西小学校校舎改築工事完成
7 . 5 金融相談所の開設
15 駅前駐車場整備工事完成

- S 58. 8. 2 築場バイパスの開通
 9. 14 大原住宅団地造成工事しゅん工
 30 扇沢無料駐車場完成
 12. 10 泉工場用地造成工事しゅん工
 28 木崎湖へ白鳥10羽飛来(102日滞在)
- S 59. 2. 28 大町市豪雪対策本部設置
 (2月27日から3月初めにかけて降雪、降雪量累計で56年をしのぐ。59年5月31日解散)
 4. 1 平公民館・働く婦人の家(複合施設)オープン(総工費3億500万円)
 1 市立大町西小学校落成開校
 5. 2 全天候テニスコートオープン
 7. 1 市制30周年記念式典、大町市史(第1・5巻)刊行
 1 国鉄信濃大町駅前整備計画委員会設置発足
 9 市立大町西小学校プールしゅん工式
 28 民俗資料館起工式
 8. 7 豊科・糸魚川高速自動車道建設促進期成同盟会設立総会
 7 青木湖ヒメマスセンターしゅん工式
 10 (仮称)大町南小学校起工式
 9. 15 40年ぶりに木崎湖畔に里帰りする会開催
 20 文化会館起工式
 10. 1 大町ダムたん水式
 6 天正寺の仁科氏居館跡を市文化財(史跡)に指定
 10 第1回大町シティマラソン開催
 23 箆川大橋起工式
 26 カモンカ2頭がオーストリア・インスブルック市のアルペン動物園を通じて、ウィーン市のシューンブルン宮殿動物園へ贈られる
 11. 19 大町市運動公園野球場建設工事起工式
 26 高瀬溪谷緑地公園(大町ダム公園)に泉小太郎モニュメント建立、除幕式が行われる
 30 国宝仁科神明宮の防災設備が完成(総工費1,359万円)
 12. 7 高瀬川堤防道路(市道須沼上一線)工事着工
 25 市制30周年記念事業、タイムカプセルを市役所の前庭へ埋設(開扉時期西暦2054年)
- S 60. 2. 18 大町市とオーストリア・インスブルック市、山岳博物館とアルペン動物園が友好提携の調印
 27 名誉市民一志茂樹さん死去
 4. 1 大北広域常備消防発足
 1 民俗資料館がオープン(総事業費1億3,000万円)
 5 東電大町発電所(大町ダム)の発電開始、出力1万3千キロワット
 27 動物交換のアルプスマーモット二つがい、インスブルック市から山岳博物館に到着、一般公開される
 5. 20 大町ワインが市場に出る(550本の限定販売、市価2,000円)
 7. 2 国営アルプス公園建設誘致促進期成同盟会設立総会開催される
 8. 9 扇沢(岩小屋沢)で土砂崩れ発生
 10 B&G財団大町海洋センターが市へ無償譲渡される
 19 (仮称)大町南小学校給食、特別教室棟が完成、使用開始
 10. 16 建設省「大町ダム」しゅん工
 11. 1 長野県建設労働者研修福祉センター「サン・アルプス大町」開館(総工費3億5,000万円)
 7 林道子熊黒沢線しゅん工(全長16.5km)
 10 大糸線ミステリー列車「のるじゃん号」運行(行き先 国鉄飯山駅)
 29 箆川大橋しゅん工式(総工事費1億9,800万円)
 12. 24 大糸線にヤナバスキー場前駅(臨時)が開設される

- S 61. 3. 1 大町市史全五巻が完結
 12 大町市第二次総合計画基本構想議決
 24 大町市ほか12市町村が「松本・日本アルプス国際観光モデル地区」に指定される
 29 大洞山霊松寺の山門、市文化財(有形文化財)に指定
 31 高瀬川右岸堤防道路が完成
 4. 20 大町市運動公園野球場がオープン(総事業費2億5,000万円)
 5. 28 文化会館(大町公民館併設)がオープン(総事業費16億8,800万円)
 6. 8 市立大町総合病院に全身用CTスキャナー導入
 30 市長選挙、高橋恭男無投票で三選
 30 新中湖橋が完成(総事業費2億3,640万円)
 9. 15 昭和電工(株)大町工場で合理化計画により275人の退職希望者出る
 30 常盤小学校(仮称大町南小学校)の体育館が完成(総事業費1億8,990万円)
 11. 1 住民記録オンラインシステム導入
 27 ごみ焼却場の建設着工
 12. 3 長野大北地域オリンピック関連道路整備促進期成同盟会設立総会が開催される
 16 大町市観光協会と千葉県鴨川市観光協会が姉妹提携の調印
- S 62. 3. 2 カワシンジュガイとヌマカイメンを市文化財(天然記念物)に指定
 23 大沢寺の木造阿弥陀如来立像を市文化財(有形文化財)に指定
 4. 1 市立大町南小学校開校
 1 市障害者等共同作業所「ひまわりの家」オープン
 1 大北地域が国の地域雇用開発等促進法の地域指定を受ける
 6 加藤寿々子さん(松本市)から、島崎藤村から著名文化人直筆の手紙、蔵書など340点の寄贈を受ける
 20 大町市運動公園多目的広場が完成、一般開放される
 5. 1 大町市運動公園相撲場、弓道場がオープン
 29 文化会館・大町公民館が東京建築賞・第13回建築作品コンクールで優秀賞を受賞
 7. 4 森林劇場起工式
 15 大町温泉郷にアルプス温泉博物館がオープン
 8. 17 大黒町の舞台(山車)が県宝に指定される
 19 大町市運動公園体育館起工式
 20 まちづくりヤングフォーラム(若い世代による公開討論会)が発足
 11.1~3 市立大町総合病院で創立60周年記念事業が行われる
 12 新相川トンネルしゅん工式
 29 暴力団追放大町地区総決起大会が開かれる
- S 63. 1. 14 市文化財に西正院の大姥尊坐像、天正寺山門(有形文化財)と霊松寺のオハツキイチョウ(天然記念物)を指定
 3. 5 1998年冬季オリンピックの国内候補地決定を前に、大北地区冬季オリンピック招致総決起大会が開かれる(6月1日JOC総会で国内候補地長野に決定)
 22 大町初の国際シンポジウム(21世紀のリゾートの造園の役割)が開催される
 30 ごみ焼却場のしゅん工式
 4. 1 大北地域の農業共済組合(北安曇地区、大町市、松川村)が合併。「北安曇地区農業共済組合」として発足
 25 (社)大町市シルバー人材センター(会員115人)が発足
 30 森林劇場完工式
 5. 26 高瀬川堤防道路しゅん工式
 7. 8 大北広域消防本部・大町消防署庁舎起工式
 8. 19 市内中学校に初の外国人英語講師(指導助手)招へい
 9. 26 大町市観光協会が募集した大町市の愛称に「北アルプス一番街」決まる

S	63	11	6	大町市運動公園総合体育館しゅん工式(総事業費9億8,000万円)
H	元	.1.28	~30	雪と氷の博覧会開催(延べ6万7,000人の人出)
		3	1	大町・平農協が大北農協と合併
			20	大北広域消防本部、新庁舎で業務開始(総事業費3億8,000万円)
			28	長性院の木造聖観世音菩薩立像を市文化財(有形文化財)に指定
		4	1	特別養護老人ホーム「カトレヤ」オープン
			25	農具川が環境庁の「ふるさといきものの里」に選定される
		5	13	夏期大学再建しゅん工式
		6	2	まちづくり懇談会56人でスタート
		7	1	市の木にオオヤマザクラ、花にカタクリ、獣にカモシカ、鳥にライチョウを制定
			2	市制施行35周年記念式典
		8	1	有線テレビ・ACVが放送開始
		10	1	共同福祉施設「フレンドプラザ大町」がオープン
			2	上原にディサービスセンター開所
H	2	2	8	仁科神明宮の作始め神事を県文化財(無形民俗文化財)に指定
			9	宮本橋架け替え工事起工式
		3	8	インスブルック市から友好提携5周年を記念して贈られたシャモア(アルプス・カモシカ)が山岳博物館に到着、一般公開される
		6	11	国営アルプスあづみの公園事業化決定
		7	1	市長選挙で腰原愛正氏初当選
			10	建設省が実施した「手づくり郷土(ふるさと)賞」で「塩の道」がふるさとの坂道30選の一つになる
		9	23	第1回まちづくりシンポジウム開催
		10	9	大町市有料道路が一般道になり、無料開放される
			23	常盤青島の高瀬河原にある基盤岩を市天然記念物に指定
		11	19	大町都市計画公園9.6.1号アルプスあづみの公園都市計画決定
		12	27	箆川発電計画同意書提出
H	3	1	1	駅前広場公園・文化公園完成
		2	20	大町都市計画公園9.6.1号アルプスあづみの公園事業承認
		3	25	立川市と姉妹都市の提携
			27	保健センター・大町公民館分室完成
		4	1	機構改革(部長制等導入)
		5	31	盛蓮寺の観音坐像、薬師堂の如来立像を指定有形文化財、一本木神社境内のカシワの木を指定天然記念物に指定
		6	15	IOC総会により1998年冬季オリンピック開催都市が長野に決定
		7	30	大町市専門委員(5人)、市政懇話会委員(12人)を任命
		8	31	常盤南住宅団地造成、団地(34区画)しゅん工
		11	1	山岳博物館40周年記念式典、インスブルックからオオヤマネコが贈られる
			9	第2回まちづくりシンポジウム開催
H	4	1	20	大町市在宅介護支援センターしゅん工式
		3	2	大町森林管理センター開所式
		4	19	森林生活改善センターしゅん工式
		5	1	高瀬溪谷タクシー乗り入れ開始
			19	市立大町山岳博物館、長野県大町高等学校のトキ標本、仏崎観音寺のアカマツ、天正寺のコウヤマキを市天然記念物に、弾誓寺観音堂木造伝弾誓上坐像と木造伝長音上人坐像を市有形文化財に指定
		6.20	~27	市民の海外視察団がヨーロッパを視察する
		7	14	常盤公民館再建しゅん工式(工事費3億4,600万円)

H	4.	9.18~27	インスブルック市のアルペン動物園30周年記念式典に参列し、カモシカの剥製を贈呈 インスブルック市からはクロライチョウの寄贈受ける
		10. 14	公共下水工事に着手 管きょ工事始まる
		11. 30	社山下にコミュニティ道路とポケットパーク完成
H	5.	3. 1	県景観重点地区に国道147号、148号沿いが指定される
		4. 1	老人訪問看護ステーション開所
		26	大北伝染病舎しゅん工式
		29	第1回緑化フェア開催
		5. 15	市役所が土曜完全閉庁になる
		6. 25	海の口のアカマツと俵町のキタコブシを天然記念物に指定
	7.2~10		第2回市民海外視察団ヨーロッパを視察する 山岳博物館からウィーンのシェーンブルン動物園に2頭のニホンカモシカを贈呈する
		30	信州博覧会「大町・北安曇の日」開催される
		8. 11	大町病院増改築工事起工式
		12	霊松寺の山門を県宝に指定
		20	社山下にカタクリの庭オープン
		11. 10	下水道終末処理場「大町浄水センター」起工式
H	6.	3. 24	西小学校の体育館が完成(竣工式)
		4. 22	木崎湖南にバイパスが完成
		5. 11	アルプス囲碁村オープン
		6. 26	大町市長選挙 腰原愛正氏無投票2選
		7. 26	松本空港ジェット化オープン
		8. 11	宮本橋が完成(竣工式)
		11. 3	(民俗資料館開設10周年に)市制40周年記念式典
		30	大町病院の新館が完成(竣工式)
H	7.	3. 14	市労働会館が完成
		4. 17	立川市と「姉妹都市相互支援協定」を締結
		5. 5	第1回アルプス囲碁子ども大会
		31	長野県総合防災訓練
		6. 3	劇団四季「演劇資料館」が開館
		12	大町らしい土産品をつくらうと「大町ブランド振興協会」設立
		7. 11	梅雨前線豪雨災害
		8. 22	氷見市と「姉妹都市相互支援協定」を締結
		9. 25	一般廃棄物最終処分場が高根町で着工
		22	アルプス搗精工場が完成(竣工式)
		23~24	第1回ロマン街道・塩の道産業と文化フェスティバル
		11. 13	社南部地区農業集落排水事業着工
		25	山岳博物館イヌワシ飼育舎が完成、一般公開
		5	ヨーロッパ・ジャパンウィーク参加
H	8.	1. 22	木崎湖バイパストンネルが貫通する
		31	大北職業訓練校新校舎が完成
		2. 28	大北広域市町村圏事務組合が「北アルプス広域行政組合」に改名する
		3. 28	大町総合病院増築整備事業が竣工する
		4. 7	女性消防団員17名が入団する
		15	「ゆーぷる木崎湖」竣工、20日オープン
		22	都市計画街路東町線220mが開通する
		5. 20	県知事を迎え、大北地域経済サミットが開催される
		21~24	第18回世界アマチュア囲碁選手権戦が開催される

- H 8. 6. 11 青木湖第一号トンネルが貫通する
 19 須沼工業団地へ第一号として企業が進出する
 7. 4 大北森林組合移転新築が完成する
 5 信濃大町駅開業80周年記念式典が行われる
 8. 1 信濃木崎夏季大学80周年記念式典が行われる
 9.21~22 塩の道会議開幕
 11. 11 第2次総合計画(後期5年計画) 答申される
 12. 3 堤防道路・蓮華大橋が完成し、冬季オリンピック関連道路開通する
 19 木崎湖バイパスが開通する
- H 9. 2. 3 昭和電工大町工場の発電水利権が更新許可
 3. 8 第1回UIターン者を対象に「ようこそ大町見学会」開催
 18 市役所庁舎分室が完成
 27 一般廃棄物最終処分場「グリーンパーク」と、し尿処理施設「クリーンプラント」の完成式
 31 大町市公共下水道の一部と社南部農業集落排水施設の全部が使用開始となる
 4. 1 「大町おひさまカード」のサービス開始
 9 「いーずら大町特産館」オープン
 21 老人保健施設「虹の家」開所式
 6. 13 五日町と八日町のポケットパークで竣工式
 7. 1 冬季五輪大町市対策本部設置
 8. 12 「自主防災会連絡会」設立総会
 10. 1 大町一長野間「急行バス」運行開始
 11. 29 JR大糸線完全復旧(南小谷一小滝駅間)
 12. 3 青木湖バイパスが開通
 24 三日町バイパスが開通
- H 10. 1. 15 どか雪・市内の積雪量73cm市役所に雪害対策本部を設置
 24 長野オリンピック冬季大会聖火リレー
 2.7~22 長野オリンピック冬季大会開催
 3. 1 長野パラリンピック冬季大会聖火リレー
 5~14 長野パラリンピック冬季大会開催
 6. 21 大町市長選挙 腰原愛正氏無投票3選
 7. 25 「北アルプスの里周遊バス」運行開始
 9. 22 台風7号風害。りんご落下などの被害
 10. 22 国営公園アルプスあづみの公園起工式
 27~28 第36回女流アマ囲碁都市対抗戦
- H 11. 1. 13 向井千秋さんの『宇宙短歌』下の句募集で南小4年の丹野真奈美さんが内閣総理大臣賞を受賞
 2. 10 若一王子神社「銅造十一面観音坐像御生体残闕」が県宝に指定
 3. 28 文化会館で『早春賦』のCD収録
 4. 25 大町市議会議員22人当選。女性議員2人誕生
 5. 28 大黒町ポケットパークが完成(市内4箇所目)
 26 郵政省のケア・タウン構想事業がスタート。同時期にサテライト型ディサービスが始まる
 7. 21 青島地区にニチコン(株)大町工場が完成
 9. 大崎遺跡で縄文時代のクッキーが出土(日本最古)
 16 山寺廃寺出土遺物の墨書経石など6点が県宝指定
 10. 1 新・市立図書館オープン。利用者は数倍に増加
 11.12~14 仁科神明宮で、20年に一度の式年正遷宮祭
 12. 3 やしろ公園東へ移転新築の第7保育園が完成
 25 東洋紡績(株)大町工場閉鎖

- H 12. 2. 1 北アルプス広域連合発足。連合長は大町市長
4. 1 市民バス「ふれあい号」運行開始
7 ディサービスセンターかたくり開所
8 資源物の分別収集開始
5. 8 基準を超えるダイオキシン類排出のため環境プラント焼却炉運転停止
27 「黒部の太陽」フェスタ・オープニングイベント 炊き出しとコンサート
8. 10 流鏝馬会館開館
10. 2 特定環境保全公共下水道終末処理場「松川浄水苑」通水式
18 市営住宅大原団地第1工区19戸完成
22 文化会館にて早春賦歌碑除幕式
11. 11 文化公園など4会場でおたんじょ桜340本植樹。25年継続計画
- H 13. 3. 23 大町市第三次総合計画基本構想議決
27 ふれあいプラザ(4月2日開所)、おおまち情報センター(4月1日開所)完成
4. 22 平運動場、野球場完成
6. 30 総合福祉センター起工
7. 25 信濃大町駅前のロータリーが道路改良で対面通行へ
8. 10 若一王子神社の流鏝馬の神事が、県無形民俗文化財に指定
9.28~10.1 第15回全日本シニアソフトボール大会開催
10. 2 大町公園に北アルプス展望園地完成
13 山岳博物館創立50周年式典とシンポジウム開催
21 第1回アルプス囲碁村まつり「県知事・大町市長杯争奪囲碁大会」開催
11. 5 ホクト産業(長野市)が大町市に進出を発表。臨時市議会は、工場等誘致振興条例の一部改正案を可決
- H 14. 1. 9 大雪で豪雪対策本部を4年ぶりに設置
10 環境プラント排ガス高度処理施設整備工事竣工
2. 14 北アルプス広域葬祭場使用開始
3. 15 山岳文化都市宣言
5. 11 第1回「笑顔と元気でまちづくり事業」公開審査会開催
24~27 第20回全国シニアソフトボール大町大会開催
6. 26 市役所がISO14001を認証取得
30 大町市長選挙 腰原愛正氏4選果す
8. 5 住民基本台帳ネットワークシステムがスタート
10. 1 総合福祉センターがオープン
- H 15. 1. 5 日本棋院から「第2回囲碁普及大賞」を受賞
2. 1 2003大町雪まつり～冬のファンタジア～開催
26 「信越連帯新道」関係史料、飯嶋家文書市の指定文化財に指定
3. 15 大町市、八坂村、美麻村「大北地域任意合併協議会」を設立
4. 1 第一中学校2学期制スタート
27 大町市議会議員一般選挙が行われる
7. 30 東町駐車場オープン
8. 15 「木崎湖花火大会」5年ぶりに復活
10.25~26 第7回全国ミニテニス交流信州大町大会が開催
12. 15 地元産のそば粉を使用したそば焼酎の完成発表(発売は1月1日から)
- H 16. 2. 4 大町市・八坂村・美麻村合併協議会を設立
3. 21 しらかば保育園しゅん工式
4. 1 大町市男女共同参画推進条例が施行
1 働く婦人の家が、女性未来館ピュアに名称変更

- H 16. 4. 4 蔵の音楽館しゅん工
5. 15 スケボーパークしゅん工
5.22～23 全国雪形フェスティバル開催
7. 6 第一中学校全面改築事業起工式
8.27～29 第10回全国シニアソフトボール古希大会開催
10.16～17 市制施行50周年「記念式典」及び「笑顔と元気の夢フェスタ」開催
20 社地区を中心に、台風23号による豪雨災害
- H 17. 2. 7 中心商店街火災
8 大町市・八坂村・美麻村合併調印式
4. 1 大町市南部在宅介護支援センター開所
5. 24 上原の湯しゅん工式
5. 30 第三配水地しゅん工式
7. 20 新児童館(児童センター)建設工事起工式
8. 31 高瀬溪谷緑地公園公衆トイレ完成
9.3～4 第39回全日本実業団対抗サイクルロードレース大会
10. 5 新観音橋開通式
11. 1 3市村社会福祉協議会合併協議調印式
21 市営住宅大原団地建設事業完成
25 第一中学校新校舎開き
27 八坂村閉村式
12. 11 美麻村閉村式
- H 18. 1. 1 大町市・八坂村・美麻村合併、新大町市誕生
1. 29 市議会議員増員選挙
2. 11 合併記念式典挙行
3. 2 第一中学校体育館完成式
27 新児童センター完成
31 信濃大町駅前公衆トイレ完成
4. 1 大町市社会福祉協議会合併
3 北アルプス平日夜間小児科・内科急病センター開所
5. 22 メンドシーノと姉妹都市の継続を調印
7. 2 牛越徹大町市長無投票当選
11. 1 大町商工会館、中心市街地多目的ホール・公衆トイレ完成
12. 22 第一中学校全面改築事業しゅん工式
20 第4次総合計画基本構想議決
- H 19. 3. 12 第4次総合計画策定
4. 15 アルプス囲碁村会館開館式
5. 24 はなのき保育園改築工事起工式
10. 19 七倉公衆トイレ完成
12. 10 信州大学と大町市が「連携に関する協定」を締結
26 美麻支所・美麻公民館しゅん工式
- H 20. 5. 20 はなのき保育園完成式
7. 22 街路若宮駅前線完成式
8. 5 仁科台中学校全面改築事業起工式
11. 26 緊急経済対策を発表
28 グリーンパーク第2期工事起工式
- H 21. 1. 30 デジタル同報系無線防災行政無線開局
7. 18 国営アルプスあづみの公園大町・松川地区開園

- H 21 . 10 . 1 南部地域包括支援センター開所式
11 運動公園サッカー場芝生全面改修工事完了
12 . 18 仁科台中学校新校舎開き
- H 22 . 2 . 9 鳥獣被害対策優良活動で農林水産大臣賞を受賞
3 . 25 一般廃棄物最終処分場(グリーンパーク)第2期工事しゅん工式
4 . 1 市民活動サポートセンター、消費生活センター、北部地域包括支援センター開所
16 町川発電所完成式
5.29~30 第10回アルプス囲碁村まつり、囲碁サミット2010
6 . 27 市長選で牛越徹氏再選される
7 . 13 もみのき・こぶし保育園統合改築工事起工式
22 JR信濃大町駅舎リニューアル記念セレモニー
11 . 7 第一中学校創立50周年記念式典
12 . 6 信州大学との連携に関する協定を再締結
14 仁科台中学校全面改築事業完成式
- H 23 . 2 . 19 美麻地域づくり会議があしたのまち・くらしづくり活動賞受賞
3 . 11 東日本大震災被災地へ市立大町病院DMAT派遣
4 . 1 大町きりりシネマに映画「岳-ガク-」を認定
1 市営ケーブルテレビ開局(全市域にエリア拡大)
11 くるみ保育園完成
16 立山黒部アルペンルート全線開通40周年
5 . 29 第1回病院祭開催
6 . 2 FM長野ラジオ番組「まるごとおおまち」放送開始
30 市道大崎西原線工事完成
7 . 3 大町市・立川市姉妹都市提携20周年記念事業
11 . 3 山岳博物館創立60周年記念式典・講演会
12 . 11 大町出身奥原希望さん全日本バドミントン総合選手権で史上最年少優勝
- H 24 . 4 . 20 「山岳図書資料館」開館
5 . 20 「信濃大町観光大使」を女優・仁科亜季子さんに委嘱
7.1~9.30 木崎湖舞台のアニメ「おねがい☆ティーチャー」放送10周年記念イベント
7.14~8.5 流鏝馬サミットin信濃大町
8 . 1 大町市で開催の全国高校総体女子サッカー大会に大町北高が出場
4 信濃大町キャラクター「おおまびよん」デビュー
31 「定住促進協働会議」を設立
11 . 3 奥原希望さんバドミントン世界ジュニア選手権女子シングルスで優勝
- H 25 . 4 . 1 AW. ウォーター(株)信濃大町工場が創業
1 地域おこし協力隊員を県内19市で初めて委嘱
1 大町市を「恋人の聖地」に選定
5 . 25 「くろよんまつり」開催
7 . 29 大町一中 農具川美化活動で長野県河川協会「河川関係功労者表彰」受賞
8.18~19 石原プロモーション会長・石原まき子さんが映画「黒部の太陽」ロケ地を初訪問
9 . 6 美麻小中学校が道路美化活動で長野県道路整備期成同盟会「道路事業功労者表彰」受賞
28 国営アルプスあづみの公園大町・松川地区溪流レクリエーションゾーンがオープン
11 . 12 大規模土砂災害を想定した国・県・市の合同防災訓練を初開催
12 . 3 宇海水稀さん(大町一中3年)が第13回アジアジュニア&カデット空手道選手権大会の
カデット女子形部門で初優勝
- H 26 . 2 . 17 八坂中学校「第12回未成年者飲酒防止ポスター・スローガン・学校賞募集キャンペーン」で学校
賞最優秀賞受賞

- H 26 . 2 . 28 北アルプス広域消防本部が通信指令室を新設
3 . 16 近江ハリーさんが第15回朝日新聞社オール学童水泳記録大会50m平泳ぎで全国優勝
29 山岳博物館リニューアルオープン
4 . 1 美麻小中学校が小中一貫教育校、コミュニティ・スクールとしてスタート
6 . 8 嶺村鴻汰さん(大町高-筑波大)が第98回日本陸上競技選手権大会男子走り幅跳びで優勝
8.1~3 扇沢駅でトロリーバス開通50周年記念イベント「トロバスフェスタ」開催
9 . 30 大町岳陽高校(仮称)新校舎(管理特別教室棟)完成
10 . 9 八坂中学校ガードレール磨きで「信州エコ大賞」奨励賞受賞
11 . 2 鷹狩山展望公園で「恋人の聖地」モニュメント除幕式
22 長野県神城断層地震発生 大町市で震度5弱
- H 27 . 4 . 8 オーストリア・インスブルック市と友好提携周年を記念し再締結
20 「恋人の聖地」大町市が全国で観光交流大賞受賞
5 . 26 松本山雅へ出資調印 ホームタウンに
6 . 16 長澤貞夫さん(名古屋長野県人会)を11人目の信濃大町観光大使に委嘱
7 . 1 大町総合病院南棟「さくら」完成
4 山岳博物館ライチョウ舎竣工、スパーバルライチョウ一般公開開始
8.20~8.22 第一中学校体操女子が県勢初の全国中学校体操競技選手権大会で団体3位獲得
9 . 19 国営アルプスあづみの公園大町・松川地区が開園からの来場者100万人達成
10 . 1 信濃大町アーティスト・イン・レジデンス事業推進協議会設立
2 嶺村鴻汰さん(モンテローザ)が第70回国民体育大会陸上競技成人男性走り幅跳びで優勝
11 . 15 宇海水稀さん(日本航空高校)が第9回世界ジュニア&カデット・アンダー21空手道選手権大会
ジュニア女子・形で優勝
20 黒部ダム入り込み100万人達成
12 . 13 奥原希望さん(日本ユニシス)バドミントン国際大会のスーパーシリーズファイナルズ
女子シングルスで優勝
- H 28 . 1 . 25 奥原希望さんに市特別栄誉賞を授与
3 . 3 大町高校、大町北高校がそれぞれ開校式
13 奥原希望さんバドミントン全英オープン優勝 日本勢39年ぶりの快挙
4 . 1 市役所にまちづくり交流課を新設
7 大町岳陽高校開校式
15 街路若宮駅前線が全面開通し完成式典と通り初め
5 . 6 美麻福祉企業センター竣工式
5.13~20 美麻小中学校児童などの訪問団がアメリカ・メンドシーノで交流
6 . 18 国営アルプスあづみの公園全園開園記念式典
25 嶺村鴻汰さん(モンテローザ)第100回日本陸上競技選手権大会男子走り幅跳びで優勝
7.22~24 上田瑠偉さんスカイランニング世界選手権でコンバインド男子2位となり、日本チームの
銅メダルに貢献
24 信濃大町駅開業100周年記念式典
8 . 2 宇海水稀さん(日本航空高校)全国高校総合体育大会(インターハイ)空手道で3連覇
19 リオデジャネイロ五輪バドミントン女子シングルスで奥原希望さんが日本勢初の銅メダル獲得
8.23~25 第一中学校体操女子が全国中学校体操競技選手権大会で団体3位、坂口彩夏さんが
種目別・跳馬優勝
29 奥原希望さんが帰郷し祝賀パレードに観客1万2千人 2度目の市特別栄誉賞を授与
10 . 1 仁科台中学校開校50周年記念式典
11 . 19 大町ダム完成30周年記念シンポジウム
12 . 11 文化会館開館30周年記念式典

1. 土地・気象

位置と面積

平成28年10月1日現在

位置	東 経	北 緯	標 高
大町市役所	137° 51' 3"	36° 30' 10"	726m
八坂支所	137° 55' 2"	36° 29' 7"	710m
美麻支所	137° 53' 38"	36° 43' 13"	872m
大 町 市 面 積			564.99km ²

資料：企画財政課

地目別土地面積

平成28年1月1日現在

単位：km² %

項 目	総 数	田	畑	宅 地	山 林	原 野	池 沼	雑 種 地	そ の 他
面 積	564.99	23.25	4.64	10.79	167.43	2.71	10.60	5.03	340.54
構 成 比	100.0	4.1	0.8	1.9	29.6	0.5	1.9	0.9	60.3

資料：税務課

年次別気象概況

年次	気 温			天 気 日 数		風 向 風 速		降 水 量		日照時間
	平均	最高	最低	快 晴	曇 天	平均	最大	総 量	最 大 日 量	
	°C	°C	°C	日	日	m/s	m/s	mm	mm	h
平成17年	9.5	33.5	△ 14.8	49	110	1.8	WNW11	1,261	75	1,592.8
18	9.6	33.7	△ 15.9	53	126	1.7	W10/NW10	1,604	80	1,571.2
19	10.1	34.5	△ 11.7	63	99	1.8	N11	1,107	53	1,694.0
20	9.6	33.4	△ 15.6	64	95	1.9	W12.8	1,208.5	87.5	1,863.8
21	9.8	31.9	△ 14.3	58	109	1.9	WNW11.4	1,579.0	64.5	1,822.7
22	10.1	33.9	△ 15.7	38	104	1.9	W11.7	1,695.5	74.0	1,701.9
23	9.3	33.2	△ 14.9	…	…	2.1	WSW12.1	1,582.5	117.0	1,812.9
24	9.2	34.0	△ 15.8	…	…	2.0	WNW11.5	1,230.5	53.5	1,814.0
25	9.6	33.7	△ 16.2	…	…	2.2	W11.8	1,397.5	104.0	2,014.5
26	9.3	33.9	△ 15.4	…	…	2.1	W11.0	1,531.0	59.0	1,902.4
27	10.1	34.2	△ 15.5	…	…	2.0	N10.9	1,472.0	64.0	1,872.7
28	10.5	33.7	△ 15.8	…	…	2.0	W12.3	1,414.5	72.0	1,870.5

資料：長野県地方気象台、北アルプス広域消防本部

注) 点線は、観測場所を移転した場合、観測装置を変更した場合または観測の時間間隔を変更した場合に、その前後のデータが均質でないことを示します。

降雪・積雪量

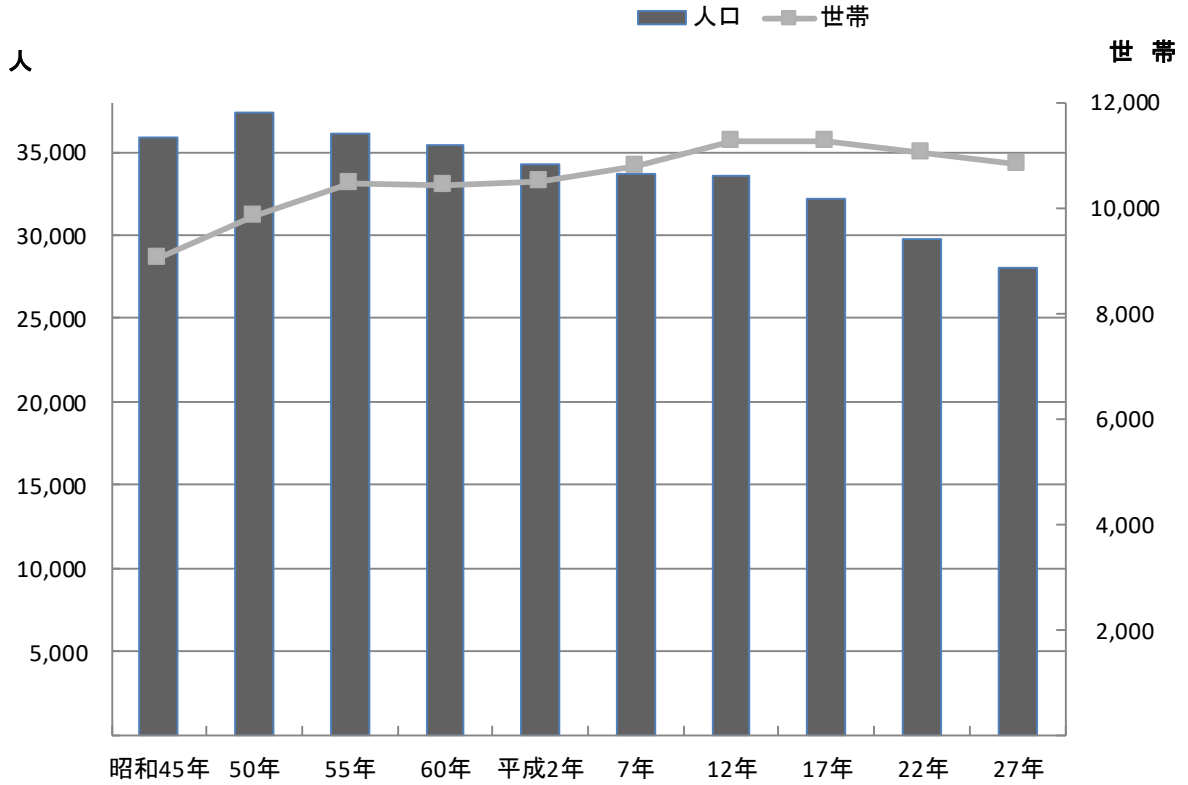
年次	降 雪 量		雪		月 別 積 雪 量 (最 深)			
	降雪量 合計	一日最大 降雪量	初 月 日	終 月 日	12月	1月	2月	3月
					cm	cm	cm	cm
平成13～14年	252	36	12. 8	4. 6	54	69	50	61
14～15	249	34	10. 29	4. 6	35	63	50	61
15～16	693	33	12. 9	4. 5	54	60	67	32
16～17	619	26	12. 6	4. 4	28	56	75	47
17～18	683	45	12. 3	4. 21	87	83	57	34
18～19	301	24	12. 18	3. 13	15	40	17	10
19～20	550	30	11. 21	4. 15	23	43	58	58
20～21	377	27	11. 19	3. 27	23	31	27	12
21～22	560	34	12. 17	4. 17	38	55	60	36
22～23	403	22	12. 9	3. 26	18	51	44	10
23～24	500	22	12. 24	4. 16	18	39	48	22
24～25	470	39	12. 1	3. 8	33	44	56	34
25～26	380	40	12. 10	3. 15	25	22	70	20
26～27	520	37	12. 5	3. 13	70	78	93	44

資料：長野地方気象台

注) 1.「降雪量合計」は平成15～16年以降、集計方法が変わったため前年と比較できない。

2.「降雪量合計」は11月～翌年4月までの数値です。

人口の推移



人口の推移

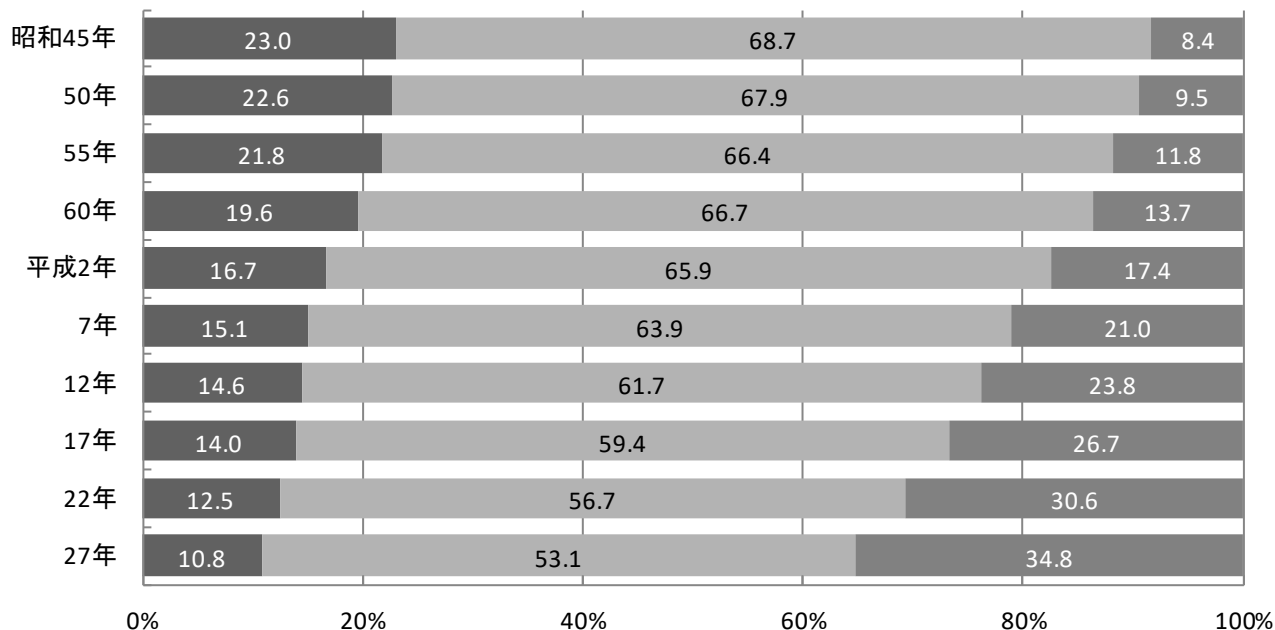
各年10月1日現在

年次	世帯数	人口		
		男	女	合計
昭和55年	10,441	17,521	18,562	36,083
60	10,432	17,098	18,362	35,460
平成2年	10,502	16,541	17,759	34,300
7	10,788	16,367	17,288	33,655
12	11,244	16,308	17,242	33,550
17	11,240	15,571	16,574	32,145
22	11,054	14,429	15,372	29,801
27	10,826	13,555	14,486	28,041

資料：国勢調査

年齢3区分別構成比の推移

■ 年少人口 ■ 生産年齢人口 ■ 老年人口



年齢3区分別人口の推移

各年10月1日現在 (単位: 人・%)

年次	世帯数	総数	0~14歳	15~64歳	65歳以上	年齢別割合			年少人口指数	老年人口指数	従属人口指数	老年化指数
						0~14 (年少人口)	15~64 (生産年齢人口)	65以上 (老年人口)				
昭和55年	10,441	36,083	7,860	23,969	4,254	21.8	66.4	11.8	32.8	17.7	50.5	54.1
60	10,432	35,460	6,967	23,636	4,857	19.6	66.7	13.7	29.5	20.5	50.0	69.7
平成2年	10,502	34,300	5,734	22,576	5,946	16.7	65.8	17.3	25.4	26.3	51.7	103.7
7	10,788	33,655	5,071	21,501	7,083	15.1	63.9	21.0	23.6	32.9	56.5	139.7
12	11,244	33,550	4,885	20,686	7,979	14.6	61.7	23.8	23.6	38.6	62.2	163.3
17	11,240	32,145	4,489	19,086	8,567	14.0	59.4	26.7	23.5	44.9	68.4	190.8
22	11,054	29,801	3,720	16,906	9,120	12.5	56.7	30.6	22.0	53.9	75.9	245.2
27	10,826	28,041	3,030	14,900	9,766	10.8	53.1	34.8	20.3	65.5	85.9	322.3

資料: 企画財政課

注) 年齢構成指数の説明

- ①年少人口指数: 生産年齢人口に対する年少人口の比率
- ②老年人口指数: 生産年齢人口に対する老年人口の比率
- ③従属人口指数: 生産年齢人口に対する年少人口と老年人口の計の比率
- ④老年化指数: 年少人口に対する老年人口の比率

大字別人口の推移

各年10月1日現在

年次	大 町				平				常 盤			
	世帯数	人口	男	女	世帯数	人口	男	女	世帯数	人口	男	女
昭和15年	2,566	12,977	6,272	6,705	761	3,820	1,945	1,875	817	4,673	2,347	2,326
22	3,175	16,256	7,133	9,123	867	4,391	2,179	2,212	975	5,618	2,738	2,880
25	3,353	17,473	7,665	9,808	909	4,664	2,350	2,314	1,014	5,763	2,848	2,915
30	3,749	17,610	8,157	9,453	955	4,951	2,578	2,373	1,036	5,671	2,803	2,868
35	4,632	19,619	9,140	10,479	1,188	7,341	4,639	2,702	1,130	5,594	2,712	2,882
40	4,860	19,179	8,741	10,438	1,018	4,786	2,529	2,257	1,153	5,261	2,499	2,762
45	5,156	19,239	8,971	10,268	1,015	4,494	2,288	2,206	1,303	5,491	2,627	2,864
50	5,548	19,752	9,396	10,356	1,342	5,656	3,052	2,604	1,394	5,750	2,769	2,981
55	5,714	18,755	8,976	9,779	1,661	5,377	2,763	2,614	1,519	6,134	2,922	3,212
60	5,669	18,032	8,658	9,374	1,489	5,257	2,584	2,673	1,671	6,453	3,087	3,366
平成2年	5,681	17,215	8,249	8,966	1,578	5,395	2,623	2,772	1,772	6,556	3,170	3,386
7	5,522	16,130	7,786	8,344	1,631	5,379	2,633	2,746	1,965	6,783	3,310	3,473
12	5,526	15,362	7,453	7,909	1,716	5,382	2,638	2,744	2,220	7,288	3,513	3,775
17	5,301	14,446	7,008	7,438	1,790	5,229	2,536	2,693	2,395	7,306	3,521	3,785
22	5,216	13,385	6,490	6,895	1,776	4,803	2,355	2,448	2,372	6,951	3,311	3,640
27	5,128	12,742	6,139	6,603	1,718	4,411	2,153	2,258	2,350	6,661	3,202	3,459

年次	社				八 坂				美 麻			
	世帯数	人口	男	女	世帯数	人口	男	女	世帯数	人口	男	女
昭和15年	423	2,241	1,105	1,136	566	3,077	1,578	1,499	677	3,719	1,917	1,802
22	475	2,562	1,203	1,359	614	3,374	1,652	1,722	709	3,920	1,941	1,979
25	473	2,608	1,255	1,353	600	3,413	1,688	1,725	717	3,988	2,000	1,988
30	489	2,490	1,177	1,313	589	3,264	1,609	1,655	692	3,739	1,867	1,872
35	558	2,597	1,254	1,343	531	2,708	1,321	1,387	655	3,325	1,643	1,682
40	669	2,859	1,374	1,485	479	2,248	1,098	1,150	577	2,655	1,314	1,341
45	648	2,675	1,295	1,380	432	1,874	909	965	487	2,044	998	1,046
50	699	2,686	1,301	1,385	408	1,727	849	878	439	1,740	876	864
55	711	2,700	1,320	1,380	400	1,503	752	751	436	1,614	788	826
60	736	2,709	1,318	1,391	439	1,499	743	756	428	1,510	708	802
平成2年	679	2,431	1,181	1,250	386	1,363	684	679	406	1,340	634	706
7	824	2,728	1,339	1,389	400	1,315	649	666	446	1,320	650	670
12	940	2,979	1,466	1,513	407	1,257	626	631	435	1,282	612	670
17	953	2,817	1,381	1,436	371	1,112	532	580	430	1,235	593	642
22	942	2,651	1,289	1,362	340	925	458	467	408	1,086	526	560
27	922	2,444	1,206	1,238	326	848	412	436	382	935	443	492

年次	総 数			
	世帯数	人口	男	女
昭和15年	5,810	30,507	15,164	15,343
22	6,815	36,121	16,846	19,275
25	7,066	37,909	17,806	20,103
30	7,510	37,725	18,191	19,534
35	8,694	41,184	20,709	20,475
40	8,756	36,988	17,555	19,433
45	9,041	35,817	17,088	18,729
50	9,830	37,311	18,243	19,068
55	10,441	36,083	17,521	18,562
60	10,432	35,460	17,098	18,362
平成2年	10,502	34,300	16,541	17,759
7	10,788	33,655	16,367	17,288
12	11,244	33,550	16,308	17,242
17	11,240	32,145	15,571	16,574
22	11,054	29,801	14,429	15,372
27	10,826	28,041	13,555	14,486

資料：企画財政課

注) 1. 国勢調査に基づく数値を掲載。

2. 総数は平成26年10月1日現在の市町村境域に基づく数値。

人口動態

年次	増加人口	自然動態			社会動態			その他			婚姻	離婚	死産
		増減	出生	死亡	増減	転入	転出	増減	増	減			
	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	件	件	件
平成23年	△ 244	△ 166	194	360	△ 85	963	1,048	7	9	2	100	46	5
24	△ 452	△ 183	169	352	△ 268	777	1,045	△ 1	15	16	98	30	7
25	△ 394	△ 241	150	391	△ 122	866	988	△ 31	7	38	103	41	7
26	△ 300	△ 198	172	370	△ 99	878	977	△ 3	17	20	86	47	2
27	△ 338	△ 209	173	382	△ 129	891	1,020	0	12	12	90	43	6
28	△ 427	△ 228	141	369	△ 198	861	1,059	△ 1	7	8	82	41	7

資料：市民課（毎月人口異動報告）

注）婚姻、離婚は本籍人届出数。

出生率の推移

年次	大町市		長野県	
	実数	率	実数	率
	人	‰	人	‰
昭和60年	276	8.5	24,176	11.3
平成2年	268	8.5	21,898	10.1
7	281	9.1	21,187	9.7
12	282	9.1	21,194	9.7
13	259	8.4	20,889	9.6
14	263	8.6	20,324	9.3
15	250	8.2	19,735	9.1
16	236	7.8	19,323	8.9
17	209	7.0	18,517	8.6
18	213	6.7	18,775	8.7
19	219	7.0	18,618	8.7
20	208	6.7	18,129	8.5
21	189	6.2	17,310	8.1
22	158	5.3	17,233	8.1
23	194	6.6	16,917	8.0
24	169	5.8	16,661	7.9
25	150	5.2	16,326	7.8
26	172	6.1	15,848	7.6
27	164	5.9	15,546	7.4

資料：長野県健康福祉政策課「人口動態統計結果表」

- 注）
- 「‰」とは人口1,000人に対する比である。
 - 比率計算に用いられた人口は各年の10月1日現在の国勢調査または推計による人口である。
 - 合併前は、旧大町市の数値である。

年齢（5歳階級）別人口構成

各年10月1日現在

年次	平成 22 年				平成 27 年				比較増減
	男	女	計	構成比	男	女	計	構成比	
歳	人	人	人	%	人	人	人	%	人
総数	14,429	15,372	29,801	100.0	13,555	14,486	28,041	100.0	△ 1,760
0～4	524	443	967	3.2	448	375	823	2.9	△ 144
5～9	599	631	1,230	4.1	516	442	958	3.4	△ 272
10～14	804	719	1,523	5.1	607	642	1,249	4.5	△ 274
15～19	685	596	1,281	4.3	661	584	1,245	4.4	△ 36
20～24	441	425	866	2.9	462	430	892	3.2	26
25～29	615	585	1,200	4.0	486	475	961	3.4	△ 239
30～34	799	722	1,521	5.1	559	558	1,117	4.0	△ 404
35～39	941	923	1,864	6.3	792	688	1,480	5.3	△ 384
40～44	960	875	1,835	6.2	898	892	1,790	6.4	△ 45
45～49	887	874	1,761	5.9	942	865	1,807	6.4	46
50～54	887	870	1,757	5.9	868	853	1,721	6.1	△ 36
55～59	1,101	1,090	2,191	7.4	872	856	1,728	6.2	△ 463
60～64	1,318	1,312	2,630	8.8	1,078	1,081	2,159	7.7	△ 471
65～69	1,058	1,128	2,186	7.3	1,245	1,277	2,522	9.0	336
70～74	881	1,040	1,921	6.4	958	1,096	2,054	7.3	133
75～79	828	1,096	1,924	6.5	769	975	1,744	6.2	△ 180
80～84	612	989	1,601	5.4	650	940	1,590	5.7	△ 11
85～89	340	663	1,003	3.4	408	776	1,184	4.2	181
90～94	93	282	375	1.3	131	392	523	1.9	148
95～99	16	88	104	0.3	27	101	128	0.5	24
100以上	1	5	6	0.0	6	15	21	0.1	15
不詳	39	16	55	0.2	172	173	345	1.2	290

資料：国勢調査

国籍別外国人登録者数

各年3月31日現在

年次	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年
国籍	人	人	人	人	人
総数	474	423	418	444	466
韓国及び朝鮮	100	97	97	89	79
中国	118	90	69	58	62
ブラジル	68	32	23	22	43
タイ	45	44	43	42	40
フィリピン	83	78	76	80	83
その他	60	97	110	153	159

資料：市民課

人口集中地区別人口・面積・人口密度 DIDs

各年10月1日現在（単位：人・km²）

市	人 口		面 積				人 口 密 度	
	人 口 集 中 地 区 (DIDs)	市 全 域	全 域 対 対 す る 人 口 集 中 地 区 の 割 合	人 口 集 中 地 区 (DIDs)	市 全 域	全 域 対 対 す る 人 口 集 中 地 区 の 割 合	人 口 集 中 地 区 (DIDs)	市 全 域
昭和60年	8,426	32,451	26.0	2.2	464.16	0.47	3,830.0	69.9
平成2年	9,691	31,597	30.7	2.7	464.84	0.58	3,589.3	68.0
7	9,318	31,020	30.0	2.7	464.84	0.58	3,451.1	66.7
12	8,029	31,011	25.9	2.6	464.84	0.56	3,088.1	66.7
17	7,535	29,798	25.3	2.6	464.84	0.56	2,954.9	64.1
22	6,730	29,801	22.6	2.5	564.99	0.44	2,670.6	52.7
27	5,503	28,041	19.6	2.1	565.15	0.37	2,620.5	49.6

資料：国勢調査

注）平成17年以前は旧大町市の数値。

15歳以上男女別労働力人口

平成27年10月1日現在

区 分	15歳以上人口	労働力人口							非労働力人口
		労働力人口計	就業者					完全失業者	
			就業者計	主に仕事	家事のほか仕事	通学のかたわら仕事	休業		
総数	人	人	人	人	人	人	人	人	人
15～64歳	24,666	14,507	14,018	11,855	1,903	42	218	489	9,927
65歳以上	14,900	11,779	11,365	9,974	1,198	42	151	414	2,956
男	9,766	2,728	2,653	1,881	705	—	67	75	6,971
15～64歳	11,812	8,150	7,818	7,427	237	25	129	332	3,531
65歳以上	7,618	6,534	6,259	6,100	60	25	74	275	990
女	4,194	1,616	1,559	1,327	177	—	55	57	2,541
15～64歳	12,854	6,357	6,200	4,428	1,666	17	89	157	6,396
65歳以上	7,282	5,245	5,106	3,874	1,138	17	77	139	1,966
	5,572	1,112	1,094	554	528	—	12	18	4,430

資料：国勢調査

産業分類別就業者数

各年10月1日現在

産業分類	平成17年			平成22年			平成27年		
	総数	男	女	総数	男	女	総数	男	女
総数	16,655	9,454	7,201	14,812	8,388	6,424	14,018	7,818	6,200
第一次産業	1,797	969	828	1,363	790	573	1,228	722	506
農業	1,743	918	825	1,262	701	561	1,150	658	492
林業	49	46	3	92	82	10	71	61	10
漁業	5	5	-	9	7	2	7	3	4
第二次産業	5,112	3,757	1,355	4,385	3,270	1,115	3,956	2,916	1,040
鉱業、採石業、砂利採取業	16	15	1	12	10	2	7	5	2
建設業	2,075	1,785	290	1,592	1,374	218	1,426	1,236	190
製造業	3,021	1,957	1,064	2,781	1,886	895	2,523	1,675	848
第三次産業	9,647	4,675	4,972	8,859	4,199	4,660	8,513	4,009	4,504
電気・ガス・熱供給・水道業	184	169	15	157	136	21	158	136	22
情報通信業	783	635	148	105	67	38	90	69	21
運輸業、郵便業	2,347	1,029	1,318	701	588	113	593	505	88
卸売業、小売業	2,347	1,029	1,318	1,902	859	1,043	1,677	754	923
金融業、保険業	215	88	127	205	75	130	181	68	113
不動産業	54	32	22	129	88	41	118	69	49
宿泊業、飲食サービス業	1,353	512	841	1,257	482	775	1,146	442	704
学術研究、専門・技術サービス業				278	191	87	274	189	85
生活関連サービス業、娯楽業				577	202	375	544	202	342
教育、学習支援業	4,134	1,788	2,346	503	241	262	499	230	269
医療、福祉				1,587	327	1,260	1,750	381	1,369
複合サービス事業				213	106	107	208	107	101
サービス業（他に分類されないもの）				701	438	263	724	466	258
公務（他に分類されないもの）	577	422	155	544	399	145	551	391	160
分類不能の産業	99	53	46	205	129	76	321	171	150

資料：国勢調査

注) 1. 産業大分類は、平成27年国勢調査による。

注) 2. 平成22年から産業分類が変更

産業別従業上の地位・男女別15歳以上就業者数

平成27年10月1日現在

産業大分類	従業上の地位	総数				男				女			
		総数	雇用者・役員含	自営業主・家庭内職者含	家族従事者	総数	雇用者・役員含	自営業主・家庭内職者含	家族従事者	総数	雇用者・役員含	自営業主・家庭内職者含	家族従事者
総数	人	14,018	11,420	1,808	633	7,818	6,247	1,402	89	6,200	5,173	406	544
農業	人	1,150	303	538	309	658	133	481	44	492	170	55	265
林業	人	71	56	13	2	61	48	12	1	10	8	1	1
漁業	人	7	7	-	-	3	3	-	-	4	4	-	-
鉱業、採石業、砂利採取業	人	7	7	-	-	5	5	-	-	2	2	-	-
建設業	人	1,426	1,123	244	49	1,236	966	243	17	190	157	1	32
製造業	人	2,523	2,341	151	20	1,675	1,564	101	2	848	777	50	18
電気・ガス・熱供給・水道業	人	158	156	1	-	136	135	-	-	22	21	1	-
情報通信業	人	90	80	9	-	69	60	9	-	21	20	-	-
運輸業、郵便業	人	593	567	25	-	505	483	21	-	88	84	4	-
卸売業、小売業	人	1,677	1,454	150	68	754	636	110	7	923	818	40	61
金融業、保険業	人	181	175	5	-	68	64	3	-	113	111	2	-
不動産業、物品賃貸業	人	118	101	13	4	69	60	9	-	49	41	4	4
学術研究、専門・技術サービス業	人	274	189	66	18	189	129	58	2	85	60	8	16
宿泊業、飲食サービス業	人	1,146	887	169	87	442	323	110	8	704	564	59	79
生活関連サービス業、娯楽業	人	544	414	102	28	202	161	37	4	342	253	65	24
教育、学習支援業	人	499	447	45	6	230	219	10	1	269	228	35	5
医療、福祉	人	1,750	1,656	60	28	381	331	50	-	1,369	1,325	10	28
複合サービス事業	人	208	202	4	1	107	105	1	-	101	97	3	1
サービス業	人	724	552	165	6	466	355	108	2	258	197	57	4
公務	人	551	551	-	-	391	391	-	-	160	160	-	-
分類不能の産業	人	321	152	50	7	171	76	39	1	150	76	11	6

資料：国勢調査

注) 総数は従業上の地位「不詳」を含む

職業分類別就業者数

各年10月1日現在

区 分	平成 12 年			平成 17 年		
	総 数	男	女	総 数	男	女
総 数	18,170	10,493	7,677	16,655	9,454	7,201
管理的職業従事者	492	442	50	368	336	32
専門的・技術的職業従事者	1,874	1,036	838	1,637	779	858
事務従事者	2,954	1,083	1,871	2,702	1,028	1,674
販売従事者	1,877	1,053	824	1,675	903	772
サービス職業従事者	1,890	654	1,236	1,873	581	1,292
保安職業従事者	188	176	12	183	168	15
農林・漁業作業従事者	1,685	878	807	1,742	977	765
運輸・通信従事者	596	564	32	515	469	46
技能工・生産工程作業・労務作業従事者	6,606	4,604	2,002	5,862	4,161	1,701
分類不能の職業従事者	8	3	5	98	52	46

区 分	平成 22 年			平成 27 年		
	総 数	男	女	総 数	男	女
総 数	14,812	8,388	6,424	14,018	7,818	6,200
管理的職業従事者	433	381	52	353	293	60
専門的・技術的職業従事者	1,704	816	888	1,765	835	930
事務従事者	2,230	880	1,350	2,157	882	1,275
販売従事者	1,425	679	746	1,211	578	633
サービス職業従事者	2,046	642	1,404	1,997	624	1,373
保安職業従事者	180	173	7	182	175	7
農林漁業従事者	1,234	772	462	1,111	709	402
生産工程従事者	2,584	1,815	769	2,319	1,604	715
輸送・機械運転従事者	649	628	21	567	541	26
建設・採掘従事者	991	971	20	906	878	28
運搬・清掃・包装等従事者	1132	500	632	1131	528	603
分類不能の職業	204	131	73	319	171	148

資料：国勢調査 ※平成22年から職業区分変更

世帯人員別一般世帯数及び一般世帯人員

平成27年10月1日現在

一 般 世 帯								世帯人員	1世帯 当たり 人員
総 数	世帯人員 1 人	2 人	3 人	4 人	5 人	6 人	7 人以上		
10,798	2,929	3,340	2,008	1,369	653	348	151	27,550	2.55

資料：国勢調査

世帯の家族類型別一般世帯数・一般世帯人員及び親族人員

項 目	一 般 族							
	総 数	親 族 世 帯						そ
		核 家 族 世 帯	夫 婦 の みの 世 帯	夫 婦 と 子 供 か ら 成 る 世 帯	男 親 と 子 供 か ら 成 る 世 帯	女 親 と 子 供 か ら 成 る 世 帯	総 数	
一 般 世 帯 数	10,798	7,749	5,890	2,456	2,440	163	831	1,859
一 般 世 帯 人 員	27,550	24,266	15,955	4,912	8,762	358	1,923	8,311
1 世 帯 当 た り の 一 般 世 帯 人 員	2.55	3.13	2.71	2.00	3.59	2.20	2.31	4.47
(再掲) 6 歳 未 満 世 帯 員 の い る 一 般 世 帯 数	757	754	524	-	500	3	21	230
6 歳 未 満 世 帯 員 の い る 一 般 世 帯 人 員	3,359	3,344	2,037	-	1,962	8	67	1,307
6 歳 未 満 世 帯 人 員	988	984	689	-	659	4	26	295
(再掲) 18 歳 未 満 世 帯 員 の い る 一 般 世 帯 数	2,198	2,181	1,377	-	1,207	18	152	804
18 歳 未 満 の 親 族 の い る 世 帯 の 人 員	9,658	9,602	5,237	-	4,743	48	446	4,365
18 歳 未 満 の 親 族 人 員	3,796	3,771	2,433	-	2,149	26	258	1,338
(再掲) 3 世 代 世 帯 数	1,284	1,282	-	-	-	-	-	1,282
3 世 代 世 帯 人 員	6,500	6,487	-	-	-	-	-	6,487

資料：国勢調査

高齢者の年齢（5区分）、男女別高齢単身者数

平成27年10月1日現在

区 分	総 数	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85歳以上	(別掲) 60歳以上
65歳以上の高齢単身者数	1,419	328	270	228	281	312	1,627
男	453	171	101	56	55	70	587
女	966	157	169	172	226	242	1,040

資料：国勢調査

世帯											非親族を含む世帯	単独世帯
世帯												
夫婦と両親から成る世帯	夫婦とひとり親から成る世帯	夫婦、子供と両親から成る世帯	夫婦、子供とひとり親から成る世帯	夫婦と他の親族(親、子供を含まない)から成る世帯	夫婦、子供と他の親族(親を含まない)から成る世帯	夫婦、親と他の親族(子供を含まない)から成る世帯	夫婦、子供、親と他の親族から成る世帯	兄弟姉妹のみから成る世帯	他に分類されない親族世帯			
110	336	365	544	22	131	41	105	54	151	61	2,929	
440	1,008	2,150	2,510	76	613	218	681	112	503	174	2,929	
4.00	3.00	5.89	4.61	3.45	4.68	5.32	6.49	2.07	3.33	2.85	1.00	
-	-	88	52	1	20	6	54	-	9	3	-	
-	-	527	250	7	97	40	354	-	32	15	-	
-	-	110	63	2	27	9	75	-	9	4	-	
-	-	289	252	5	96	10	94	-	58	12	5	
-	-	1,738	1,246	22	462	67	615	-	215	51	5	
-	-	514	422	7	138	19	166	-	72	20	5	
-	-	365	544	-	122	24	105	-	122	2	-	
-	-	2,150	2,510	-	575	139	681	-	432	13	-	

住居の種類・住宅の所有の関係別65歳以上の親族のいる一般世帯数・人員

平成27年10月1日現在

区分	世帯数	世帯人員	65歳以上世帯人員	1世帯当たり人員
65歳以上親族のいる一般世帯	6,337	16,605	9,383	2.62
住宅に住む一般世帯	6,313	16,568	9,350	2.62
主世帯	6,292	16,534	9,328	2.63
持ち家	5,795	15,698	8,720	2.71
公営・都市機構・公社の借家	313	494	376	1.58
民営の借家	171	301	214	1.76
給与住宅	13	41	18	3.15
間借り	21	34	22	1.62
住宅以外に住む一般世帯	24	37	33	1.54

資料:国勢調査

住居の種類・住宅の所有の関係別一般世帯数・人員

大町市

平成27年10月1日現在

住居の種類・ 住宅の所有の関係(6区分)	世帯数	世帯 人員	1世帯当たり 人員
一般世帯	10,798	27,550	2.55
住宅に住む一般世帯	10,497	27,200	2.59
主世帯	10,439	27,079	2.59
持ち家	8,379	22,924	2.74
公営・公団・公社の借家	761	1,600	2.10
民営の借家	1,053	2,034	1.93
給与住宅	246	521	2.12
間借り	58	121	2.09
住宅以外に住む一般世帯	301	350	1.16

旧八坂村

住居の種類・ 住宅の所有の関係(6区分)	世帯数	世帯 人員	1世帯当たり 人員
一般世帯	325	818	2.52
住宅に住む一般世帯	320	813	2.54
主世帯	319	812	2.55
持ち家	241	592	2.46
公営・公団・公社の借家	41	122	2.98
民営の借家	30	89	2.97
給与住宅	7	9	1.29
間借り	1	1	1.00
住宅以外に住む一般世帯	5	5	1.00

旧美麻村

住居の種類・ 住宅の所有の関係(6区分)	世帯数	世帯 人員	1世帯当たり 人員
一般世帯	380	930	2.45
住宅に住む一般世帯	378	926	2.45
主世帯	377	921	2.44
持ち家	290	710	2.45
公営・公団・公社の借家	71	182	2.56
民営の借家	13	25	1.92
給与住宅	3	4	1.33
間借り	1	5	5.00
住宅以外に住む一般世帯	2	4	2.00

資料:国勢調査

常住人口・流入流出人口及び昼間人口（通勤・通学ほか 15歳以上）

大町市

各年10月1日現在

年	(a) 常住人口	(b) 流入		(c) 流出		昼間人口 (a) + ((b) - (c))	流入超過数 (b) - (c)	常住人口 当たり 昼間人口
		従業	通学	従業	通学			
平成7年	31,020	3,281	594	3,464	680	30,751	△ 269	99.1
12	31,011	3,465	411	3,719	592	30,576	△ 435	98.6
17	29,795	3,630	440	3,661	562	29,642	△ 153	99.5
22	29,801	3,677	425	3,545	574	29,784	△ 17	99.9
27	28,041	3,788	343	3,477	649	28,046	5	100.

旧八坂村

各年10月1日現在

年	(a) 常住人口	(b) 流入		(c) 流出		昼間人口 (a) + ((b) - (c))	流入超過数 (b) - (c)	常住人口 当たり 昼間人口
		従業	通学	従業	通学			
平成7年	1,315	119	—	270	43	1,121	△ 194	85.2
12	1,257	182	—	242	45	1,152	△ 105	91.6
17	1,112	176	—	215	47	1,026	△ 86	92.3

旧美麻村

各年10月1日現在

年	(a) 常住人口	(b) 流入		(c) 流出		昼間人口 (a) + ((b) - (c))	流入超過数 (b) - (c)	常住人口 当たり 昼間人口
		従業	通学	従業	通学			
平成7年	1,320	97	—	303	46	1,068	△ 252	80.9
12	1,282	109	1	294	60	1,037	△ 244	80.9
17	1,235	99	—	299	34	1,001	△ 234	81.1

資料：国勢調査

通勤者市町村別内訳(15歳以上)

各年10月1日現在

大町市	年	総 数	松本市	池田町	松川村	八坂村	美麻村	白馬村	小谷村	安曇野市	その他市町村	県 外
大町市への通勤者数(流入)	60	3,001	180	509	617	193	248	228	80	583	294	69
	2	2,940	202	473	596	163	209	236	81	624	304	52
	7	3,281	214	533	717	133	188	236	72	771	317	100
	12	3,465	248	560	742	102	173	306	72	824	336	102
	17	3,630	278	530	771	93	152	392	66	1006	282	60
	22	3,677	320	579	894	—	—	409	73	1047	301	54
	27	3,788	325	635	905	—	—	404	48	1101	287	83
大町市からの通勤者数(流出)	60	2,543	769	403	201	36	40	193	31	708	127	35
	2	3,276	850	452	287	24	29	341	48	1049	158	38
	7	3,464	776	468	286	49	42	404	60	1087	206	86
	12	3,719	776	504	317	98	45	347	64	1229	273	66
	17	3,661	767	471	381	95	36	299	48	1199	298	67
	22	3,545	716	499	359	—	—	344	53	1178	313	83
	27	3,477	675	491	405	—	—	368	55	1081	315	87

各年10月1日現在

旧八坂村	年	総 数	松本市	大町市	池田町	松川村	美麻村	白馬村	小谷村	生坂村	安曇野市	その他市町村	県 外
旧八坂村への通勤者数(流入)	60	76	…	36	…	…	…	…	…	…	…	39	1
	2	75	1	24	7	6	2	2	—	—	5	27	1
	7	119	…	49	10	…	…	…	…	11	…	48	1
	12	182	…	98	18	17	…	…	…	10	…	39	—
	17	176	…	95	16	17	…	…	…	…	21	26	1
旧八坂村からの通勤者数(流出)	60	346	51	193	18	…	…	…	…	13	…	71	—
	2	308	43	163	20	12	—	2	1	8	26	33	—
	7	270	48	133	18	…	…	…	…	…	…	71	—
	12	242	39	102	19	…	…	…	…	…	…	80	2
	17	215	33	93	25	…	…	…	…	…	29	35	—

各年10月1日現在

旧美麻村	年	総 数	松本市	大町市	池田町	松川村	八坂村	白馬村	小谷村	小川村	安曇野市	その他市町村	県 外
旧美麻村への通勤者数(流入)	60	67	…	40	…	…	…	…	…	…	…	26	1
	2	62	—	29	7	5	—	7	2	4	5	3	—
	7	97	…	42	…	…	…	…	…	12	—	34	9
	12	109	…	45	…	10	…	22	…	…	…	31	1
	17	99	…	36	…	…	…	19	…	…	…	43	1
旧美麻村からの通勤者数(流出)	60	354	7	248	8	…	…	43	…	16	…	32	…
	2	321	5	209	11	7	2	45	—	13	12	16	1
	7	303	11	188	10	…	…	53	…	11	…	27	3
	12	294	11	173	14	10	…	39	…	…	…	47	…
	17	299	19	152	16	…	…	57	…	…	15	37	3

資料：国勢調査

通学者市町村別内訳 (15歳以上)

各年10月1日現在

大町市	年	総 数	松本市	池田町	松川村	八坂村	美麻村	白馬村	小谷村	安曇野市	その他市町村	県 外
大町市への通学者数 (流入)	60	663	1	135	117	30	37	90	44	185	22	2
	2	701	4	137	147	17	28	98	34	234	2	—
	7	594	5	109	109	11	29	110	33	179	9	—
	12	411	2	53	79	10	27	95	37	103	3	2
	17	440	3	56	76	15	15	110	33	127	5	—
	22	425	3	85	79	—	—	75	22	156	5	—
	27	343	8	43	69	—	—	57	34	129	3	—
大町市からの通学者数 (流出)	60	457	224	106	—	—	—	31	—	85	11	—
	2	541	193	177	—	—	—	12	—	144	15	—
	7	680	292	133	—	—	—	59	—	145	38	13
	12	592	270	95	1	—	—	29	—	141	49	7
	17	562	244	67	1	—	—	20	—	141	60	29
	22	574	252	66	2	—	—	45	—	141	41	27
	27	649	312	88	—	—	—	43	—	112	46	48

各年10月1日現在

旧八坂村	年	総 数	長野市	松本市	大町市	池田町	信州新町	安曇野市	その他市町村	県 外
旧八坂村からの通学者数 (流出)	60	77	3	10	30	12	18	…	4	—
	2	37	1	9	17	2	8	—	—	—
	7	43	8	13	11	4	5	2	—	—
	12	45	6	12	10	5	4	…	7	1
	17	47	8	12	15	4	1	4	3	—

各年10月1日現在

旧美麻村	年	総 数	長野市	松本市	大町市	池田町	白馬村	安曇野市	その他市町村	県 外
旧美麻村への通学者数 (流入)	60	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	2	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	7	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	12	1	…	…	…	…	…	…	1	—
	17	—	—	—	—	—	—	—	—	—
旧美麻村からの通学者数 (流出)	60	61	2	6	37	11	1	…	4	—
	2	46	1	1	28	4	9	1	2	—
	7	46	…	4	29	7	1	…	4	1
	12	60	4	17	27	3	9	—	—	—
	17	34	2	9	15	2	3	2	1	—

資料：国勢調査

注)旧八坂村の通学者(流入)については該当なし。

町名別、男女別人口及び世帯数

平成28年10月1日現在

地区	町名	世帯数	人口		
			総数	男	女
大町	三日町	147	360	170	190
	俵町	615	1,556	770	786
	不二塚町	58	123	64	59
	大黒町	287	625	306	319
	相生町	159	337	171	166
	九日町	106	232	116	116
	六九町	88	210	103	107
	幸町	158	357	166	191
	名店街	7	16	9	7
	上仲町	33	70	35	35
	下仲町	40	88	42	46
	八日町	54	109	50	59
	神栄町	369	846	418	428
	五日町	98	195	96	99
	旭町	179	400	199	201
	日の出町	13	32	15	17
	光明町	31	84	36	48
	仁科町	109	225	112	113
	高見町	84	193	89	104
	桜田町	140	371	187	184
	南原町	156	365	167	198
	堀六日町	90	206	91	115
	東町	53	117	57	60
	白塩町	158	352	182	170
	下白塩町	50	123	65	58
	山田町	76	168	79	89
	北山田町	46	129	57	72
	宮田町	181	454	218	236
	大原町	252	661	327	334
	若原町	57	154	79	75
	栄町	183	405	185	220
	大原2号団地	67	99	43	56
	中原町	212	528	244	284
	東中原町	54	128	60	68
	北原町	204	540	271	269
	十日町	163	406	190	216
高根町	126	315	157	158	
大新田町	475	1,019	456	563	
東若宮町	70	167	79	88	
西若宮町	18	53	27	26	
若宮町	2	3	1	2	
昭電社宅・アパート	54	98	68	30	
和町	13	27	13	14	
小計	5,535	12,946	6,270	6,676	

平	加	蔵	20	51	29	22		
	築	場	26	52	28	24		
	青	木	38	90	43	47		
	中	綱	41	114	58	56		
	海	の	口	113	274	137	137	
	稲	尾	43	116	54	62		
	山	崎	21	48	26	22		
		森		39	105	54	51	
	外	堀	10	32	14	18		
	木	崎	91	222	104	118		
	白	樺	9	18	10	8		
	仁	科	郷	37	94	46	48	
	西	原	161	388	204	184		
	借	馬	地	254	695	350	345	
	借	馬	団	182	340	165	175	
	新	郷	65	177	93	84		
	二	ツ	屋	60	176	91	85	
	中	花	見	26	68	35	33	
	源	汲	65	156	80	76		
	鹿	島	8	19	10	9		
	野	口	330	699	335	364		
	上	原	128	199	72	127		
	秋	葉	林	38	98	46	52	
	日	向	山・扇	沢	13	26	13	
	高	瀬	入	35	60	33	27	
	温	泉	郷	109	174	84	90	
高	瀬	分	譲	地	14	27	14	13
塩	の	原	9	22	11	11		
小		計	1,985	4,540	2,239	2,301		
常 盤		泉	247	651	323	328		
	上	一	985	2,437	1,183	1,254		
	上	一	住	宅	81	131	59	72
	下	一	309	836	419	417		
	清	水	438	1,237	596	641		
	須	沼	222	604	303	301		
	西	山	209	566	264	302		
	西	山	住	宅	80	212	92	120
	南	住	宅	28	66	36	30	
	松	原	団	地	33	93	40	53
小		計	2,632	6,833	3,315	3,518		
社	松	崎	175	478	231	247		
	館	之	内	174	484	238	246	
	社	団	地	102	248	111	137	
	山	下	186	436	215	221		
	閨	田	48	118	61	57		
	曾	根	原	50	108	53	55	
	宮	本	179	474	235	239		
小		計	914	2,346	1,144	1,202		

八 坂	相 川	14	48	24	24
	大 平	14	42	22	20
	梨 平	8	18	10	8
	藤 尾	1	1	1	-
	笹 尾	9	27	16	11
	矢 下	12	34	18	16
	明 野	56	140	64	76
	塩 の 貝	2	3	1	2
	横 瀬	11	24	8	16
	菖 蒲	3	5	4	1
	石 原	3	7	4	3
	満 仲	7	26	13	13
	菅 の 窪	4	5	4	1
	小 松 尾	6	13	5	8
	宮 の 尾	8	14	7	7
	押 の 田	3	7	5	2
	切 久 保 南	15	52	25	27
	切 久 保 北	50	81	44	37
	曾 山	2	2	2	-
	一 の 瀬	11	22	6	16
	西 大 塚	4	14	7	7
	東 大 塚	3	10	5	5
	小 菅	10	26	11	15
	布 宮 ・ 二 滝	1	1	-	1
	池 の 平	3	6	4	2
	野 平 南	13	37	22	15
	野 平 中	29	74	35	39
	野 平 北	13	25	12	13
	地 志 原	9	21	11	10
	舟 場	19	35	12	23
	栃 沢	9	20	11	9
	上 籠	22	44	22	22
長 畑	-	-	-	-	
小 計	374	884	435	449	

美 麻	大 塩 南 村	31	83	40	43
	大 塩 中 村	16	50	20	30
	大 塩 中 村 団 地	15	40	21	19
	大 塩 北 村	15	38	18	20
	大 塩 西 平	5	15	4	11
	大 塩 中 ノ 貝	2	4	3	1
	大 塩 日 影 川 下	9	17	9	8
	大 塩 峯	5	10	3	7
	二 重 宮 村	25	68	32	36
	二 重 向	17	42	19	23
	二 重 向 山	8	18	11	7
	二 重 元 の 関	13	32	15	17
	二 重 湯 ノ 海	17	41	18	23
	新 行 東	12	27	13	14
	新 行 上 手	6	20	11	9
	新 行 中	11	33	15	18
	新 行 西 の 上	8	15	6	9
	新 行 西 の 下	7	16	9	7
	新 行 西 原	11	23	10	13
	青 具 藤	17	38	18	20
	青 具 池 の 平	4	7	3	4
	青 具 花 尾	9	21	10	11
	青 具 矢 地 由 久 保	6	13	7	6
	青 具 矢 久	16	35	19	16
	青 具 一 宇 田	12	30	14	16
	青 具 米 山	6	8	3	5
	青 具 旭 団 地	8	28	15	13
	青 具 日 向	8	17	9	8
	青 具 塩 の 川	6	14	7	7
	青 具 石 原	2	3	1	2
	青 具 峠	1	1	1	-
	青 具 川 手	12	25	13	12
	青 具 袖	1	1	-	1
	青 具 片 岡	5	11	5	6
	青 具 万 中	7	12	5	7
	千 見 境 ノ 宮	7	21	9	12
	千 見 外 山	2	3	1	2
	千 見 本 村 東	6	12	5	7
	千 見 本 村 中	19	43	20	23
	千 見 本 村 西	4	10	5	5
	千 見 三 百 地	2	5	2	3
	千 見 中 ノ 埼	11	18	9	9
	高 地	-	-	-	-
	二 重 教 員 住 宅	-	-	-	-
青 具 奈 良 尾	-	-	-	-	
大 倉	-	-	-	-	
千 見 菅 ノ 窪	-	-	-	-	
小 計	404	968	458	510	
総 計	11,844	28,517	13,861	14,656	

資料：市民課

議会の開催状況

各年12月31日現在

年次	招集回数		本会議数 日	提出議案 件	議案内容			請願陳情件数 件
	定例会 回	臨時会 回			市長提出 件	議員提出 件	専決処分 報告 件	
平成 24 年	4	2	25	135	92	11	32	55
25	4	2	22	128	104	12	12	47
26	4	2	21	122	101	10	11	50
27	4	2	22	122	82	18	22	39
28	4	1	20	118	95	12	11	36

資料：議会事務局

市議会委員会の状況

各年12月31日現在

年次	総務文教委員会		社会厚生委員会		産業建設委員会		総務産業委員会		社会文教委員会		議会運営委員会		全員協議会
	委員数	開催日数	委員数	開催日数	委員数	開催日数	委員数	開催日数	委員数	開催日数	委員数	開催日数	開催日数
平成 24 年	6	9	6	5	6	10	-	-	-	-	7	14	16
25	6	11	6	11	6	8	-	-	-	-	7	13	11
26	6	11	6	7	6	8	-	-	-	-	7	11	11
27	6	2	6	2	6	2	8	6	8	6	7	13	13
28	-	-	-	-	-	-	8	9	8	9	7	13	13

資料：議会事務局

※H27.5月より2常任委員会となった

市議会会派別議員数

平成28年12月31日現在

結成期間	定数	会 派 別						
		政友クラブ	新世クラブ	市民クラブ	日本共産党	無会派		
自H11. 12. 10 至H13. 5. 30	22	9	5	4	2	2		
自H13. 5. 31 至H14. 9. 23	22	9	4	2	2	5		
自H14. 9. 24 至H15. 4. 29	22	9	4	3	2	2	無会派 2	
自H15. 5. 13 至H15. 6. 1	22	9	4	2	2	虹と緑の会 2	無会派 3	
自H15. 6. 2 至H15. 12. 16	22	7	4	2	2	虹と緑の会 2	無会派 5	
自H15. 12. 17 至H16. 11. 28	22	7	4	3	2	虹と緑の会 2	無会派 4	
自H16. 11. 29 至H18. 2. 5	21	7	4	3	2	虹と緑の会 2	無会派 3	
自H18. 2. 6 至H18. 7. 18	23	9	4	3	2	虹と緑の会 2	無会派 3	
自H18. 7. 19 至H19. 2. 18	24	9	4	3	2	虹と緑の会 2	日本共産党 2	無会派 2
自H19. 2. 19 至H19. 4. 29	23	9	4	3	2	虹と緑の会 2	日本共産党 2	無会派 1
自H19. 5. 9 至H19. 10. 30	20	7	6	2	2	虹と緑の会 2	日本共産党 1	無会派
自H19. 10. 31 至H19. 12. 20	19	6	6	2	2	虹と緑の会 2	日本共産党 1	無会派
自H19. 12. 21 至H22. 7. 12	19	6	5	2	2	虹と緑の会 2	日本共産党 2	無会派
自H22. 7. 13 至H23. 4. 29	20	7	5	2	2	虹と緑の会 2	日本共産党 2	無会派
自H23. 5. 11 至H26. 11. 9	18	7	3	3	2	虹と緑の会 2	日本共産党 1	無会派
自H26. 11. 10 至H27. 4. 29	18	7	3	2	2	虹と緑の会 2	日本共産党 2	無会派
自H27. 5. 11 至H27. 12. 4	16	6	2	2	2	虹と緑の会 2	日本共産党 2	無会派
自H27. 12. 4	16	5	2	2	2	虹と緑の会 2	日本共産党 2	無会派 3

資料：議会事務局 注) 合併前は旧大町市の数値である。

年齢別議員数

各年5月1日現在

年 次	年 齢 別								
	25～34歳	35～39歳	40～44歳	45～49歳	50～54歳	55～59歳	60～64歳	65～69歳	70歳以上
平成 22 年	—	1	—	—	3	1	7	3	4
23	—	1	1	—	2	2	9	3	—
24	—	1	1	—	—	3	7	5	1
25	—	—	2	—	—	3	7	5	1
26	—	—	1	1	—	3	3	9	1
27	—	—	2	2	—	2	2	8	—
28	—	—	2	1	1	2	1	8	1

資料：議会事務局 注) 合併前は旧大町市の数値である。

選挙の執行状況

選挙名	執行年月日	当日の有権者			投票者数			投票率(%)		
		総数	男	女	総数	男	女	総数	男	女
大町市長選挙	61. 6. 29 (無投票)	23,881	11,295	12,586	—	—	—	—	—	—
参議院議員通常選挙	61. 7. 6	23,835	11,265	12,570	19,242	9,106	10,136	80.73	80.83	80.64
衆議院議員総選挙	61. 7. 6	23,835	11,265	12,570	19,243	9,107	10,136	80.73	80.84	80.64
最高裁判所裁判官国民審査	61. 7. 6	23,835	11,265	12,570	19,191	9,071	10,120	80.52	80.52	80.51
長野県議会議員一般選挙	62. 4. 12	23,575	11,143	12,432	16,288	7,641	8,647	69.09	68.57	69.55
大町市議会議員一般選挙	62. 4. 26	23,580	11,147	12,433	21,706	10,158	11,548	92.05	91.13	92.88
長野県知事選挙	63. 10. 16	23,751	11,266	12,485	13,926	6,491	7,435	58.63	57.62	59.55
参議院議員通常選挙	元. 7. 23	23,962	11,378	12,584	17,162	8,237	8,925	71.62	72.39	70.92
衆議院議員総選挙	2. 2. 18	23,987	11,392	12,595	19,514	9,229	10,285	81.35	81.01	81.66
最高裁判所裁判官国民審査	2. 2. 18	23,987	11,392	12,595	19,351	9,137	10,214	80.67	80.21	81.10
大町市長選挙	2. 7. 1	23,650	11,212	12,438	20,943	9,740	11,200	88.55	86.87	90.07
長野県議会議員一般選挙	3. 4. 7 (無投票)	24,104	11,461	12,643	—	—	—	—	—	—
大町市議会議員一般選挙	3. 4. 21	23,761	11,298	12,463	20,648	9,656	10,992	86.90	85.47	88.20
参議院議員通常選挙	4. 7. 26	24,205	11,534	12,671	14,026	6,809	7,217	57.95	59.03	56.96
長野県知事選挙	4. 10. 18	24,010	11,443	12,567	12,648	5,994	6,654	52.68	52.38	52.95
衆議院議員総選挙	5. 7. 18	24,345	11,629	12,716	18,197	8,723	9,474	74.75	75.01	74.50
最高裁判所裁判官国民審査	5. 7. 18	24,345	11,629	12,716	17,639	8,443	9,196	72.45	72.60	72.32
大町市長選挙	6. 6. 26 (無投票)	24,225	11,543	12,682	—	—	—	—	—	—
長野県議会議員一般選挙	7. 4. 9	24,384	11,669	12,715	19,052	8,911	10,141	78.13	76.36	79.76
大町市議会議員一般選挙	7. 4. 23	24,349	11,660	12,689	20,159	9,419	10,740	82.79	80.78	84.64
参議院議員通常選挙	7. 7. 23	24,741	11,855	12,886	12,877	6,375	6,502	52.05	53.77	50.46
長野県知事選挙	8. 10. 20	24,638	11,828	12,810	16,214	7,861	8,353	65.81	66.46	65.21
衆議院小選挙区選出議員選挙	8. 10. 20	24,811	11,917	12,894	16,212	7,856	8,356	65.34	65.92	64.81
衆議院比例代表選出議員選挙	8. 10. 20	24,811	11,917	12,894	16,204	7,857	8,347	65.31	65.93	64.74
最高裁判所裁判官国民審査	8. 10. 20	24,811	11,917	12,894	15,686	7,590	8,096	63.22	63.69	62.79
大町市長選挙	10. 6. 28 (無投票)	24,988	12,006	12,982	—	—	—	—	—	—
参議院議員通常選挙	10. 7. 12	24,933	11,976	12,957	15,631	7,620	8,011	62.69	63.63	61.83
長野県議会議員一般選挙	11. 4. 11 (無投票)	25,130	12,092	13,038	—	—	—	—	—	—
大町市議会議員一般選挙	11. 4. 25	24,715	11,889	12,826	20,227	9,535	10,692	81.84	80.20	83.36
参議院長野県選出議員補欠選挙	11. 10. 17	25,109	12,076	13,033	11,896	5,867	6,029	47.38	48.58	46.26
衆議院小選挙区選出議員選挙	12. 6. 25	25,041	12,035	13,006	16,812	8,201	8,611	67.14	68.14	66.21
衆議院比例代表選出議員選挙	12. 6. 25	25,053	12,043	13,010	16,808	8,200	8,608	67.09	68.09	66.16
最高裁判所裁判官国民審査	12. 6. 25	25,041	12,035	13,006	16,447	8,011	8,436	65.68	66.56	64.86
長野県知事選挙	12. 10. 15	24,843	11,925	12,918	17,562	8,366	9,196	70.69	70.16	71.19
参議院長野県選出議員選挙	13. 7. 29	24,977	12,011	12,966	15,222	7,509	7,713	60.94	62.52	59.49
参議院比例代表選出議員選挙	13. 7. 29	24,988	12,017	12,971	15,224	7,510	7,714	60.93	62.49	59.47
大町市長選挙	14. 6. 30	24,565	11,795	12,770	18,899	8,968	9,931	76.93	76.03	77.77
長野県知事選挙	14. 9. 1	24,741	11,891	12,850	18,539	8,869	9,670	74.93	74.59	75.25
長野県議会議員一般選挙	15. 4. 13	24,481	11,747	12,734	16,678	7,989	8,689	68.13	68.01	68.23
大町市議会議員一般選挙	15. 4. 27	24,437	11,728	12,709	8,911	9,956	18,867	77.21	75.98	78.34
衆議院小選挙区選出議員選挙	15. 11. 9	24,720	11,870	12,850	16,481	8,082	8,399	66.67	68.09	65.36
衆議院比例代表選出議員選挙	15. 11. 9	24,728	11,876	12,852	16,477	8,078	8,399	66.63	68.02	65.35
最高裁判所裁判官国民審査	15. 11. 9	24,720	11,870	12,850	15,916	7,774	8,142	64.39	65.49	63.36

選挙名	執行年月日	当日の有権者			投票者数			投票率(%)		
		総数	男	女	総数	男	女	総数	男	女
参議院長野県選出議員選挙	16. 7. 11	24,660	11,847	12,813	14,838	7,309	7,529	60.17	61.69	58.76
参議院比例代表選出議員選挙	16. 7. 11	24,669	11,854	12,815	14,840	7,310	7,530	60.16	61.67	58.76
衆議院小選挙区選出議員選挙	17. 9. 11	24,359	11,697	12,662	16,684	8,142	8,542	68.49	69.61	67.46
衆議院比例代表選出議員選挙	17. 9. 11	24,369	11,704	12,665	16,685	8,143	8,542	68.47	69.57	67.45
最高裁判所裁判官国民審査	17. 9. 11	24,359	11,697	12,662	15,965	7,776	8,189	65.54	66.48	64.67
大町市議会議員増員選挙八坂選挙区	18. 1. 29	872	416	456	711	341	370	81.54	81.97	81.14
大町市議会議員増員選挙美麻選挙区	18. 1. 29	945	446	499	768	361	407	81.27	80.94	81.56
大町市長選挙	18. 7. 2 (無投票)	26,142	12,547	13,595	—	—	—	—	—	—
大町市議会議員補欠選挙 (旧大町市の区域)	18. 7. 2 (無投票)	24,333	11,681	12,652	—	—	—	—	—	—
長野県知事選挙	18. 8. 6	25,839	12,387	13,452	18,134	8,744	9,390	70.18	70.59	69.80
長野県議会議員一般選挙	19. 4. 8	25,494	12,215	13,279	16,399	7,880	8,519	64.32	64.51	64.15
大町市議会議員一般選挙	19. 4. 22	23,689	11,352	12,337	16,734	7,924	8,810	70.64	69.80	71.41
参議院長野県選出議員選挙	19. 7. 29	25,743	12,350	13,393	16,248	7,992	8,256	63.12	64.71	61.64
参議院比例代表選出議員選挙	19. 7. 29	25,743	12,350	13,393	16,246	7,991	8,255	63.11	64.70	61.64
衆議院小選挙区選出議員選挙	21. 8. 30	25,282	12,123	13,159	18,853	9,208	9,645	74.57	75.95	73.30
衆議院比例代表選出議員選挙	21. 8. 30	25,282	12,123	13,159	18,850	9,206	9,644	74.56	75.94	73.29
最高裁判所裁判官国民審査	21. 8. 30	25,268	12,115	13,153	17,998	8,776	9,222	71.23	72.44	70.11
大町市長選挙	22. 6. 27	24,792	11,872	12,920	16,738	7,968	8,770	67.51	67.12	67.88
大町市議会議員補欠選挙 (旧大町市の区域)	22. 6. 27 (無投票)	23,539	11,299	12,240	—	—	—	—	—	—
参議院長野県選出選挙	22. 7. 11	25,072	12,099	13,063	15,827	7,793	8,034	63.13	64.89	61.50
参議院比例代表選出議員選挙	22. 7. 11	25,072	12,009	13,063	15,828	7,794	8,034	63.13	64.90	61.50
長野県知事選挙	22. 8. 8	24,868	11,925	12,943	15,785	7,674	8,111	63.48	64.35	62.67
長野県議会議員一般選挙	23. 4. 10 (無投票)	25,027	11,996	13,031	—	—	—	—	—	—
大町市議会議員一般選挙	23. 4. 24	24,661	11,813	12,848	16,844	7,986	8,858	68.30	67.60	68.94
衆議院小選挙区選出議員選挙	24. 12. 16	24,598	11,812	12,786	15,580	7,730	7,850	63.34	65.44	61.40
衆議院比例代表選出議員選挙	24. 12. 16	24,598	11,812	12,786	15,580	7,729	7,851	63.34	65.43	61.40
最高裁判所裁判官国民審査	24. 12. 16	24,580	11,802	12,778	14,940	7,411	7,529	60.78	62.79	58.92
参議院長野県選出議員選挙	25. 7. 21	24,439	11,722	12,717	14,175	7,035	7,140	58.00	60.02	56.15
参議院比例代表選出議員選挙	25. 7. 21	24,439	11,722	12,717	14,175	7,035	7,140	58.00	60.02	56.15
大町市長選挙	26. 6. 29 (無投票)	24,375	11,718	12,657	—	—	—	—	—	—
長野県知事選挙	26. 8. 10	24,141	11,609	12,532	10,920	5,346	5,574	45.23	46.05	44.48
衆議院小選挙区選出議員選挙	26. 12. 14	24,238	11,657	12,581	12,766	6,399	6,367	52.67	54.89	50.61
衆議院比例代表選出議員選挙	26. 12. 14	24,238	11,657	12,581	12,769	6,400	6,369	52.68	54.90	50.62
最高裁判所裁判官国民審査	26. 12. 14	24,217	11,647	12,570	12,252	6,114	6,138	50.59	52.49	48.83
長野県議会議員一般選挙	27. 4. 12	23,852	11,473	12,379	10,962	5,450	5,512	45.96	47.50	44.53
大町市議会議員一般選挙	27. 4. 26	23,836	11,455	12,381	14,533	6,947	7,586	60.97	60.65	61.27
参議院長野県選出議員選挙	28. 7. 10	24,486	11,863	12,623	15,139	7,530	7,609	61.83	63.47	60.28
参議院比例代表選出議員選挙	28. 7. 10	24,486	11,863	12,623	15,137	7,531	7,606	61.82	63.48	60.26

資料:選挙管理委員会

注)合併前は旧大町市の数値である。

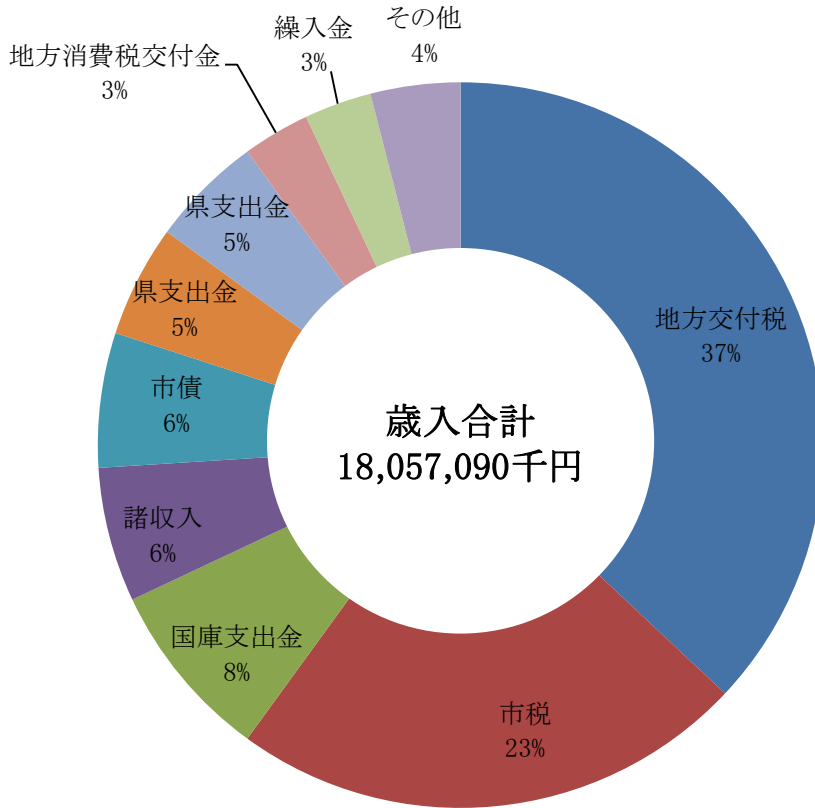
選挙人名簿登録者数等の推移

年次	選挙人名簿登録者数			人口100人に 対する有権者	在外選挙人名簿登録者数		
	総数	男	女		総数	男	女
平成 24 年	24,746	11,884	12,862	83.7	18	10	8
25	24,433	11,727	12,706	83.7	19	10	9
26	24,357	11,727	12,630	84.3	21	10	11
27	24,108	11,631	12,477	83.2	20	10	10
28	24,394	11,831	12,563	85.5	18	9	9

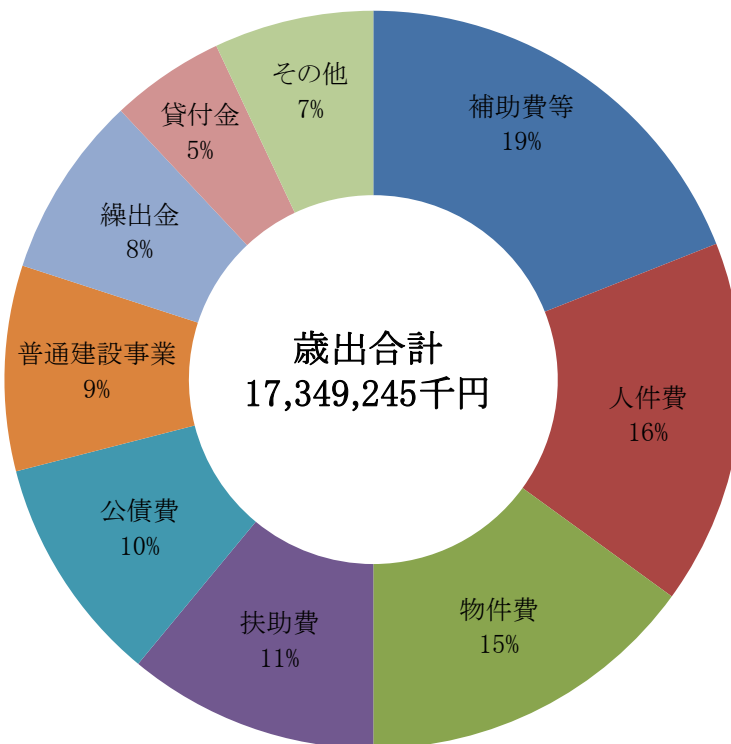
資料：選挙管理委員会

- 注) 1. 合併前は旧大町市の数値である。
 2. 選挙人名簿登録者は9月1日現在で9月2日に確定した数値
 3. 人口対比率は有権者総数を各年の10月1日現在の住民基本台帳による総人口で除した。

平成27年度一般会計歳入決算構成比



平成27年度一般会計性質別歳出決算構成比



会計別決算の状況

年 度	一般会計・特別会計歳入							企業会計歳入（収益的收入）					
	一般会計	国民健康 保 険	後期高齢者医 療	公 共 下 水 道	農 業 集 落 排 水 事 業	公 営 簡 易 水 道	温 泉 宿 泊 施 設	公 共 下 水 道	農 業 集 落 排 水 事 業	水 道 事 業	温 泉 引 湯 事 業	病 院 事 業	指 定 訪 問 看 護 事 業
	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円
平成23年	17,120,363	3,264,482	289,328	1,088,214	102,633	198,525	—	—	—	530,373	67,882	4,307,018	26,564
24	17,093,949	3,334,374	309,530	1,108,900	99,742	218,196	—	—	—	530,003	68,249	4,314,897	—
25	17,165,909	3,509,120	313,700	1,352,776	104,795	197,225	26,872	—	—	531,674	75,134	4,096,944	—
26	17,010,145	3,628,308	337,987	—	—	226,322	37,076	1,205,699	112,735	580,563	74,775	4,448,127	—
27	18,057,090	4,077,750	334,175	—	—	236,405	30,913	1,174,503	111,223	576,223	102,027	4,466,712	—

資料：企画財政課

市税の収入状況

税 目	平 成 23 年 度			平 成 24 年 度		
	調定額	収入額	収納率	調定額	収入額	収納率
	千円	千円	%	千円	千円	%
総 額	4,691,113	4,197,985	89.5	4,583,329	4,093,438	89.3
(1) 普 通 税	4,528,608	4,051,027	89.5	4,431,031	3,958,612	89.3
市 民 税	1,510,994	1,387,650	91.8	1,509,638	1,400,101	92.7
固 定 資 産 税	2,728,377	2,390,348	87.6	2,642,838	2,294,757	86.8
軽 自 動 車 税	85,599	77,695	90.8	85,819	78,143	91.1
市 た ば こ 税	191,167	191,167	100.0	184,611	184,611	100.0
特 別 土 地 保 有 税	12,471	4,167	33.4	8,125	1,000	12.3
(2) 目 的 税	162,505	146,958	90.4	152,298	134,826	88.5
入 湯 税	47,072	46,413	98.6	43,966	41,606	94.6
都 市 計 画 税	115,433	100,545	87.1	108,332	93,220	86.1

資料：税務課

年 度	一般会計・特別会計歳出							企業会計歳出（収益の支出）					
	一般会計	国民健康 保 険	後期高齢者 医 療	公 共 下 水 道	農 業 集 落 排 水 事 業	公 営 簡 易 水 道	温 泉 宿 泊 施 設	公 共 下 水 道	農 業 集 落 排 水 事 業	水 道 事 業	温 泉 引 湯 事 業	病 院 事 業	指 定 訪 問 看 護 事 業
	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円
平成23年	16,297,284	3,264,482	288,229	1,044,331	96,942	197,750	—	—	—	485,301	44,567	4,196,754	34,946
24	16,336,488	3,255,890	308,158	1,070,337	94,501	217,084	—	—	—	479,455	40,029	4,312,146	—
25	16,546,531	3,391,735	312,352	1,265,070	96,003	191,903	26,870	—	—	487,763	52,785	4,415,406	—
26	16,157,287	3,544,280	336,812	—	—	212,852	23,311	1,216,025	109,507	488,662	52,124	4,849,947	—
27	17,391,866	3,927,990	332,780	—	—	225,643	27,277	1,111,819	103,069	457,036	53,975	4,849,343	—

平 成 25 年 度			平 成 26 年 度			平 成 27 年 度		
調定額	収入額	収納率	調定額	収入額	収納率	調定額	収入額	収納率
千円	千円	%	千円	千円	%	千円	千円	%
4,563,664	4,098,833	89.8	4,600,939	4,162,505	90.5	4,504,420	4,130,832	91.7
4,402,839	3,953,965	89.8	4,442,544	4,019,455	90.5	4,349,347	3,987,873	91.7
1,478,792	1,380,017	93.3	1,543,085	1,450,067	94.0	1,505,046	1,427,786	94.9
2,627,048	2,289,288	87.1	2,623,036	2,298,543	87.6	2,571,045	2,291,102	89.1
86,120	78,375	91.0	87,232	81,654	93.6	85,389	81,118	95.0
204,285	204,285	100.0	189,101	189,101	100.0	187,867	187,867	100.0
6,594	2,000	30.3	90	90	100.0	0	0	—
160,825	144,868	90.1	158,395	143,050	90.3	155,073	142,959	92.2
52,344	50,642	96.7	49,655	47,954	96.6	50,113	49,535	98.8
108,481	94,226	86.9	108,740	95,096	87.5	104,960	93,424	89.0

歳入内容別決算状況（一般会計）

歳入項目	平成23年度		平成24年度		平成25年度		平成26年度		平成27年度	
	歳入額	対前年度比	歳入額	対前年度比	歳入額	対前年度比	歳入額	対前年度比	歳入額	対前年度比
	千円	%	千円	%	千円	%	千円	%	千円	%
市 税	4,197,986	96.4	4,093,438	97.5	4,098,833	100.1	4,162,505	101.6	4,130,832	99.2
地 方 譲 与 税	208,463	98.8	194,800	93.4	185,244	95.1	176,256	95.1	183,993	104.4
利 子 割 交 付 金	9,424	68.8	7,231	76.7	5,935	82.1	5,775	97.3	4,712	81.6
配 当 割 交 付 金	5,289	152.8	4,786	90.5	8,719	182.2	16,388	188.0	13,135	80.2
株 式 等 譲 渡 所 得 割 交 付 金	1,662	129.9	1,091	65.6	14,713	1348.6	12,442	84.6	13,470	108.3
地 方 消 費 税 交 付 金	313,602	98.6	308,820	98.5	306,188	99.1	370,066	120.9	601,324	162.5
ゴ ル フ 場 利 用 税 交 付 金	2,036	98.3	1,771	87.0	1,752	98.9	1,812	103.4	1,721	95.0
自 動 車 取 得 税 交 付 金	39,841	84.8	51,880	130.2	52,214	100.6	18,812	36.0	34,389	182.8
地 方 特 例 交 付 金	61,648	86.3	10,932	17.7	9,579	87.6	8,852	92.4	8,710	98.4
地 方 交 付 税	6,526,971	98.9	6,651,601	101.9	6,763,715	101.7	6,637,078	98.1	6,626,802	99.8
交 通 安 全 対 策 特 別 交 付 金	5,300	95.1	4,990	94.2	4,739	95.0	4,206	88.8	4,488	106.7
分 担 金 及 び 負 担 金	201,170	96.4	190,115	94.5	195,450	102.8	185,385	94.9	61,504	33.2
使 用 料 及 び 手 数 料	270,682	125.0	298,778	110.4	294,905	98.7	292,027	99.0	387,695	132.8
国 庫 支 出 金	1,284,603	46.7	1,167,222	90.9	1,242,209	106.4	1,303,394	104.9	1,396,932	107.2
県 支 出 金	774,415	63.2	750,868	97.0	751,414	100.1	864,898	115.1	919,513	106.3
財 産 収 入	33,048	125.4	25,778	78.0	105,220	408.2	33,743	32.1	33,473	99.2
寄 付 金	14,177	312.8	2,188	15.4	2,447	111.8	40,762	1665.8	94,528	231.9
繰 入 金	527,167	751.7	173,725	33.0	202,710	116.7	285,063	140.6	526,161	184.6
繰 越 金	736,941	115.8	823,079	111.7	757,461	92.0	619,377	81.8	852,858	137.7
諸 収 入	945,234	103.2	902,446	95.5	979,002	108.5	1,000,262	102.2	1,080,485	108.0
市 債	960,704	55.5	1,428,410	148.7	1,183,460	82.9	971,042	82.1	1,080,365	111.3
歳 入 合 計	17,120,363	88.2	17,093,949	99.8	17,165,909	100.4	17,010,145	99.1	18,057,090	106.2

資料：企画財政課

歳出内容別決算状況（一般会計）

歳出項目	平成23年度		平成24年度		平成25年度		平成26年度		平成27年度	
	歳出額	対前年度比	歳出額	対前年度比	歳出額	対前年度比	歳出額	対前年度比	歳出額	対前年度比
	千円	%	千円	%	千円	%	千円	%	千円	%
人 件 費	2,865,245	101.5	2,719,862	94.9	2,631,781	96.8	2,791,242	106.1	2,705,286	96.9
扶 助 費	1,879,278	107.4	1,907,307	101.5	1,888,822	99.0	1,969,965	104.3	1,949,894	99.0
公 債 費	2,528,465	85.3	2,151,955	85.1	2,075,108	96.4	1,905,508	91.8	1,749,416	91.8
普 通 建 設 事 業 費	1,166,892	33.7	1,533,523	131.4	1,581,152	103.1	1,178,051	74.5	1,583,458	134.4
災 害 復 旧 事 業 費	138,242	469.0	19,796	14.3	13,209	66.7	36,848	279.0	80,136	217.5
物 件 費	2,391,308	106.1	2,369,840	99.1	2,250,975	95.0	2,549,238	113.3	2,581,516	101.3
補 助 費 等	2,475,102	129.6	2,259,121	91.3	2,103,064	93.1	3,096,336	147.2	3,325,515	107.4
維 持 補 修 費	363,312	99.9	450,009	123.9	561,148	124.7	718,812	128.1	446,294	62.1
積 立 金	164,591	16.6	624,203	379.2	973,070	155.9	142,589	14.7	817,327	573.2
出 資 金 貸 付 金	514,509	101.9	506,045	98.4	506,990	100.2	507,500	100.1	832,698	164.1
繰 出 金	1,810,340	111.0	1,794,827	99.1	1,961,212	109.3	1,261,198	64.3	1,320,326	104.7
歳 出 計	16,297,284	87.2	16,336,488	100.2	16,546,531	101.3	16,157,287	97.6	17,391,866	107.6
歳 入 歳 出 差 引 額	823,079	111.7	757,461	92.0	619,378	81.8	852,858	137.7	665,224	78.0

資料：企画財政課

目的別市債の状況

平成28年3月31日現在 住民基本台帳 人口 28,666人 11,801世帯

区 分	平成26年度末 現在高	平成27年度中 借入額	平成27年度中 元金償還額	平成27年度末 現在高	(D)に対する	
	(A)	(B)	(C)	(A)+(B)-(C) (D)	1人当たり現在高	1世帯当たり現在高
(一般会計分)	千円	千円	千円	千円	円	円
1 普 通 債	3,126,578	118,900	609,020	2,636,458	91,972	223,410
(1) 総 務 債	257,149		22,248	234,901	8,194	19,905
(2) 民 生 債	243,646		52,005	191,641	6,685	16,239
(3) 衛 生 債	48,977		3,110	45,867	1,600	3,887
(4) 労 働 債	0		0	0	0	0
(5) 農 林 債	364,037		114,332	249,705	8,711	21,160
(6) 商 工 債	922		922	0	0	0
(7) 土 木 債	561,796		161,848	399,948	13,952	33,891
(8) 消 防 債	2,896		832	2,064	72	175
(9) 教 育 債	935,445		124,781	810,664	28,280	68,695
(10) 過疎対策事業債	492,664	56,600	110,687	438,577	15,300	37,164
(11) 緊急防災減災・全国防 災	219,046	62,300	18,255	263,091	9,178	22,294
2 災 害 復 旧 債	65,213	7,100	13,922	58,391	2,037	4,948
3 合 併 特 例 債	3,870,375	258,200	583,899	3,544,676	123,654	300,371
4 そ の 他	7,081,088	696,165	397,904	7,379,349	257,425	625,316
(1) 臨時財政特例債	0			0	0	0
(2) 地域再生事業債	0			0	0	0
(1) 減税補てん債	231,727		33,954	197,773	6,899	16,759
(2) 臨時税収補てん債	48,056		15,701	32,355	1,129	2,742
(3) 臨時財政対策債	6,801,305	696,165	348,249	7,149,221	249,397	605,815
(7) 減収補てん債	0			0	0	0
計	14,143,254	1,080,365	1,604,745	13,618,874	475,088	1,154,044
(特別会計、企業会計分)	(単位:千円)			(単位:千円)		
水 道 事 業	1,916,082		131,044	1,785,038	62,270	151,262
温 泉 引 湯 事 業				0	0	0
病 院 事 業	4,589,875	495,600	470,208	4,615,267	161,001	391,091
公 共 下 水 道	10,407,295	145,400	550,960	10,001,735	348,906	847,533
農 業 集 落 排 水	752,740		58,042	694,698	24,234	58,868
公 営 簡 易 水 道	678,642	29,800	65,101	643,341	22,443	54,516
計	18,344,634	670,800	1,275,355	17,740,079	618,854	1,503,269
合 計	32,487,888	1,751,165	2,880,100	31,358,953	1,093,942	2,657,313

資料:企画財政課

市税市民負担額の推移

年 度	人 口	世 帯	調 定 額 (現 年 度)	市 民 負 担 額	
				1 人 当 たり	1 世 帯 当 たり
	人	世帯	千円	円	円
平成23年度	29,978	11,639	4,225,332	140,948	363,032
24	30,024	11,825	4,125,179	137,396	348,852
25	29,605	11,791	4,120,231	139,173	349,439
26	29,328	11,825	4,170,687	142,208	352,701
27	28,962	11,828	4,120,263	142,264	348,348

資料：税務課 注) 1. 人口、世帯は各年10月1日現在。

2. 平成24年以前の人口は日本人のみの数値、世帯は日本人と混合の世帯数を足した数値。

地方交付税の状況（普通交付税）

年 度	基準財政 需要額	基準財政 収入額	交付基準額	交付額	財政力指数 (3カ年平均)
	千円	千円	千円	千円	
平成23年度	9,216,634	3,687,438	5,529,196	5,529,196	0.428
24	9,226,928	3,595,485	5,631,443	5,614,799	0.419
25	9,148,975	3,513,350	5,635,625	5,635,625	0.420
26	9,098,698	3,523,786	5,574,912	5,574,912	0.410
27	9,196,559	3,644,839	5,551,720	5,551,720	0.410

資料：企画財政課 注) 錯誤措置額を含む。

市 有 財 産

平成28年9月30日現在

年 次	大町市	
	土 地	建 物
区 分	㎡	㎡
行 政 財 産	5,720,677	233,758
本 庁 舎	21,439	10,759
消 防 施 設	2,574	1,338
そ の 他 の 行 政 施 設	8,645	2,989
学 校	299,225	67,318
公 営 住 宅	153,852	30,674
公 園	363,699	616
そ の 他 の 公 共 施 設	4,871,243	120,064
普 通 財 産	8,562,909	4,953
宅 地 ・ 貸 家	74,622	2,846
墓 地	45,765	—
山 林	7,360,000	—
そ の 他	1,082,522	2,107

資料：企画財政課

5. 農 林 業

専業・兼業別農家数と農家人口

各年2月1日現在

年次	区 分	総 数	大 町	平	常 盤	社	八坂	美麻
平成12年	総 数	2,579 戸	483	581	772	308	223	212
	自給的農家	676 戸	191	108	110	55	132	80
	販売農家	1,903 戸	292	473	662	253	91	132
	専業農家	214 戸	22	44	81	25	17	25
	兼業農業主	130 戸	24	25	62	12	3	4
	兼業兼業主	1,559 戸	246	404	519	216	71	103
	農 家 人 口	10,464 人	1,979	2,443	3,317	1,228	791	706
平成17年	総 数	2,310 戸	437	534	700	288	187	164
	自給的農家	720 戸	203	136	132	70	109	70
	販売農家	1,590 戸	234	398	568	218	78	94
	専業農家	233 戸	28	50	86	32	18	19
	兼業農業主	202 戸	36	40	87	23	6	10
	兼業兼業主	1,155 戸	170	308	395	163	54	65
	農 家 人 口	8,662 人	1,623	2,058	2,788	1,065	607	521
平成22年	総 数	2,015 戸	376	455	641	247	149	147
	自給的農家	704 戸	176	151	168	67	74	68
	販売農家	1,311 戸	200	304	473	180	75	79
	専業農家	233 戸	32	46	87	33	20	15
	兼業農業主	129 戸	25	34	43	16	8	3
	兼業兼業主	960 戸	143	224	343	131	54	65
	農 家 人 口	4,908 人	752	1,143	1,823	652	278	260
平成27年	総 数	1,760 戸	333	390	561	220	126	130
	自給的農家	672 戸	162	138	163	84	60	65
	販売農家	1,088 戸	171	252	398	136	66	65
	専業農家	292 戸	37	59	110	45	23	18
	兼業農業主	79 戸	17	22	36	—	2	2
	兼業兼業主	717 戸	117	171	252	91	41	45
	農 家 人 口	3,774 人	621	860	1,427	461	214	191

資料：農林業センサス

注) ①自給的農家…経営耕地面積が30a未満かつ農産物販売金額が50万円未満の農家。

②販売農家…経営耕地面積が30a以上または農産物販売金額が50万円以上の農家。

③平成12年、17年は総農家の世帯員数より農家人口を算出。

平成22年以降は販売農家のみの世帯員数より農家人口を算出。

販売農家における主副業別農家数

各年2月1日現在

年次	区 分	総 数	大 町	平	常 盤	社	八坂	美麻
平成22年	販 売 農 家	1,311	200	304	473	180	75	79
	主業農家	129	25	25	60	12	6	1
	準主業農家	380	55	99	146	44	20	16
	副業的農家	802	120	180	267	124	49	62
平成27年	販 売 農 家	1,088	171	252	398	136	66	65
	主業農家	91	17	13	48	8	5	—
	準主業農家	231	47	60	85	18	11	10
	副業的農家	766	107	179	265	110	50	55

資料：農林業センサス

注) ①主業農家・・・農業所得が主で、65歳未満の農業従事60日以上の方がいる農家。

②準主業農家・・・農外所得が主で、65歳未満の農業従事60日以上の方がいる農家。

③副業的農家・・・65歳未満の農業従事60日以上の方がいない農家。

経営耕地面積の推移

(単位 ha) 各年2月1日現在

年次	大字別	総面積	経営耕地面積									樹園地		
			田				畑				面積	果樹園	その他	
			面積	稲作田	稲以外	作付けしなかった	面積	普通畑	牧草専用	作付けしなかった				
平成12年	総数	2,280	2,005	1,433	364	208	211	187	0	22	65	63	2	
	大町	309	266	195	45	26	17	15	0	2	25	25	0	
	平	579	536	379	95	62	38	33	0	5	5	4	0	
	常盤	956	872	622	164	86	54	49	-	5	30	29	1	
	社	260	235	167	45	23	23	21	0	2	2	2	0	
	八坂	82	27	19	2	6	52	49	0	2	4	3	1	
	美麻	95	68	51	12	5	27	21	-	6	-	-	-	
平成17年	総数	2,169	1,903	1,468	342	94	208	156	33	18	56	58	...	
	大町	285	247	206	35	6	13	12	-	1	22	24	...	
	平	568	501	373	96	32	64	26	33	5	4	4	...	
	常盤	922	854	653	163	39	42	37	-	5	26	26	...	
	社	239	217	165	38	14	20	17	-	3	2	2	...	
	八坂	80	29	26	3	1	49	46	0	2	2	2	...	
	美麻	75	55	45	7	2	20	18	-	2	0	0	...	
平成22年	総数	2,297	2,010	1,493	456	61	222	156	36	30	66	66	...	
	大町	299	257	192	59	6	18	11	-	7	24	24	...	
	平	595	529	389	120	20	58	20	33	5	7	7	...	
	常盤	1,012	920	666	234	20	62	50	3	9	31	31	...	
	社	245	225	181	33	11	19	15	-	4	1	1	...	
	八坂	75	27	24	2	1	46	44	-	2	3	3	...	
	美麻	71	52	41	8	3	19	16	-	3	0	0	...	
平成27年	総数	2,251	1,967	1,526	379	62	223	187	5	31	61	61	...	
	大町	303	260	201	51	8	16	14	0	2	26	26	...	
	平	536	508	360	128	20	23	19	-	4	5	5	...	
	常盤	1,000	917	740	150	28	55	47	5	4	28	28	...	
	社	224	205	158	43	4	19	16	-	2	1	1	...	
	八坂	123	27	24	2	0	95	77	-	18	1	1	...	
	美麻	65	50	43	6	1	15	15	-	1	0	0	...	

資料：農林業センサス

- 注) 1. 経営耕地面積は四捨五入したため、個々の数値を合計しても必ずしも総数と一致しない。
 2. 平成17・22・27年は総数、12年は販売農家のみ数値である。
 3. 樹園地のその他について、平成17・22年は集計項目なし。

経営耕地規模別農家数

各年2月1日現在

年次	地区別	総農家数	販売農家 総数	販 売 農 家 数						3.0ha 以上	
				0.3ha 未満	0.3~0.5	0.5~1.0	1.0~1.5	1.5~2.0	2.0~2.5		2.5~3.0
平成12年	総数	2,579	1,903	2	395	642	397	209	115	53	90
	大町	483	292	-	100	102	32	21	12	7	18
	平	581	473	-	71	168	117	56	30	14	17
	常盤	772	662	-	86	183	158	99	62	27	47
	社	308	253	1	60	90	59	22	11	5	5
	八坂	223	91	1	35	36	12	4	-	-	3
	美麻	212	132	-	43	63	19	7	-	-	-
平成17年	総数	2,310	1,590	-	294	563	318	188	132		95
	大町	437	234	-	65	94	23	17	20		15
	平	534	398	-	52	153	88	52	34		19
	常盤	700	568	-	71	172	126	79	67		53
	社	288	218	-	54	71	54	22	9		8
	八坂	187	78	-	26	31	12	9	-		-
	美麻	164	94	-	26	42	15	9	2		-
平成22年	総数	2,015	1,311	-	243	450	257	152	119		109
	大町	376	200	-	52	74	27	15	18		17
	平	455	304	-	43	108	62	43	30		22
	常盤	641	473	-	52	150	98	66	58		59
	社	247	180	-	40	64	45	13	11		8
	八坂	149	75	-	34	19	12	7	1		2
	美麻	147	79	-	22	35	13	8	1		1
平成27年	総数	1,760	1,088	2	176	365	213	129	108		95
	大町	333	171	-	42	54	28	13	17		17
	平	390	252	-	32	86	54	40	24		16
	常盤	561	398	1	40	118	75	55	57		52
	社	220	136	-	25	51	33	14	7		6
	八坂	126	66	1	21	24	13	3	1		3
	美麻	130	65	-	16	32	10	4	2		1

資料：農林業センサス

販売農家における農家人口と就業世帯員数

各年2月1日現在

年次	地区別	15歳 以上の 農家 人口	農業に主として従事した世帯数	
			男	女
平成22年	総数	4,435	2,189	2,246
	大町	3,940	1,950	1,990
	八坂	248	123	125
	美麻	247	116	131
平成27年	総数	1,754	696	758
	大町	1,560	615	670
	八坂	102	46	46
	美麻	92	35	42

資料：農林業センサス

注) 数値は全て15歳以上の農家人口。

販売農家における年齢別農家人口

各年2月1日現在

年	総数	0～14	15～19	20～29	30～39	40～49	50～59	60～64	65歳以上	
平成22年	4,908 人	473	241	374	418	513	713	449	1,727	
平成27年	3,774 人	279	175	243	281	415	484	354	1,543	
増減	実数	△ 1,134 人	△ 194	△ 66	△ 131	△ 137	△ 98	△ 229	△ 95	△ 184
	比率	△ 23.1 %	△ 41.0	△ 27.4	△ 35.0	△ 32.8	△ 19.1	△ 32.1	△ 21.2	△ 10.7
構成比	平成22年	100.0 %	9.6	4.9	7.6	8.5	10.5	14.5	9.1	35.2
	平成27年	100.0 %	7.4	4.6	6.4	7.4	11.0	12.8	9.4	40.9

資料：農林業センサス

販売農家における家畜の頭羽数

各年2月1日現在

区分	乳用牛			肉用牛			豚			鶏		
	平成17年	平成22年	平成27年	平成17年	平成22年	平成27年	平成17年	平成22年	平成27年	平成17年	平成22年	平成27年
	頭	頭	頭	頭	頭	頭	頭	頭	頭	百羽	頭	頭
総数	180	171	150	X	—	—	525	X	X	X	X	X
大町	—	—	—	—	—	—	—	—	X	—	—	—
平	—	—	—	—	—	—	X	—	—	—	—	X
常盤	X	X	150	X	—	—	X	—	X	X	X	X
社	X	X	—	—	—	—	X	X	X	—	—	—
八坂	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
美麻	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

資料：農林業センサス

販売農家農業用機械所有台数

各年2月1日現在

区分	平成22年	平成27年	増減数	増減率	普及率	
	台	台	台	%		%
動力耕耘機・農用トラクター	1,321	1,098	△ 223	△ 20.3	対・販売農家数	83.8
15馬力未満	…	…	—	—		—
15～30	…	…	—	—		—
30馬力以上	…	…	—	—		—
動力防除機	…	…	—	—	対・田のある農家数	—
乗用型スピードスプレヤー	…	…	—	—		—
動力田植機	1,005	767	△ 238	△ 31.0		59.9
バインダ	…	…	—	—		—
コンバイン	625	523	△ 102	△ 19.5		40.8
米麦用乾燥機	…	…	—	—		—

資料：農林業センサス

注) 販売農家数は1,088戸。田のある農家数は1,065戸。

農地の移動状況

(単位：件・a)

年 度	審 議 件 数						面 積					
	総 数	法第3条 (所有権)	法第3条 (貸借権等)	法第4条	法第5条	法第18条	総 数	法第3条 (所有権)	法第3条 (貸借権等)	法第4条	法第5条	法第18条
23	129	25	—	3	33	68	3,066	172	—	22	246	2,626
24	154	32	—	7	43	72	4,569	882	—	7	474	3,206
25	166	28	—	6	29	103	5,252	452	—	15	241	4,544
26	161	21	—	11	40	89	3,657	339	—	32	750	2,536
27	209	23	—	5	52	129	8,363	308	—	10	975	7,070

(単位：件・a)

年 度	審議件数		面積		
	促進法第4条 (所有権)	促進法第4条 (貸借権等)	促進法第4条 (所有権)	促進法第4条 (貸借権等)	国・県・市等の転用
23	7	400	261	18,264	—
24	24	427	616	18,816	—
25	3	540	282	27,269	—
26	10	499	121	23,714	—
27	12	512	592	24,703	—

資料：農業委員会

区分説明 ①法＝農地法

法第3条（所有権）＝所有権の移転
 法第3条（貸借権等）＝賃貸借権、使用貸借件の設定
 法第4条＝所有者による農地以外の転用
 法第5条＝所有権の移転及び貸借権等の設定による農地以外の転用
 法第18条＝貸借の解約など

②促進法＝農業経営基盤強化促進法第4条

促進法第4条（所有権）＝所有権の移転
 促進法第4条（貸借権等）＝賃貸借権、使用貸借権の設定

林野面積

平成27年2月1日現在 (単位：ha)

計	国 有			民 有							
	計	林野庁	林野庁 以外の 官 庁	計	独立行政 法人等	公 有				私 有	
						小 計	都道府県	森林整備法人 (林業・ 造林公社)	市区町村		財産区
40,673	21,295	21,295	—	19,378	198	1,623	164	648	811	—	17,557

資料：農林業センサス

6. 事業所

事業所数・従業者数の推移

年次	平成11年 (簡易調査)	平成13年	平成16年 (簡易調査)	平成18年	平成21年 (基礎調査)	平成24年 (活動調査)	平成26年 (基礎調査)
事業所数	2,023	2,146	1,887	1,877	1,751	1,626	1,751
従業者数	14,261	16,238	13,578	14,145	15,091	12,710	14,852

資料：事業所・企業統計調査（平成18年以前）、経済センサス（平成21年以降）

注）1. 平成11、16、24、28年は公務（国及び地方公共団体の事業所）を除く。

2. 「事業所・企業統計調査」は平成21年から「経済センサス」に統合された。

産業大分類別事業所数

産業大分類	平成21年 (基礎調査)		平成24年 (活動調査)		平成26年 (基礎調査)	
	事業所数	構成比	事業所数	構成比	事業所数	構成比
全産業	1,751	100.0	1,626	100.0	1,726	100.0
農林漁業	24	1.4	25	1.5	25	1.4
鉱業，採石業，砂利採取業	5	0.3	2	0.1	2	0.1
建設業	268	15.3	232	14.3	226	13.1
製造業	112	6.4	111	6.8	121	7.0
電気・ガス・熱供給・水道業	7	0.4	4	0.2	9	0.5
情報通信業	10	0.6	10	0.6	5	0.3
運輸業，郵便業	37	2.1	38	2.3	36	2.1
卸売業，小売業	385	22.0	352	21.6	346	20.0
金融業，保険業	17	1.0	18	1.1	18	1.0
不動産業，物品賃貸業	71	4.1	72	4.4	71	4.1
学術研究，専門・技術サービス業	53	3.0	49	3.0	53	3.1
宿泊業，飲食サービス業	298	17.0	288	17.7	290	16.8
生活関連サービス業，娯楽業	130	7.4	129	7.9	141	8.2
教育，学習支援業	70	4.0	53	3.3	85	4.9
医療，福祉	102	5.8	97	6.0	131	7.6
複合サービス業	18	1.0	18	1.1	19	1.1
サービス業(他に分類されないもの)	117	6.7	128	7.9	123	7.1
公務	27	1.5	-	-	25	1.4

資料：事業所・企業統計調査（平成18年）、経済センサス（平成21年以降）

注）1. 「事業所・企業統計調査」は平成21年から「経済センサス」に統合。

2. 平成19年に日本標準産業分類が改定。

3. 平成24、28年調査は公務を含まない。

産業大分類別従業者数

産業大分類	平成21年 (基礎調査)		平成24年 (活動調査)		平成26年 (基礎調査)	
	従業者数	構成比	従業者数	構成比	従業者数	構成比
全産業	15,091	99.9	12,710	100.0	14,852	100.0
農林漁業	513	3.4	540	4.2	507	3.4
鉱業, 採石業, 砂利採取業	34	0.2	12	0.1	10	0.1
建設業	2,045	13.5	1,494	11.8	1,423	9.6
製造業	2,268	15.0	2,501	19.7	2,430	16.4
電気・ガス・熱供給・水道業	192	1.3	140	1.1	253	1.7
情報通信業	83	0.5	69	0.5	29	0.2
運輸業, 郵便業	736	4.9	890	7.0	526	3.5
卸売業, 小売業	2,613	17.3	2,027	15.9	2,246	15.1
金融業, 保険業	203	1.3	173	1.4	189	1.3
不動産業, 物品賃貸業	239	1.6	172	1.4	210	1.4
学術研究, 専門・技術サービス業	271	1.8	206	1.6	249	1.7
宿泊業, 飲食サービス業	1,836	12.2	1,631	12.8	1,800	12.1
生活関連サービス業, 娯楽業	525	3.5	577	4.5	625	4.2
教育, 学習支援業	599	4.0	313	2.5	674	4.5
医療, 福祉	1,399	9.3	1,026	8.1	2,183	14.7
複合サービス業	247	1.6	183	1.4	345	2.3
サービス業(他に分類されないもの)	674	4.5	756	5.9	576	3.9
公務	614	4.1	-	-	577	3.9

資料：事業所・企業統計調査（平成18年）、経済センサス（平成21年以降）

注）1. 「事業所・企業統計調査」は平成21年から「経済センサス」に統合。

2. 平成19年に日本標準産業分類が改定。

3. 平成24、28年調査は公務を含まない。

産業中分類別の製造品出荷額等の推移

産業分類	平成23年		平成24年		平成25年		平成26年		平成27年	
	工場数	出荷額等	工場数	出荷額等	工場数	出荷額等	工場数	出荷額等	工場数	出荷額等
		万円		万円		万円		万円		万円
総数	49	9,607,356	48	7,493,352	48	6,849,346	48	7,779,298	56	7,393,688
食料	11	523,295	14	604,066	13	565,423	13	549,042	15	602,734
飲料	5	122,444	5	132,356	6	148,434	6	157,654	6	166,756
繊維	2	X	2	X	2	X	2	X	2	X
衣服	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
木材	2	X	2	X	2	X	2	X	2	X
家具	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
紙・パルプ	1	X	1	X	1	X	1	X	-	X
印刷	2	X	2	X	2	X	2	X	2	X
化学	2	X	1	X	1	X	1	X	1	X
プラスチック	1	X	1	X	1	X	1	X	1	X
石油	1	X	-	-	-	-	-	-	1	X
窯業	4	3,691,583	4	2,691,083	4	2,227,041	4	2,529,300	4	2,329,672
金属	3	1,343,164	3	596,753	3	1,171,132	3	1,104,660	5	1,179,675
はん用機械	1	X	-	-	-	-	-	-	-	-
生産用機械	3	42,073	2	X	2	X	2	X	3	98,398
業務用機械	-	-	-	-	-	-	-	-	1	X
電子	3	2,518,204	3	2,277,038	3	1,537,725	3	2,166,926	5	1,650,832
電気	1	X	1	X	1	X	1	X	2	X
情報	3	13,337	3	13,901	3	10,059	3	11,947	1	X
輸送	1	X	2	X	2	X	2	X	2	X
精密	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
その他	3	141,921	2	X	2	X	2	X	3	X
Xの計		1,211,335	-	1,178,155	-	1,189,532	-	1,259,769	-	1,365,621

資料：工業統計調査、経済センサス（平成23、27年）

注）1. 従業者数が4人以上の事業所が対象。

2. 平成23年は経済センサス-活動調査の結果を長野県が独自集計した数値。

年次別の工場数・従業者数・製造品出荷額等の推移

年次	工場数	従業者数		製造品出荷額等		1事業所当り			1従業者当り	
		総数	対前年比	実数	対前年比	従業員	出荷額	対前年比	出荷額	対前年比
		人	%	万円	%	人	万円	%	万円	%
平成23	49	2,344	98.7	9,607,356	107.4	47.8	196,068	109.6	4,099	106.0
24	48	2,096	111.8	7,493,352	78.0	43.7	156,112	79.6	3,575	87.2
25	48	2,107	99.5	6,849,346	91.4	43.9	142,695	91.4	3,251	90.9
26	48	2,124	99.2	7,779,298	113.6	44.3	162,069	113.6	3,663	112.7
27	56	2,278	93.2	7,393,688	95.0	40.7	132,030	81.5	3,246	88.6

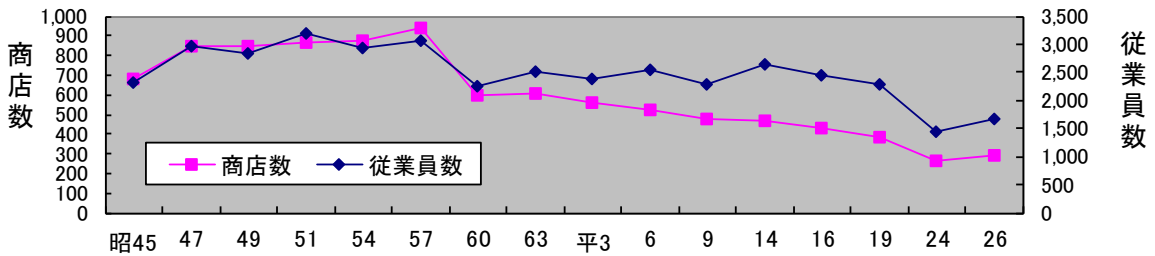
資料：工業統計調査、経済センサス（平成23年のみ）

注）1. 従業者数4人以上の事業所が対象。

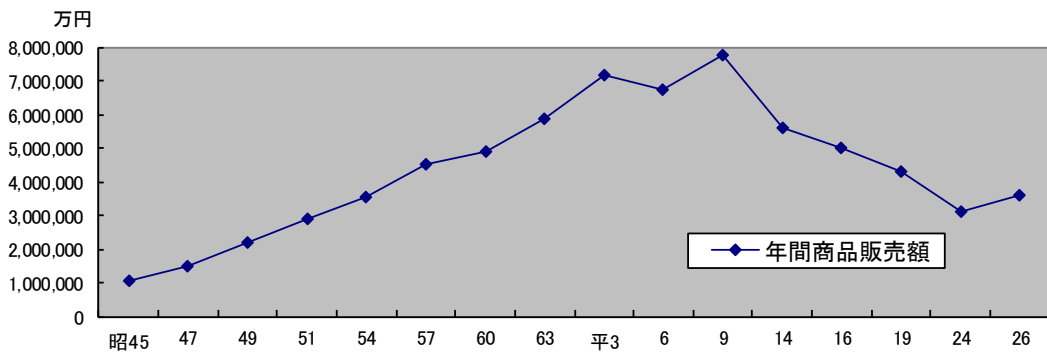
2. 平成23年は経済センサス-活動調査の結果を長野県が独自集計した数値。

3. 平成26年以前は12月31日現在、平成27年以降は6月1日現在の数値。

卸売・小売業の推移



年間商品販売額の推移



商業の推移

年次	商店数	従業者数	年間商品販売額	その他の収入額	商品手持額	1商店当たり		1人当たり販売額
						従業者	販売額	
		人	万円	万円	万円	人	万円	万円
昭和45年	677	2,311	1,068,142	13,220	128,460	3.4	1,578	462
47	850	2,965	1,471,566	18,382	142,520	3.5	1,731	496
49	849	2,831	2,213,841	28,700	237,240	3.3	2,608	782
51	869	3,191	2,880,965	55,316	294,434	3.7	3,315	903
54	872	2,939	3,541,045	63,085	330,679	3.4	4,061	1,205
57	943	3,058	4,542,633	95,755	464,071	3.2	4,817	1,485
60	592	2,238	4,893,838	125,316	461,123	3.8	8,267	2,187
63	604	2,527	5,878,910	187,916	509,328	4.2	9,733	2,326
平成3年	561	2,385	7,160,369	243,716	650,268	4.3	12,764	3,002
6	525	2,557	6,758,250	260,948	514,750	4.9	12,873	2,643
9	474	2,288	7,749,198	281,409	563,795	4.8	16,349	3,387
14	467	2,650	5,616,014	223,151	482,318	5.7	12,026	2,119
16	432	2,458	5,031,070	5.7	11,646	2,047
19	385	2,291	4,299,494	80,510	373,182	6.0	11,168	1,877
24	264	1,456	3,140,017	193,922	339,252	5.5	11,894	2,157
26	293	1,672	3,627,000	5.7	12,379	2,169

資料：商業統計調査、経済センサス（平成24年のみ）

注）1. 昭和54、57年の従業者数及び年間商品販売額は飲食店のうちバー、酒場等を除く。

2. 昭和60年以降は飲食店を除く。

3. 平成24年は経済センサス-活動調査の結果のうち卸売業・小売業について長野県が独自集計した数値。

産業中分類別年間商品販売額の推移（卸売・小売業）

年次		昭和60年（5月1日）		昭和63年（6月1日）		平成3年（7月1日）		平成6年（7月1日）	
		商店数	販売額	商店数	販売額	商店数	販売額	商店数	販売額
			万円		万円		万円		万円
総	数	597	(4,911,821)	604	(5,878,910)	561	7,160,369	525	6,758,250
卸	売業	64	1,480,984	71	2,261,679	62	2,997,766	54	2,523,796
各種商品	小売業	1	X	2	X	4	(448,219)	2	X
織物・衣服・身の回り品	小売業	65	(538,780)	61	(568,951)	58	232,361	56	238,361
飲食料品	小売業	193	1,036,528	201	1,125,761	169	1,172,613	164	1,336,044
自動車・自転車	小売業	41	(549,901)	42	(751,967)	40	(897,396)	35	(846,286)
家具建具什器	小売業	56	(279,086)	57	(335,322)	56	(322,951)	47	(320,786)
その他の	小売業	177	(1,000,353)	168	(792,609)	172	(1,045,561)	167	(6,564)

年次		平成9年（6月1日）		平成14年（6月1日）		平成16年（6月1日）		平成19年（7月1日）	
		商店数	販売額	商店数	販売額	商店数	販売額	商店数	販売額
			万円		万円		万円		万円
総	数	474	7,749,198	467	5,616,014	432	5,031,070	385	4,299,494
卸	売業	52	3,301,812	52	(1,628,729)	45	1,226,715	42	1,070,968
各種商品	小売業	2	X	4	(310,275)	2	X	2	X
織物・衣服・身の回り品	小売業	50	220,860	39	159,828	41	150,303	37	97,971
飲食料品	小売業	142	1,376,844	134	1,099,158	130	(919,497)	94	845,559
自動車・自転車	小売業	33	(868,042)	33	(607,384)	32	X	33	499,528
家具建具什器	小売業	51	X	43	320,733	40	332,437	39	292,538
その他の	小売業	144	(1,293,895)	162	1,481,457	142	(1,560,104)	138	X

年次		平成24年（6月1日）		平成26年（6月1日）	
		商店数	販売額	商店数	販売額
			万円		万円
総	数	264	3,140,017	293	3,627,000
卸	売業	31	758,561	37	830,600
各種商品	小売業	1	X	1	X
織物・衣服・身の回り品	小売業	25	81,513	25	69,800
飲食料品	小売業	62	605,986	71	693,100
機械器具	小売業	38	409,013	45	642,600
その他の	小売業	100	X	107	X
無店舗	小売業	7	11,841	7	14,900

資料：商業統計調査、経済センサス

注) 1. 表中のXは伏数値。

2. ()内の数値はXの数字を含まないため、総数と一致しない。

3. 平成24、28年は経済センサス-活動調査の結果のうち卸売業・小売業について長野県が独自集計した数値のため産業中分類が異なる。

9. 教育・文化

学校総覧

平成28年5月1日現在

学校名	創立年月日	学級数	教員数	児童生徒数 (平成28年5月1日現在)			一般校舎 面積	屋内 運動場 講堂面積	屋外 運動場
				総数	男	女			
		級	人	人	人	人	m ²	m ²	m ²
大町東小学校	S56. 4. 1	11	19	207	113	94	5,899	1,002	13,715
大町西小学校	S59. 4. 1	14	26	272	150	122	7,360	1,486	13,169
大町南小学校	S62. 4. 1	16	23	298	158	140	5,689	1,247	9,275
大町北小学校	S52. 4. 1	14	23	367	186	181	6,705	982	11,750
八坂小学校	S61. 4. 1	6	10	39	19	20	2,865	1,027	8,190
美麻小学校	S51. 4. 1	8	22	54	27	27	1,346	1,227	11,956
第一中学校	S34. 4. 1	11	23	275	128	147	6,687	2,123	12,455
仁科台中学校	S40. 4. 1	15	28	417	198	219	6,776	1,487	15,750
八坂中学校	S22. 4. 1	4	11	35	15	20	2,167	1,198	9,388
美麻中学校	S52. 4. 1	5	22	41	20	21	2,015	1,227	11,956
大町岳陽高等学校	H28. 4. 1	18	59	715	348	367	6,307	2,141	18,422
大町幼稚園	S 9. 3. 15	3	10	51	30	21	626	—	1,491
こまくさ幼稚園	S35. 4. 1	4	11	70	36	34	447	91	587
りんどう幼稚園	S55. 4. 1	4	9	49	30	19	486	150	1,540

資料：企画財政課（学校基本調査）、教育委員会、大町岳陽高校

注) 1. 学級数は特別支援教室を含む。

2. 美麻小中学校の屋内運動場及び屋外運動場は小中兼用。

幼稚園の状況

各年5月1日現在

年次	園数	学級数	園児数				教員数		園児の年齢別		
			総数	男	女	1学級 当たり 園児数	実数	教員1人 当たりの 園児数	3歳	4歳	5歳
		級	人	人	人	人	人	人	人	人	人
平成24年	3	9	145	85	60	16.1	17	8.5	41	46	58
25	3	10	135	63	72	13.5	18	7.5	42	47	46
26	3	11	136	65	71	12.4	18	7.6	41	45	50
27	3	12	149	74	75	12.4	25	6.0	59	47	43
28	3	11	170	96	74	15.5	31	5.5	57	65	48

資料：企画財政課（学校基本調査）

小学校の状況

各年5月1日現在

年次	学校数	学級数	児童数			教員数 実数	学年別児童数						
			総数	男	女		1学年	2学年	3学年	4学年	5学年	6学年	
平成24年	校	級	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人
6	75	1,453	701	752	116	208	222	248	257	265	253		
25	6	72	1,397	682	715	111	193	209	224	250	255	266	
26	6	70	1,364	682	682	122	215	198	211	226	257	257	
27	6	72	1,321	678	643	122	207	215	204	208	229	258	
28	6	69	1,237	653	584	123	173	203	213	208	210	230	

資料：企画財政課（学校基本調査）

中学校の状況

各年5月1日現在

年次	学校数	学級数	生徒数				教員数		学年別生徒数			3月 卒業 者数
			総数	男	女	1学級 当たりの 生徒数	実数	教員1人 当たりの 生徒数	1学年	2学年	3学年	
平成24年	校	級	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人
4	39	906	491	415	23.2	81	11.2	307	281	318	332	
25	4	38	838	451	387	22.1	77	10.9	249	310	279	318
26	4	36	820	418	402	22.8	76	10.8	266	244	310	278
27	4	34	762	369	393	22.4	87	8.8	251	265	246	309
28	4	35	768	361	407	21.9	84	9.1	255	251	262	245

資料：企画財政課（学校基本調査）

高等学校の状況

各年5月1日現在

年次	学校数	学級数	生徒数				教員数		学年別生徒数		
			総数	男	女	1学級 当たりの 生徒数	実数	教員1人 当たりの 生徒数	1学年	2学年	3学年
平成18年	校	級	人	人	人	人	人	人	人	人	人
2	22	865	393	472	39.3	74	11.7	287	273	305	
19	2	21	829	387	442	39.5	75	11.1	285	276	268
20	2	21	820	382	438	39.0	74	11.1	286	269	265
21	2	22	845	392	453	38.4	69	12.2	303	277	265
22	2	23	868	404	464	37.7	72	12.1	303	293	272
23	2	23	854	396	458	37.1	73	11.7	281	294	279
24	2	22	852	381	471	38.7	70	12.2	283	277	292
25	2	21	821	343	478	39.1	69	11.9	265	280	276
26	2	20	775	340	435	38.8	70	11.1	235	263	277
27	2	19	734	333	401	38.6	66	11.1	244	235	255
28	1	18	715	348	367	39.7	59	12.1	242	243	230

資料：大町高等学校、大町北高等学校、大町岳陽高等学校

注）H28年度で大町、大町北高等学校は廃校。同年、大町岳陽高等学校が創立。

中学校進路別卒業生数

各年5月1日現在

年次	卒業生総数	A 進学者 (就職進学を含む)						B 教育訓練機関等入学者 (就職して入学した者を含む)	就職者 (左記A・Bを除く)	左記以外の者	死亡・不詳	左記Aのうち他県への進学者 (再掲)	左記A及びBのうち就職している者 (再掲)		卒業者のうち入学を志願した者				進学率	就職率
		計	全日	定時	通信	高専	特別支援学校 (高等部 (本科))						左記Aのうち	左記Bのうち	高校	高専	後期過程 (本科)	中等教育学校 (高等部 (本科))		
平成24年3月	332	328	315	1	9	2	1	—	—	4	—	8	—	—	319	2	—	1	98.8	—
男	162	159	154	1	4	—	—	—	—	3	—	6	—	—	158	—	—	—	98.1	—
女	170	169	161	—	5	2	1	—	—	1	—	2	—	—	161	2	—	1	99.4	—
平成25年3月	318	317	304	6	3	2	2	—	—	1	—	13	—	—	310	2	—	2	99.7	—
男	169	168	161	4	1	1	1	—	—	1	—	9	—	—	165	1	—	1	99.4	—
女	149	149	143	2	2	1	1	—	—	—	—	4	—	—	145	1	—	1	100.0	—
平成26年3月	278	276	256	6	5	6	3	—	—	2	—	8	—	—	262	6	—	3	99.3	—
男	155	154	139	4	3	6	2	—	—	1	—	4	—	—	143	6	—	2	99.4	—
女	123	122	117	2	2	—	1	—	—	1	—	4	—	—	119	—	—	1	99.2	—
平成27年3月	309	304	293	4	2	2	3	—	—	5	—	6	—	—	297	2	—	3	98.4	—
男	165	164	158	1	1	1	3	—	—	1	—	4	—	—	159	1	—	3	99.4	—
女	144	140	135	3	1	1	—	—	—	4	—	2	—	—	138	1	—	—	97.2	—
平成28年3月	245	244	234	3	3	4	—	—	—	1	—	6	—	—	238	4	—	—	99.6	—
男	127	126	121	1	—	4	—	—	—	1	—	5	—	—	123	4	—	—	99.2	—
女	118	118	113	2	3	—	—	—	—	—	—	1	—	—	115	—	—	—	100.0	—

資料：企画財政課 (学校基本調査)

高等学校進路別卒業生数

各年5月1日現在

年次	卒業生総数	A 進学者 (就職進学を含む)					B 教育訓練機関等入学者 (就職して入学した者を含む)	就職者 (左記A及びBを除く)	無業者	死亡・不詳	左記Aのうち他県への進学者 (再掲)	左記A及びBのうち就職している者 (再掲)		卒業者のうち入学を志願した者		進学率	就職率
		総数	大学	短大	通信教育	大・短大の別課						左記Aのうち	左記Bのうち	大学	短大		
平成24年3月	274	149	109	40	—	96	24	5	—	88	—	—	139	40	54.4	8.8	
男	120	62	56	6	—	42	14	2	—	39	—	—	76	6	51.7	11.7	
女	154	87	53	34	—	54	10	3	—	49	—	—	63	34	56.5	6.5	
平成25年3月	291	131	95	36	—	114	41	5	—	72	—	—	141	26	45.0	14.1	
男	152	73	67	6	—	59	17	3	—	54	—	—	75	6	48.0	11.2	
女	139	58	28	30	—	55	24	2	—	18	—	—	66	20	41.7	17.3	
平成26年3月	271	123	95	28	—	103	38	7	—	87	—	—	136	28	45.4	14.0	
男	118	55	52	3	—	47	14	2	—	45	—	—	80	3	46.6	11.9	
女	153	68	43	25	—	56	24	5	—	42	—	—	56	25	44.4	15.7	
平成27年3月	274	137	105	32	—	53	36	6	—	86	—	—	126	32	50.0	13.1	
男	113	56	54	2	—	24	11	3	—	40	—	—	69	2	49.6	9.7	
女	161	81	51	30	—	29	25	3	—	46	—	—	57	30	50.3	15.5	
平成28年3月	253	128	103	25	—	53	40	1	—	69	—	—	110	25	50.6	15.8	
男	103	49	47	2	—	18	17	—	—	36	—	—	63	2	47.6	16.5	
女	150	79	56	23	—	35	23	1	—	33	—	—	47	23	52.7	15.3	

資料：大町高等学校、大町北高等学校、大町岳陽高等学校

高等学校卒業者の産業大分類別就職者数(県内)

5月1日現在

産 業 別	27年3月卒			28年3月卒		
	計	男	女	計	男	女
総 数	25	2	23	28	8	20
農 林 業	1	-	1	-	-	-
建 設 業	-	-	-	-	-	-
製 造 業	4	-	4	12	5	7
電 気 ・ ガ ス ・ 熱 供 給 , 水 道 業	2	2	-	1	1	-
情 報 通 信 業	-	-	-	-	-	-
運 輸 業	1	-	1	3	2	1
卸 売 ・ 小 売 業	8	1	7	5	2	3
金 融 ・ 保 険 業	-	-	-	-	-	-
不 動 産 業	-	-	-	-	-	-
飲 食 店 , 宿 泊 業	5	-	5	4	1	3
医 療 , 福 祉 業	1	-	1	1	-	1
サ ー ビ ス 業	8	2	6	7	1	6
公 務 業	-	-	-	1	1	-
そ の 他	5	5	-	6	4	2

資料：大町高等学校、大町北高等学校、大町岳陽高等学校

高等学校卒業者の職業分類別就職者数(県内)

5月1日現在

産 業 別	27年3月卒			28年3月卒		
	計	男	女	計	男	女
総 数	25	2	23	28	8	20
専 門 技 術 者	2	2	-	3	3	-
事 務 従 事 者	2	-	2	7	1	6
販 売 従 事 者	7	1	6	5	2	3
農 林 業 作 業 者	-	-	-	-	-	-
運 輸 ・ 通 信 業 従 事 者	-	-	-	2	1	1
技 能 工 程 生 産 工 程 作 業 者	4	-	4	10	3	7
単 純 労 働 者	-	-	-	-	-	-
保 安 職 業 者	-	-	-	1	1	-
サ ー ビ ス 職 業 者	13	1	12	6	1	5
そ の 他	7	6	1	6	5	1

資料：大町高等学校、大町北高等学校、大町岳陽高等学校

高等学校卒業者の県内地区別就職者数

各年5月1日現在

年次	就職者総数	県外就職者	県内就職者		大北地域			その他の地方					
			人数	就職率	計	大町市	北安曇郡	計	松本市	長野市	岡谷市	安曇野市	その他
平成24年	人 24	人 2	人 22	% 91.7	人 13	人 7	人 6	人 9	人 5	人 3	人 -	人 1	人 -
25	41	7	34	82.9	18	15	3	16	7	2	-	4	3
26	37	8	29	78.4	12	12	-	17	8	2	-	7	-
27	36	3	33	91.7	19	18	1	14	7	4	-	3	-
28	40	-	40	100.0	23	16	7	17	6	4	-	6	1

資料：大町高等学校、大町北高等学校、大町岳陽高等学校

高等学校卒業者の都道府県別大学等進学者数

各年5月1日現在

年次	総数			県内		県外（都道府県別）									内訳
	計	男	女	人数	率	計	率	東京	神奈川	山梨	愛知	埼玉	千葉	その他	
平成24年	人 149	人 62	人 87	人 61	% 40.9	人 88	% 59.1	人 22	人 10	人 5	人 13	人 2	人 2	人 34	
25	131	73	58	59	45.0	72	55.0	15	9	7	8	5	3	25	
26	123	55	68	30	24.4	93	75.6	27	8	4	7	5	2	40	
27	137	56	81	51	37.2	86	62.8	18	8	10	2	4	2	42	
28	114	49	65	45	39.5	69	60.5	11	4	4	3	6	11	30	

資料：大町高等学校、大町北高等学校、大町岳陽高等学校

奨学金貸与の状況

平成27年3月31日現在

年度	貸付者数				貸付額		減免額		償還者数	償還額	
	大学生		高校生		年額	累計額	年額	累計額		年額	累計額
	新規	継続	新規	継続							
平成23年度	人 1	人 1	人 -	人 2	千円 1,080	千円 70,354	千円 0	千円 14,592	人 16	千円 1,590	千円 46,009
24	-	2	-	-	720	71,074	0	14,592	14	1,413	47,422
25	-	1	-	-	360	71,434	0	14,592	16	1,387	48,809
26	1	-	-	-	360	71,794	0	14,592	13	1,518	50,327
27	1	1	-	-	720	72,514	0	14,592	12	1,877	52,204

資料：教育委員会 注)旧八坂村・旧美麻村は該当なし。

図書館貸出冊数の推移

年 度	児童図書・紙芝居	一般図書等（注）	計	一日平均
平成23年度	51,831	113,932	165,763	588
24	49,268	103,214	152,482	531
25	50,731	104,442	155,173	548
26	50,393	105,840	156,233	554
27	52,937	100,845	153,782	532

資料：市立大町図書館

（注）一般図書には視聴覚資料等の利用も含む

図書館登録者数（累計）

年 度	児 童	高校生・一般	計	一人当たり貸出数
平成23年度	3,264	14,974	18,238	9.1
24	3,397	15,323	18,720	8.1
25	3,545	15,697	19,242	8.1
26	3,688	16,095	19,783	7.9
27	3,825	16,475	20,300	7.8

資料：市立大町図書館

図書館の蔵書と利用冊数

分 類	蔵書冊数 冊	蔵書構成比 %
N 郷 土 資 料	6,657	4.8
0 総 記	4,471	3.2
1 哲 学	4,039	2.9
2 歴 史	9,498	6.9
3 社 会 科 学	13,920	10.0
4 自 然 科 学	9,838	7.1
5 技 術	7,466	5.4
6 産 業	3,664	2.6
7 芸 術	10,764	7.8
8 語 学	1,815	1.3
9 文 学	31,746	22.9
小 計	103,878	—
大 活 字 本	1,737	—
児 童 図 書	34,077	24.6
紙 芝 居	1,025	—
大 活 字 本	—	—
点 字 図 書	633	0.5
図 書 合 計	138,588	100.0
園 文 庫	3,858	—
雑 誌	4,704	—
C D	1,710	—
ビ デ オ	1,585	—
D V D	626	—
テ ー プ 図 書	1,768	—
合 計	152,839	—

資料：市立大町図書館

平成28年3月31日現在

資料種別	27年度貸出数
一般図書	85,913
児童図書	52,937
郷土資料	646
資料小計	139,496
雑 誌	6,546
フ リ ー	4,511
C D	2,775
ビ デ オ	454
学習室利用	5,222
合 計	159,004

夏期大学講座の受講者数

年 度	職業別受講者				地域別受講者					
	総 数	教 員	学 生	そ の 他	県内					県外 一般
					郡内 教員	郡 内 一	教他 郡 員市	一他 郡 一般市	学 生	
平成17年度	2,063	1,145	14	904	…	…	…	…	…	74
18	2,340	1,201	19	1120	1,168	861	33	131	19	128
19	2,111	1,177	2	932	1,155	777	22	79	2	76
20	1,963	1,118	8	837	1,079	698	39	83	8	56
21	1,987	1,123	6	858	1,097	663	26	98	6	97
22	1,838	999	33	806	969	596	30	137	33	73
23	1,893	1,078	27	788	1,049	555	29	148	27	85
24	1,810	961	2	847	946	626	15	166	2	55
25	1,817	999	1	817	982	655	17	124	1	38
26	1,826	998	3	825	981	651	17	120	3	54
27	1,847	928	1	918	914	699	14	162	1	57
28	1,931	996	1	934	974	762	22	117	1	55

資料：北安曇教育会

注) 数値は開講中の延べ数

山岳博物館の観覧状況

年 度	総 数				一 般 個 人			団 体			減免及び 無料入館者
	計	大 人	高 校 生	小 中 学 生	大 人	高 校 生	小 中 学 生	大 人	高 校 生	小 中 学 生	
平成23年度	18,032	15,326	455	2,251	12,363	127	855	2,963	328	1,396	2,988
24	14,001	12,162	642	1,227	9,818	144	640	2,344	498	587	2,132
25	10,672	9,558	239	875	7,550	97	522	2,008	142	353	1,565
26	17,432	15,395	774	1,263	12,249	119	893	3,146	655	370	3,487
27	15,106	13,156	545	1,405	10,427	101	795	2,729	444	610	3,136

資料：山岳博物館

注) 減免及び無料入館者は総数に含まない。

名称・指定年月日・所在地	説 明
国指定文化財	
[国 宝]	
仁科神明宮本殿・中門(前殿) S28. 3. 31 社1159番地	本殿は桁行3間・梁間2間・神明造・檜皮葺。中門(前殿・御門屋)は四脚門・切妻造・檜皮葺で釣屋がこれらを連結している。ともに寛永13年(1636)の造営で江戸時代初期の端正な建築である。本殿は神明造の建築物として、わが国で最古の様式を伝えていることで極めて高く評価されている。
[重要文化財]	
盛蓮寺観音堂 S24. 5. 30 社2937番地-1	もとは東北側山中の山寺地籍にあった堂を移築したものと伝えられているが、仁科氏の祈願寺であった関係から、同氏によって造られたものと考えられる。室町時代に建立されているが、鎌倉時代末頃の創建当時のおもかげをわずかにとどめている。桁行3間・梁間3間の寄棟造で、松本平最古の木造建築物である。
木造棟札 S25. 8. 29 社1159番地	永和2年(1376)から安政3年(1856)にいたる480年間に及ぶ27枚が指定されており、棟札が単独で指定されているのは全国でもこれだけである。この棟札によって仁科神明宮の20年に一度の式年造営の様子、仁科氏の家系と家臣、造営事情等を詳細に極めることができ、地方文化の究明の上でも貴重な資料とされている。仁科神明宮蔵。
若一王子神社本殿 S30. 2. 12 大町2097番地	一間社・隅木入春日造・檜皮葺で、承応3年(1654)の棟札1枚が付属指定されている。室町時代の末頃に仁科氏によって造営されたもので、建築様式に多くの地方様式を残している。
鉄鰐口 S32. 2. 19 社4886番地2	面径24cmで表面に安貞2年(1228)8月の陽刻銘が見られる。木船にあった仁科氏の祈願寺跡から出土したものと伝えられており、鉄製で年代の明らかな鰐口としては、わが国最古のものである。このような珍しい鰐口が、この地に残っているのは、仁科氏文化の性格を語るものとして貴重で興味深い。木船部落所蔵。大町山岳博物館保管。
御正体 S36. 2. 17 社1159番地	銅製の円盤に仁科神明宮の本地仏大日如来などを取り付けた懸仏で、指定されているのは5面であるが、ほかに11面が附属指定されている。裏面に「弘安元年卯月廿一日」の朱漆銘のあるものや、「弘安九年十二月廿二日」の墨書銘のあるものがあるほか、「志ん名」「志んめいの御しやうたい」と記されているものがある。仁科神明宮蔵。
木造千手観音立像 S25. 8. 29 八坂1625番地	檜材、寄木造、像高168.2cm。像造年代が、平安時代末期であるが、技法や彫り方にはそれ以前のものを感じさせる。木像の胎内には、願主・仏師などの名前や治承3年(1179)3月と年代など造像事情を記した墨書木札1枚、白銅製菊花双雀文鏡1枚、紙本千手観音摺仏28枚が納入されており、白銅鏡は附属指定となっている。藤尾覚音寺の本尊で、「藤尾の観音さま」と呼ばれ、人々に親しまれている。
木造持国天立像・木造多聞天立像 S25. 8. 29 八坂1625番地	2軀は覚音寺千手観音立像の脇持で、檜材、寄木造。像高は、持国天161.5cm、多聞天157.6cm。像の背面には、持国天・建久5年(1194)、多聞天・建久6年(1195)年と年号の陰刻銘が刻まれており、これが造像年代と考えられる。鎌倉時代初頭の造像であるが、作風は平安時代後期の作風を残している。
旧中村家住宅 主屋・土蔵 H9. 12. 3 美麻17668番地	主屋は、桁行14間・梁行6間・建坪84坪(約278㎡)の木造平屋・茅葺・寄棟造で、元禄11年(1698)建立と建築年代が明らかな民家として県内最古で、大きさも当時の民家としては県内屈指で、農村における居住形態を知る上で貴重である。 土蔵は、桁行6間・梁行4間の切妻造で、安永9年(1780)と建築年代が判明するものとしては県下で古い例に属す。置屋根で軒支柱を立てて屋根の荷重を支える構造である。

[国 天然記念物]	
高瀬渓谷の噴湯丘と球状石灰石 T11. 10. 12 平 湯侯	高瀬渓谷の湯俣川下流付近で、温泉沈殿物(主に炭酸カルシウム)が河床に堆積して小さな火山のような形(噴湯丘)になり、中央の湧き口に白い小豆粒大の霰石(あられいし)【球状方解石】ができる現象が珍しい。
[国 特別天然記念物]	地域を定めず指定されているもの(種指定)で、市内に生息するもの。
ライチョウ S30. 2. 15	動物・鳥類
カモシカ S30. 2. 15	動物・哺乳類
[国 天然記念物]	地域を定めず指定されているもの(種指定)で、市内に生息するもの。
イヌワシ S40. 5. 12	動物・鳥類
ヤマネ S50. 6. 26	動物・哺乳類
[長野県宝]	
木造観音菩薩立像 S40. 1. 14 大町4188番地	平安時代中期の制作と考えられるもので、櫓(けやき)の一木造。後に補われ修理された部分もあるが、平安時代初期の貞観様式を多分にもつ安曇平最古の木像である。像高5尺3寸3分(約161. 5cm)の立像。弾誓寺観音堂保存会蔵。
若一王子神社三重塔及び棟札 S41. 1. 27 大町2097番地	弾誓寺六世木食故信法阿の発願で宝永3年(1706)から工事を始め、宝永8年(1711)に竣工した。墓股(かえるまた)内部に方位に合わせ獣面人身という珍しい彫刻が施されており、この地方としてはまれに見る優雅な塔で、松本平で唯一の木造の塔である。
天正寺三重小塔 S41. 1. 27 大町4729番地4	若一王子神社の三重塔の原型とも言い伝えられ、10分の1の縮尺であるとされているが、細部の手法には若一王子神社の三重塔とは異なったところが見られる。造られた年代は江戸中期とみられる。
大黒町舞台 S62. 8. 17 大町2199番地	諏訪の名匠二代目立川和四郎富昌により、江戸時代後期の文政9年(1826)頃までに完成したと思われる。二層構成・切妻起屋根・三輪形式の稼働舞台。随所に入念巧運な立川流の彫刻があり、美術的価値が高い。明治21年(1888)年に松本の本町二丁目から購入し、以来毎年7月の若一王子神社の夏祭りに市街を巡行している。大黒町自治会蔵。
霊松寺山門 H5. 8. 12 大町6665番地イ	入母屋造・正面3間・側面2間の楼門形式の八脚門で総櫓造(そうけやきづくり)である。和様の重厚な形式を基本にして、唐様を取り入れた折衷様式でいたる所に施された素木彫の建築彫刻は、江戸時代後期立川流の流れをよく表している。嘉永5年(1852)に諏訪郡高部村の藤森広八(二代目政因)が棟梁となって、松川村観勝院に建てられたが、同寺が廃寺となった明治11年(1878)に霊松寺へ移築されたものである。
銅造十一面観音坐像御正体残闕 (ざんけつ) H11. 3. 18 大町2097番地	若一王子神社観音堂の現在の本尊。本来は懸仏であったものであるが鏡板を失い仏体のみとなっている。鋳銅造で像高19cm、蓮華座の高さ3cmの坐像で、右手は施無畏、左手には瓶中蓮を持っていたと思われるがこれも失われている。元は金銅仏であったと思われるが、今は剥落している。やや下膨れの顔が柔和で、体型はふっくらとしている。彫りは浅く衲衣(のうい)も簡略であるができればは優美である。
山寺廃寺跡出土品 H11. 9. 16 社3945番地2	鎌倉～室町時代に社閨田の東山中にあったと伝えられる山寺廃寺跡から出土した火葬骨の蔵骨器で、四耳壺1・瓶子2・土師質小皿1・青白磁水注1・写経石(法華経の一部が石に墨で書かれたもの)1がある。四耳壺・瓶子は古瀬戸で鎌倉時代中期以前の優れた製品で、水注は中国の景德鎮での製造と推定される。大町市民俗資料館保管。
若一王子神社観音堂及び宮殿 H23. 9. 29 大町2097番地	観音堂は江戸時代中期の宝永3年(1706)に建立された宝形造、茅葺・三間四面の和様建築。内部は表側2間通りを外陣とし、奥1間通りを内陣として宮殿(厨子)を置く。宮殿は、禅宗様式を多く取り入れ、和様と唐様を折衷したものである。

[長野県無形文化財]	
仁科神明宮の神楽 S44. 7. 3 社1159番地	仁科神明宮の秋の例祭に奉納される、能を取り入れた神楽。演目は剣の舞・岩戸神楽・五行の舞・水継・幣の舞・竜神神楽・道祖神の7座である。舞だけの座と舞を伴いつつ謡曲によって天の岩戸・海幸山幸・天孫降臨の神話を展開していく座がある。
[長野県無形民俗文化財]	
仁科神明宮・作始め神事 H2. 2. 19 社1159番地	仁科神明宮の春の例祭に、伊勢神宮の祈念祭(としごいのまつり)にならって行われている神事。鍬初めから苗代づくり・種播き・鳥追いまでの一連の水田耕作の所作が、神楽殿内を一坪の広さに仕切った中で演じられる。その年の作況を占う神事。
流鏝馬の神事 H13. 9. 20 大町2097番地	毎年7月28日～29日(旧来は7月15日～17日)の若一王子神社の例祭で、最終日に行われる7～8歳の男子が化粧をして狩衣装束をつけ飾った馬に乗り、的板めがけ弓矢を射る神事。この神事のもとには農作の豊凶を占う神事で、武士の間で盛んであった「やぶさめ」の形を取り入れた地方色の強い神事と考えられる。
[長野県史跡]	
上原遺跡 S35. 2. 11 平1955番地355ほか	昭和25年～27年の数次にわたる発掘調査で配石跡や竪穴等の遺構の発見があった縄文時代前期を代表する遺跡。配石遺構は2群あって、1号群は中心石柱1個、側石柱12個により南北径3.6m、東西径2.2mの楕円形に復元され、2号群はこの南に2.4m離れ、中心石柱1個、側石柱6個により径1.8mの円形に復元されている。竪穴は配石跡の南40mにあり、径2m・深さ1mの円形竪穴で、側壁が階段状になっており焚火跡も見られた。出土遺物では、土器は縄文時代前期のものを中心とし、それに伴う石器は石斧・石鏃・石匙・石錐・塊状耳飾等がある。指定区域面積は約40,000㎡。
[長野県天然記念物]	
大塩のイヌ桜 S37. 7. 12 美麻3342番地	静御前がこの地を通ったときに持っていた杖をさしたのが根付いて大きくなったという伝承から「静かの桜」と呼ばれる。目通り幹囲は8.45m、太い幹に比して樹高約20mと低い。枝は四方に良く伸びており、樹姿が雄大である。開花期は5月下旬で、花径5mmぐらいの梅花状の白い花が穂状につく。 このようなイヌ桜の巨木は非常に珍しく貴重である。
若一王子神社社叢 S40. 4. 30 大町2097番地	約300本のスギと約130本のヒノキを主体にした、指定区域面積17,186.4㎡の社叢である。平坦地においてこれだけの面積の針葉樹林が見られるのは珍しく貴重である。
仁科神明宮の社叢 S44. 3. 17 社1159番地	国宝仁科神明宮を囲むスギ、ヒノキを主体とした、指定区域面積19,257.78㎡の社叢である。境内入口にある三本杉(現在中央1本を失っている)や国宝本殿の西側にあるスギは、目通り周囲5m樹高50mを越える巨木でこれらに加え境内には幹囲2mをこえるスギ20数本・ヒノキ10数本が生育し古い歴史を物語っている。
居谷里湿原 S46. 8. 23 大町8279番地10ほか	この湿原の状態は、ミズゴケのよく育ったところもあり、泥炭層の発達したところもあって、必ずしも一様ではない。湿原内にはモウセンゴケやミミカキグサ・タヌキモなどの多種の食虫植物のほか、ハンノキ・ミヤマウメドキ・イソノキなどの木本と、ミズバショウ・リュウキンカ・ミツガシワなどの草本等、湿原特有の植物が見られる。また、県内では珍しい暖地性のハチョウトンボの生息地であり、ハナノキの隔離分布として学術上貴重な湿原である。指定区域面積は、20,902㎡。
大町市のカワシンジュガイ生息地 H19. 1. 11 農具川水系 居谷里沢水系	北緯40～55度の範囲に分布する純北方系の淡水性二枚貝。氷河期には多く生息していたが、その終わりとともに高冷地の溪流にのみ姿を残すようになった「生きた化石」とも言える貴重な生物。中部農具川(平20677番地2先から15637番地1先まで)と居谷里沢(大町8267番地11先から8194番地先まで)の生息地2箇所を地域指定。
[長野県天然記念物]	
ミヤマモンキチョウ S50. 2. 24	地域を定めず指定されているもの(種指定)で、市内に生息するもの。 動物・高山蝶

ヤリガタケシジミ S50. 2. 24	動物・高山蝶
タカネキマダラセセリ S50. 2. 24	動物・高山蝶
クモマツマキチョウ S50. 2. 24	動物・高山蝶
タカネヒカゲ S50. 2. 24	動物・高山蝶
クモバニヒカゲ S50. 2. 24	動物・高山蝶
コヒオドシ S50. 2. 24	動物・高山蝶
オオイチモンジ S50. 2. 24	動物・高山蝶
ベニヒカゲ S50. 2. 24	動物・高山蝶
ホンドオコジョ S50. 11. 4	動物・哺乳類
ホンシュウモモンガ S50. 11. 4	動物・哺乳類
[大町市有形文化財]	
広形銅戈(海の口上諏訪社) S46. 12. 10 平14505番地	出土地等は明らかではないが、糸魚川地方または小谷村と推定されている。全長24. 5cm。銅戈は、北九州から近畿地方に分布しているが、中部地方以北の出土は稀で、弥生文化の伝播を知る貴重な資料である。大町市文化財センター保管。
盛蓮寺木造不動明王立像 S57. 3. 3 社2937番地1	腰をひねるようにして、右足に体重をのせて岩座に立つ。半眼半開、二牙を上下交互にあらわしている。右肩にたれる髪の一部、左臂、裾に傷が見られる他はほぼ完全であるが、右手に構える剣を失っている。鎌倉時代末の製作で台座・光背は後の時代に補っている。総丈98cm・仏丈65cm・岩座15. 5cm。
盛蓮寺木造薬師如来坐像 S57. 3. 3 社2937番地1	室町時代前半の文安4年(1447)に製作された檜材の小像である。小さいながら作風は大まかにゆったりとしており大きな感じをあらわしている。本像の胎内に「文安第四丁目卯三月廿四日 願主 喜香叟」の墨書銘がある。台座・光背・両手首・薬壺等を失っている。
大沢寺木造阿弥陀如来立像 S62. 3. 23 大町4156番地	檜材・寄木造。全高78cm。後補を繰り返していると思われ、鉢部は室町時代末～桃山時代。頭部は、古く平安時代の藤原様式が伺える。形状は整い均整がとれている。仁科氏の旧臣であった松村市左衛門の拝仏堂に安置されていたと伝えられる。
西正院木造大姥尊坐像 S63. 1. 14 平1298番地	檜材・寄木造。像高39. 5cm。頭に白布をかぶり、ゆったりとした単衣をまとい、帯を前に結び右脚を立てて坐った老婆の姿の像で、写実性に富、量感も豊かな室町時代中期の作。台座を失っている。当地における山岳信仰の一面を伝える証左として貴重。
天正寺山門 S63. 1. 14 大町4730番地1	装飾的な要素がほとんど無い、純粋な和様の薬医門である。元禄元(1688)年の建立で宝暦10(1760)年修理しているが、柱から梁間は、建立当時のままとされる。禅寺にふさわしい簡素な山門で江戸時代中期の数少ない建造物である。現八坂村大塚の丸山九郎左衛門尉が寄進したもの。
長性院木造聖観世音菩薩立像 H1. 3. 28 大町3682番地4	檜材・寄木造。総高184. 3cm、像高107cm。弾誓寺6世木食山居による江戸時代中期の作。背面下部に「万躰之内 木食山居作」の墨書銘がある。木食山居の数多い仏像の中でも、最も円熟した時期における大型で入念な作品である。
盛蓮寺木造如意輪観音坐像 H3. 5. 31 社2937番地1	檜材・寄木造。像高77. 6cm。後補の著しい像であるが、左膝の後部は造像当初のもので、鎌倉時代後期の像容がみられる。享保3年(1718)に修理したことを伝える朱漆銘が光背裏にある。一般的な如意輪観音の印相と左右逆になっている。
木舟薬師堂木造薬師如来立像 H3. 5. 31 社4886番地2	檜材・寄木造。総高122. 8cm、像高113cm。後補の著しい像であるが、体部と両肩から先の主要部分は造像当初のもので、鎌倉時代後期の写実的な像容が見られる。寛文6年(1666)に修理したことを伝える木札が残っている。
弾誓寺観音堂木造伝弾誓上人坐像 H4. 5. 19 大町4188番地	檜材・寄木造・玉眼嵌入・糊粉下地に彩色を施す。像高75cm。像容は、衲衣の上に袈裟をまとい、跏趺して合掌する姿である。およそ江戸時代17世紀中頃の作。地方色でありながら彫技の冴えのみられる完成度の高い作品である。本像は江戸時代前期の常念仏盛行の時代を看取れる貴重な文化財である。

<p>弾誓寺観音堂木造伝長音上人坐像 H4. 5. 19 大町4188番地</p>	<p>檜材・寄木造・玉眼嵌入・糊粉下地に彩色を施す。像高78cm。像容は、衲衣の上に袈裟をまとい、跏趺して両手で数珠を持つかと見られる姿である。胎内の胸部および背部の2カ所に墨書銘が記されている。江戸時代中期の元禄13年(1700)制作。弾誓寺4世願誉岳空寂阿野造像。本格的な彫技を用いた貴重な作品である。</p>
<p>盛蓮寺木造虚空蔵菩薩坐像 H6. 4. 28 社2937番地</p>	<p>桂材・寄木造。像高24.1cm。制作は室町時代前半と考えられる。台座・光背・持物・彩色等は江戸時代後期に補われたもの。虚空蔵菩薩像は、県下において室町時代前半に遡る類例が少なく、真言密教及び修験道の信州への伝播を示す貴重な仏像である。</p>
<p>天正寺木造薬師如来立像 H7. 4. 26 大町4729番地</p>	<p>檜材・寄木造。像高261cm。胎内に打ち付けられた木札の墨書銘から造仏を修行とする作仏聖「生誉蓮入比丘」により延宝5年(1677)5月に造立されたことがわかる。かなりの巨大像であり、しかも丁寧に仕上げられている点で文化的価値が高い。</p>
<p>大黒町追分の石造大黒天像・附版木 H8. 3. 25 大町1514番地1</p>	<p>嘉永5年(1852)に高遠の石工によって彫られた石像で、大黒町の名の由来ともなっている。現在のところ松本平では最大(全長約1.7m)にして最古のもので、彫刻技術も優れている。造立の由来を記した趣意書の版木も残っている。</p>
<p>山寺廃寺跡出土遺物 H8. 3. 25 社3945番地2</p>	<p>写経石(法華経の一部が石に墨で書かれたもの)1、灰釉小皿1の2点。県宝指定されている「山寺廃寺跡出土品」と同じ、社閨田の山寺廃寺跡から出土したものであるが表面採集されたもので出土状況は明確でない。大町市民俗資料館保管。</p>
<p>若一王子神社木造伝十一面観音菩薩立像 H9. 3. 24 大町2097番地</p>	<p>檜材・寄木造。推定像高180cm。11世紀の製作。台座・光背・瓔珞(ようらく)の残闕(ざんけつ)は江戸時代の後補。明治時代の初めに燃やされ軀部が大きく損傷を受けているが、若一王子神社の本地仏と考えられ、神社の歴史を語る資料として貴重である。</p>
<p>仁科神明宮銅製日岐盛貞奉納鏡 H10. 3. 25 社1159番地</p>	<p>円形、直径27.4cm。鏡背には五大明王、奉納者名、紀年銘などが記されている。この鏡は江戸時代寛永13年(1636)の仁科神明宮式年造営の時に日岐盛貞によって奉納されたもので実用品ではない。</p>
<p>仁科神明宮木造棟札 H10. 3. 25 社1159番地</p>	<p>国の重要文化財に指定されている室町時代(1376)～江戸時代末期(1856)の27枚の棟札に続く明治時代～昭和時代の棟札6枚。仁科神明宮で20年に一度行われる式年造営の歴史を明らかにできる資料である。</p>
<p>仁科神明宮木造小笠原秀政禁制札 H10. 3. 25 社1159番地</p>	<p>江戸時代初期の慶長19年(1614)に松本領主小笠原秀政が、領内の主要な社寺に対してその保護を目的として交付したものの一枚である。檜板に墨で禁制文が書かれた縦34cm、横61.3cmの高札である。</p>
<p>山下神社木造小笠原秀政禁制札 H11. 2. 26 社6097番地</p>	<p>小笠原秀政が領民掌握のために、社寺境内に交付した禁制札である。慶長19年(1614)5月15日の墨書銘が残る。高札上部には屋根形の棧があった痕跡が残るが、現在は、失われている。法量は最大高33.8cm、最大幅59.0cm。</p>
<p>八坂神社の旧神輿 H14. 2. 22 大町2097番地</p>	<p>「天王様の神輿」として市民に親しまれた神輿は、戦後しばらくまで7月15日の八坂神社例祭時に巡行されたものである。江戸中期18世紀初頭の製作とされ、若一王子神社観音堂宮殿などを建立した大町の宮大工金原一門の手になったものと推定される。</p>
<p>飯嶋善士氏所有「信越連帯新道」関係史料及び飯嶋家文書一括附その他の史料 H15. 2. 26 大町4700番地大町市文化財センターほか</p>	<p>江戸時代末期から明治初年にかけての野口村庄屋文書を中核とする。この中で注目されるのが信州内陸部と北陸沿岸部を結んだ交流最短路である「信越連帯新道」開削の関係史料である。指定数は、古文書類628点、その他看板等の史料84点を数える。</p>
<p>八日町毘沙門堂の木造毘沙門天立像 H16. 2. 19 大町1134番地9</p>	<p>仏像の総高168cm、仏高114cm、台座高40cmを測る。製作年代は頭部檜材が鎌倉時代、軀部が江戸時代初期、台座が江戸時代中期と補作が見られる。かつては右手に戟を持ち、左手に宝塔を掲げていたが、現在は欠失している。</p>

西澤正雄氏所有文書一括 附、その他の史料 H16. 2. 19 大町4700番地 大町市文化財センター保管	西澤家文書には江戸時代初期の庄屋関係文書と江戸時代末期の大庄屋関係文書とが含まれている。指定された古文書類は、慶長16年(1611)年～明治25年(1892)におよぶ258点、その他の史料1点を含む。
栗林士郎氏所有文書一括 H17. 3. 25 大町4700番地 大町市文化財センター保管	栗林家は、江戸時代初期から村役を勤め、少なくとも享保年間から大町組の庄屋・大庄屋を勤めた家柄である。今回指定された文書の内容は、庄屋という役目上から関与した法令・藩制村制・租税・土地・林野・戸口・農林業・醸造・水利・土建・治安・宗教・凶災・救恤・身分・絵図等々の農政に関する文書と大町の宿場に関わる交通・宿駅・運輸・通信・商業・都市等々の分野の古文書を包括して極めて多彩である。
高橋鴻生氏所有文書一括 H18. 3. 27 大町4700番地 大町市文化財センターほか	高橋家は、大庄屋格を受け、江戸期を通じて松崎村庄屋、間田村庄屋を兼務した家柄である。所蔵文書には、長年勤めた村方文書を主とする、租税関係、用水堰普請などのほか地域の特産である苧の栽培・出荷関係であるとか家業の酒造関係文書がある。 特出すべきものとしては、文政8年に当地で発生した赤藁騒動の見聞を記した六角鬼洞による『赤藁騒動』は唯一の現存本として大変貴重なもの。
生婦平出土銅造瑞花双鳥八稜鏡 H18. 3. 27 八坂1108番地1 八坂支所	八坂大平生婦平で昭和40年代に出土。直径11.7cm、縁高0.7cm、鏡厚0.3cmを計る。制作年代は平安時代後期と考えられる。花卉を摸した八稜縁に、双鳥や文花が施される唐式鏡から和鏡への過渡期を示す。
大平地蔵堂の木造地藏菩薩立像 H18. 3. 27 八坂1298番地	像の制作年代は南北朝時代(14世紀前半)檜材、寄木造で玉眼を嵌入する。全身に彩色を施しており、像高は36.5cm、頭長は7.1cmを計る。中央の仏師の作と考えられる像である。
小松尾諏訪神社本殿 H18. 3. 27 八坂5693番地	江戸時代後期の文化13年(1816)の建造。一間社・流造りで、向拝軒唐破風付、柿葺、総檜造りである。大工は大町組の金原周蔵で、彫刻は、浅川豊八(大隈流)により、彫刻は優れ、丸彫りの唐獅子、象鼻や雲に麒麟の透彫りが残される。神社祭神は健御名方命。麻田家に建立に関する由緒書が残っている。
野平神社本殿 H18. 3. 27 八坂14695番地	祭神は、天照大神(明神)、健御名命(諏訪)誉田別命(八幡)の三神を祀り、江戸時代前期の元和5年(1619)8月10日の勧請と言われる。本殿は、三間社・流造り、柿葺き、総檜造りである。現社殿は江戸後期の再建であり、白木彫刻に優れている。大工は、大町の曾根原甚五郎、越後石地宿又四郎、仁熊村(麻績組)大工。
矢田川磨崖仏 H18. 3. 27 八坂9641番地1	高さ約6m、幅約4mの砂岩製岩塊に、約200年にわたって5つの彫刻が刻まれたものである。年代の古いものから①青面金剛像(庚申像)が元禄から享保年間。②地藏菩薩像が江戸中期の享保3(1718)年。③庚申塔が江戸後期の文化4(1807)年。④徳本上人名合碑が19世紀前半。⑤大日如来像が幕末の嘉永3(1850)年となる。大日如来のお祭は、もとは、4月8日に行なわれていたが、現在は、5月8日に行なわれている。
北条峰の徳本上人追善供養塔 H18. 3. 27 八坂13609番地口ー1	砂岩製で残存する石碑高が108cm、最大幅が85cmを計る。碑文には「念仏供養 名蓮社号誉上人称阿弥陀陀佛徳本 文政元年寅年十月六日 徳本行者云々」とある。 碑文によると製作年代は、江戸後期の文政元年(1818)。
曾山の善光寺千人参り名号塔 H18. 3. 27 八坂9179番地4	江戸時代後期の弘化2年(1845)の製作。材質は、砂岩製。総高は322cm、そのうち塔身高は253cmを計る。塔身正面は、花頭形輪郭を彫り窪め、上部には円輪郭の中に阿弥陀如来、観世音菩薩、勢至菩薩の三体、いわゆる阿弥陀三尊像を半肉彫りしている。その下に「南無阿弥陀佛」と大書する。筆當大勸進権僧正願拜。石工は大平村石原、若林嘉久治勝重と高遠清水八五良安信による。毎年5月3日には講中によるお祭が現在でも行なわれている。平成6年道路工事で現在地に移転されたが、もとは美麻地籍に所在した。

富士浅間神社本殿 H18. 3. 27 美麻2708番地	一間社・流造。規模は、間口1間2尺、奥行1間5尺。現社殿は江戸時代後期の文化12年(1815)9月12日の再建されたもので、立川豊八(安曇郡長尾組岩原住)による建築。附属指定として、棟札3枚がある。
富士浅間神社楽殿 H18. 3. 27 美麻2708番地	江戸時代中期の建立。伝元禄11年(1698)大工は千見村真面、久兵衛による建築。木造茅葺き、6間四方で三面が板壁、床板張り舞台は、幅11m、高さ2.8m舞台中央には直径4.6mの廻り舞台を持つ。明治中頃まで歌舞伎を奉納していたという。
富士浅間神社絵額 H18. 3. 27 美麻2708番地	16面を指定。江戸時代幕末の嘉永から安政年間のものが多い。大型のものも多く、保存も良好である。制作年代の最も古いものは安永6年(1777)から昭和14年(1939)のもの。
千見神明宮本殿 H18. 3. 27 美麻25878番地	現在の本殿は、江戸時代末期の天保12年(1841)9月の造営再建である。一間社・神明造。大工棟梁は大町の曾根原基五郎、曾根原謙蔵。神社の棟札には、慶長17(1612)年、寛文3(1663)年、宝永4(1707)年、天保12年(1841)年、嘉永2年(1849)年等が存在する。最も古い慶長17年(1617)の棟札と藩奉行六名の連署が見られる幕末の万延元年(1860)の禁制札の2点が附属指定されている。
千見神明宮絵額と句額 H18. 3. 27 美麻25878番地	千見神明宮拝殿に奉納される絵額(絵馬)のうち6面、句額のうち8面が今回指定された。絵額の制作年代は、天明7年(1787)～安政2年(1855)にわたる。また句額の制作年代は、文化5年(1808)～明治33年(1900)のもの。
水上神社本殿 H18. 3. 27 美麻9152番地	一間社・流造り。彫刻が優れる。古い棟札として、江戸時代中期享保4年(1719)のものが残る。現在の社殿は、文政8年(1825)建立で、大工棟梁は越後市振の片桐利七とその一門によるもので、装飾彫刻に優れている。庄屋小林家にはこの時の造営帳が残っており大変貴重である。
下條家関守門 H18. 3. 27 美麻26036番地	松本藩と松代藩とが境を接する旧千見村に建てられた、関守の地位と格式を象徴する門である。建築年代不明。松本藩水野氏(1656～1735)の代に関守を置き下條家はその任をまかされ、当時50石をあたえられて鉄砲組を配し、警備にあたった。門正面は三間、奥行き二間の門に、切妻屋根。北側には三間の長屋が残存する。現在は、トタン屋根であるが、もとは茅葺き。
下條秀則氏所有文書一括 H18. 3. 27 美麻26036番地	元和年間(1615)より明治初期に及ぶ武家(藩の記録)、関守文書(46点、26%)を中心とする。藩政の一端を担った在地の史料として貴重。
中村武本氏所有文書一括 H18. 3. 27 美麻17668番地 中村家住宅土蔵	江戸時代初期の寛永21年(1644)から明治初期にかけての文書。青具村庄屋。藩政お呼び村政の実情をたどる上で貴重な史料である。また、「中村家年代記」のように出来事や世の中の風聞など村ならではの史料が残される。
大塩高札場の高札 H18. 3. 27 H19. 3. 27追加指定 美麻17668番地旧中村家住宅土蔵及び常盤3662番地4	もともとの大塩の高札場(大塩南村)は、現在県天然記念物になっている「静の桜」より、100mほど南側の街道沿いに存在したものであり、指定された4点はいずれも江戸時代、大塩の高札場に掲げられていたものである。①「キリシタン禁制」(正徳元年(1711)・91×33cm)。②「毒薬禁制」(正徳元年(1711)・124×49cm)。③「にせ銭金制」(天保10年(1839)・82×36cm)。④「親子・博奕・忠孝等の定め」(正徳元年(1711)・123×52cm)。①～③の3点は旧中村家土蔵に展示されている。④は若林正臣氏所有。
向生仏屋敷出土灰釉陶器広口瓶 H18. 3. 27 美麻青具17668番地 旧中村家住宅土蔵	昭和初期に耕作中発見されたもので、器高は19.7cm、口径10.2cm底径8.5cm。口縁部の一部が欠損するのみでほぼ完形である。産地は、岐阜県多治見市周辺の東濃地方産で、時期は大原1号窯式(10世紀前半)。
横川重忠氏所有木造阿弥陀如来立像 H18. 3. 27 常盤須沼4308番地3	総高48.5cm、像高28cm、台座11cm。木食山居作と推定される江戸時代中期の木像。

千見細貝薬師堂の木造薬師如来立像 H18. 3. 27 常盤須沼4308番地3 横川重忠氏保管	薬師如来像は木食山居作と推定去れ、総高45cm、像高36.5cm、台座12.5cm。 附属指定の聖観音立像も木像も木食山居作と推定される江戸時代中期の木像。 聖観音立像の総高53cm、像高43cm、台座10cm。
中村孝三述『学びの糸口』 H19. 3. 27 大町4733番地3 大町西小学校	この手記は、明治維新の学制発布当時の大町の人々の動きを記録し、単なる制度の解説書ではなく、唐突な制度改正に戸惑う地方の人々の気持ちを活写し、民衆の気持ちも察せられる重要な文献史料である。
八〇栗林家文書一括 H28. 3. 24 大町4700番地 大町市文化財センター保管	江戸時代中期以降大町組の大庄屋を勤め、明治時代においても大町の大要職にあった八丸栗林家に残された古文書類で、江戸時代・明治時代の大町のようなことを知ることで近世(江戸時代)の文書 1,811 点・近代(明治～大正時代)の文書 614 点・計 2,425 点。
山千永田家文書一括 H28. 3. 24 大町4700番地 大町市文化財センター保管	美麻千見において江戸時代大町組千見村の庄屋を勤め、一時期大町組の大庄屋も勤め、明治時代初期に千見の戸長を勤め、旧美麻村の合併など新しい時代の村づくりに尽くした永田家に残された古文書類で、江戸・明治時代の山間地域のようすを知ることで近世(江戸時代)の文書 363 点・近代(明治時代)の文書 222 点・計 585 点。
【 大町市民俗資料 】	
宮本・松崎紙漉すき用具コレクション S50. 4. 15 社3945番地2	社地区は江戸時代から紙漉きが盛んで、宮本紙・松崎紙と呼ばれ珍重されてきた。この資料は当地で行われてきた紙漉き用具を集めたもので紙漉きの全容を知る上で貴重な資料である。 大町市民俗資料館保管。
仏崎観音寺の千有一馬集絵馬 H9. 3. 24 常盤6966番地	安政2年(1855)に絵師村上完民、中藤月漢によって描かれた縦210cm、横475cmの北安曇郡内最大の絵馬。画面下部に寄進者名などが村ごとに二段余にわたって列記されており、当時の庶民信仰の在り方などを示す貴重な資料である。
医王谷飯綱神社筒粥占い神事 H9. 3. 24 八坂25794番地	もと医王谷飯綱神社は八坂北桑梨・西の窪地に所属し、この神事はそで行なわれていたものである。伝承によれば江戸時代初期の元和7年(1621)に飯綱神社がその地に勧請されたときから、神事は始められたと言われている。毎小正月の1月15日、神社に集まり、小豆粥を炊き、世の中、気象関係、農作物関係、天皇家など40項目の占いを行なう年頭の神事。郡内では唯一の神事。
水上神社の御輿巡幸 H18. 3. 27 美麻9152番地	担い棒つき鳥居形、神殿等で構成されていたが、現在は、神殿部分が欠失し、代わって神体御幣と木製の四本鉾を神輿に立てて用いている。裃に帯刀姿の警護4人により巡幸の神事。神輿は、江戸時代末期の作と推定される。
【 大町市史跡 】	
天正寺仁科氏居館跡 S59. 10. 6 大町4729番地4ほか	鎌倉時代後期から室町時代末までの仁科氏の居館跡である。平城で規模は、東西180m・南北120m、外堀と内堀の二重の堀や土居を回らせた居館である。仁科氏の滅亡後にその菩提を弔って、ここに天正院を造ったといわれている。
新郷1号古墳及び副葬品一括 H8. 3. 25 大字平8040番地443	古墳時代後期の6世紀末に築造され、8世紀初めまで使用された松本平では数少ない積石塚である。横穴式石室で埋葬状態もよく残っており、副葬品も豊富に残されていた。昭和58年に発掘調査。副葬品(出土品)は大町市文化財センターで保管。
権現山堂屋敷跡 H18. 3. 27 美麻 新行 権現山南東	権現山の山麓に堂屋敷と言伝えられてきた礎石が残る屋敷跡。永禄年間(1558～1569)、戸隠大権現が上杉の兵火の難を逃れる為、この地に奉遷を計画したとの伝承がある。しかし文禄3年(1594)の鎮静により夫役別院から当地への奉遷はなかった。附属指定として、戴神社奥社に隣接するウラジロモミ(2本)、クロベ(2本)、カラマツ(1本)の計5本。
千見山城跡 H18. 3. 27 美麻 千見 城山25450番地口ー3ほか	伝承では、城主は上杉方大日方源吾長辰氏と言われる。また武田方の山県昌景により、弘治2年(1556)火攻めにされ落城したと伝えられる。曲輪や堀跡が残り、網戸、空堀、犬戻、厩、水の手、城裏、帳場、山城、一ノ木戸、二ノ木戸、西木戸、馬場、鍵掛などの地名が残る。本丸東西50m×南北20m、二の丸東西40m×南北30m、三の丸東西20m×南北15mを計る。なお、天保6年造立の城主供養塔がある。

大塩山城跡 H18. 3. 27 美麻 大塩中村城山855番地ほか	本丸跡(12×27m)、二の丸、一の曲輪、二の曲輪跡を具える複郭式山城。兵糧倉、水槽、城内、攻城門跡、物見櫓跡等の施設が伝わる。山上に仁科氏を祀る祠あり、「木曾義貞、寿永3年(1184)義仲戦死後、仁科盛遠によって大野田に隠される。安貞元年(1227)森城に抛する阿部貞高を討つ為に大塩城を築く(信府統記)、後義重は仁科の姓を名乗る」とする伝承がある。
堀の内遺跡 H18. 3. 27 美麻 大塩中村城山938番地ほか	これまでに遺跡内では平成5年と平成12年における2回の発掘調査が実施されている。縄文時代早期から中世にかけての複合遺跡である。中世の遺構としては、居館が確認されている。大塩山城跡の根小屋と思われる。
[大町市天然記念物]	
オオヤマザクラ S46. 12. 10 大字平22419番地3ほか	日本でも北部の地方で自生するサクラで、群生地としては大町市が南限であり比較的分布密度の高い中綱湖・青木湖周辺の自生のサクラが指定されている。オオヤマザクラは淡紅色の華やかな色彩を持ち、病害虫にも強いサクラである。
霊松寺のオハツキイチョウ S63. 1. 14 大字大町6665番地イ	オハツキイチョウとは「お葉付銀杏」の意味で、ギンナンが葉の上に結実するもの。こうした葉はこの木の場合全体で10%程度である。オハツキイチョウは現在のイチョウの進化以前の姿といわれ、先祖返りのような珍しい現象で学術研究上貴重な木である。
高瀬川の基盤岩 H2. 10. 23 大字常盤6720番地3	松本盆地内部で確認された唯一の岩盤。この存在によって、従来はなめらかな地形と考えられていた盆地の岩盤が、実はかなりの起伏に富んでいることがわかった。また糸魚川―静岡構造線の通過位置を知る貴重な手掛りでもある。
一本木神社のカシワ H3. 5. 31 大字常盤4733番地ー1	目通り周囲3. 35m、樹高25. 5m推定樹齢300年。二次林の構成種としては稀に見る大木で、推定樹齢の割には樹形の均整がとれ、腐朽部が少なく旺盛な活力を維持している。大径木としては残りにくいカシワの中で巨樹として現存するのは珍しい。
市立大町山岳博物館のトキ標本 H4. 5. 19大町8056番地1	トキは特別天然記念物であり国際保護鳥として保護されてきたが、日本産のトキは絶滅した。このような状況下にあるトキの標本は大変に貴重なものである。
長野県大町高等学校のトキ標本 H4. 5. 19 大町3691番地2	市立大町山岳博物館のトキは大正8年(1919)11月、長野県大町高等学校のトキは大正6年(1917)11月にそれぞれ美麻で捕獲されたものである。
仏崎観音寺のアカマツ H4. 5. 19 常盤5445番地2	樹形は広円錐形で樹高20m、目通り周囲4. 2m。樹齢はおよそ250年と推定される。2本の独立幹が肥大成長するにともなって融合した「和合木」である。こうした融合の姿や分岐した二幹がよく似ていることから、地元の人々は『夫婦松』と呼んで大切にしている。
海ノ口のアカマツ(カサマツ) H5. 6. 25 平13188番地4	樹形は単幹の傘形で、樹高18m目通り周囲4. 17m。樹齢は300年以上と推定される。まっすぐに伸びた樹幹は地上9. 5mの位置で大枝に3分岐して、それが広がり傘形となっている。この樹形から地元の人々は『カサマツ(笠松)』と呼んで大切にしている。
中シマのモリアオガエル繁殖地 H6. 4. 28 平23109番地1	モリアオガエルは樹上に泡状の卵塊を産む特異な生態をもつカエルで、産卵は梅雨期の雨の降る夜間に行われる。大町市のモリアオガエルの繁殖地は、5カ所しかなく特に中シマは比較的まとまった産卵が見られる貴重な繁殖地である。
須沼薬師堂のカツラ H6. 4. 28 常盤4203番地	東西一対のカツラの木は薬師堂の門木として大切にされてきた。市内最大のカツラと思われるが、均整のとれた樹形をもち田園風景の中にひととき目立っている。東幹は樹高20. 5m、目通り周囲3. 5m。西幹は樹高25. 5m、目通り周囲4. 1m。
西山西原のイチイ H7. 4. 26 常盤8063番地5	イチイは別名アララギともいう。イチイがひととき目立つためこの木のあるりんご園は通称『アララギ園』と呼ばれている。樹高12. 5m目通り周囲2. 95m。雌雄異株で、この木は雌木である。イチイは大木として残るものは極めて少なく貴重である。
大黒町追分のシダレザクラ H7. 4. 26 大町1517番地1	大黒天の石像の脇に生育しており、『大黒様のシダレザクラ』と呼ばれ親しまれている。樹高8. 5m、目通り周囲3. 05m。推定樹齢は約150年で石像の製作年代と重なる。シダレザクラでは市内最大のもの。
三日町若宮八幡宮のヒノキ H9. 3. 24 大町8254番地	樹高29m、目通り周囲5. 1m。三日町分水集落の氏神である若宮八幡宮の御神木で均整のとれた自然樹形を保っている。ヒノキは優良な建築用材であるために大径木として残るものは稀で貴重なものである。推定樹齢は400年以上。

西山城山のエドヒガン H9. 3. 24 常盤8099番地1	樹高29m、根回り周囲5. 33mで東西二幹に分かれたエドヒガンザクラ。 西山城跡の急峻な北斜面に生息しており、谷側に向かって枝を張る自然樹形である。この樹を切ると山が崩れると言われ、これが大径木になった一因となっている。
高根町曾根田のエドヒガン H10. 3. 25 大町7174番地1	単幹で均整のとれた傘形の樹冠を呈する、樹高12m、目通り周囲4. 65mのエドヒガンザクラ。推定樹齢は300年程で、戦前までこの地にあったお堂との関係が考えられる。地元には400年程前に遊行僧がこの樹を植えていったという伝承がある。
姿見池のマメシジミ H16. 2. 19 平18235～18240番地	マメシジミは、二枚貝綱マルスダレガイ目マメシジミ科に属する。小形の二枚貝で、殻長は3～5mmを測る。地域指定された姿見の池は、西海ノ口西方の山腹(標高約1100m付近)にあり、面積は1. 5㎡の小さなものである。本主は今のところ市内ではここだけに確認されている貴重種である。
大倉のイチイ H18. 3. 27 美麻21770番地	昭和8年(1933)に旧長野県天然記念物指定。昭和44年県条例の全面改正により指定解除。坪庭に鉢植えしたのが、大木になったと伝えられ、伝承では、樹齢約1000年といわれている。目通り4. 73m、根周り4. 7m、高さ21. 3m。
水上神社の大杉 H18. 3. 27 美麻9152番地	水上神社ご神木。目通り6m30、根周り7. 67m、高さ53. 1m。伝承では、樹齢750年余りと推定されている。 「水上神社の小檜と杉」の名称で、昭和22年旧長野県天然記念物に指定。檜は現在枯れて切り株のみが残る。
若栗のアオナシ H18. 3. 27 美麻34161番地口 若栗峠	目通り周囲4. 31m、樹高16. 8m。長野県では第2位にあたる。樹齢約500年と伝承されている。成長に伴う融合性の枝幹。均整のとれた美しい立木。基部には洞が見られるが、近年保全対策も取られ、樹勢も安定している。
[大町市天然記念物]	地域を定めず指定されているもの(種指定)。
大町市のヌマカイメン S62. 3. 2	大字平中綱湖と木崎湖下流の農具川に生息。かつては世界各地に広く分布していたが、開発や汚染などにより急速に姿を消しつつある淡水海綿の一種である。長野県下では大町市だけに生息し、希少かつ貴重な生物である。
大町市のカワシンジュガイ S62. 3. 2	北緯40～55度の範囲に分布する純北方系の淡水性二枚貝。氷河期には多く生息していたが、その終わりとともに高冷地の溪流にのみ姿を残すようになった「生きた化石」とも言える貴重な生物。県指定地以外の農具川と居谷里沢及びその周辺支流(水路)に生息。
大町市のキザキコミズシタダミ H13. 6. 27	キザキコミズシタダミは日本産ミズシタダミ科の希少種の1種に数えられている。カワシンジュガイとともに氷河期の生き証人(遺存種)ともいえる貝である。国内では大町市平の木崎湖と中綱湖にしか生息していないと考えられる貴重な固有種である。

指定文化財件数

国指定14件

国宝(建造物)1件、国重要文化財8件(建造物3件、美術工芸品5件)、国特別天然記念物(地域を定めず指定)2件、国天然記念物3件(このうち地域を定めず指定2件)

県指定28件

県宝8件(建造物4件、美術工芸品4件、県史跡1件、県天然記念物16件(このうち地域を定めず指定11件)、県無形文化財1件、県無形民俗文化財2件)

市指定79件

市有形文化財49件(建造物8件、美術工芸品41件、市史跡6件、市天然記念物22件(このうち地域を定めず指定3件)、市民俗資料4件(有形2件、無形2件))

一般職業紹介の状況

年 度	求 職			求 人			紹介件数	就職件数	就職率	採用率
	新規求職 申込者数	繰越された 一般有効 求職者延数	有効 求職者 延数	新 規 求 人 数	繰越された 一般有効 求人者延数	有効求人 延数			(就職件数 有効求職 者 延 数)	(就職件数 紹 介 件 数)
	人	人	人	人	人	人	件	件	%	%
平成23年度	3,699	13,034	13,873	4,175	7,311	10,613	5,264	1,527	11.0	29.0
24	3,289	10,953	12,033	4,485	7,890	11,826	4,699	1,365	11.3	29.0
25	3,102	10,388	11,701	4,450	8,376	12,129	4,172	1,146	9.8	27.5
26	2,823	8,431	10,494	5,291	9,829	13,778	3,554	1,027	9.8	28.9
27	2,844	8,746	10,025	5,145	9,894	14,378	3,347	1,058	10.6	31.6

資料：大町公共職業安定所

注) 1. 日雇の求職求人は含まない。

2. 大町公共職業安定所管内の数値。

雇用保険失業給付の支給状況

年 度	求職者給付		一般求職者給付		高年齢求職者給付金		特例一時金		日雇労働求職者給付金	
	人	金 額	人	金 額	人	金 額	人	金 額	人	金 額
	人	千円	人	千円	人	千円	人	千円	人	千円
平成23年度	1,225	496,215	754	404,391	75	15,800	396	76,024	—	—
24	1,309	455,845	805	356,777	105	22,443	393	76,340	6	285
25	1,230	439,850	717	338,399	126	26,795	381	74,461	6	195
26	1,147	448,965	631	347,385	138	29,244	378	72,336	—	—
27	1,028	382,149	529	282,768	149	32,088	350	67,293	—	—

資料：大町公共職業安定所

注) 大町公共職業安定所管内の数値。

産業別平均賃金の実態

各年6月30日現在

年次		集計労働者数	平均年齢	平均勤続年数	平均月間実労働日数	平均月間総実労働		平均月間賃金額	
						時間数	内所定内		内所定内
平成26年	男	732	44.9	13.1	22.6	183.2	170.6	304,935	284,560
	女	269	45.1	10.2	21.4	174.5	164.4	227,322	211,604
	計	1,001	90.0	23.3	44.0	357.7	335.0	532,257	496,164
平成27年	男	676	44.7	11.6	22.5	182.9	170.6	301,887	279,078
	女	291	45.8	9.7	22.4	179.0	169.3	219,641	205,228
	計	967	45.0	11.0	22.5	181.7	170.2	277,137	256,854
平成28年	男	630	45.6	12.5	22.5	183.2	169.6	297,941	273,410
	女	237	47.6	10.5	21.8	173.2	164.0	215,836	203,850
	計	867	46.1	12.0	22.3	180.5	168.1	275,497	254,395
平成28年産業別	建設業	209	47.3	13.4	22.8	178.8	170.2	317,182	297,183
	製造業	259	44.1	11.2	22.0	186.3	168.1	273,123	244,712
	卸・小売業	65	41.1	15.2	23.0	189.3	177.0	309,403	294,097
	金融・保健業	25	47.1	12.8	20.7	152.5	149.1	255,548	252,344
	運輸業・郵便業	56	49.8	11.3	21.8	182.6	163.2	255,820	220,768
	サービス業	36	53.5	10.3	23.4	181.6	165.1	200,386	186,144

資料：商工労政課

附属施設の利用状況

年度	文化会館		コミュニティーセンター (市民浴場)	扇沢総合案内センター	児童センター	社会就労センター				
						年間就労者人員			年間支払工賃	
						総数	施設内	施設外	施設内	施設外
平成27年度	件	人	人	人	人	人	人	人	千円	千円
	49	24,977	70,022	15,166	15,029	324	324	—	13,111	—

年度	体育研修センター	女性未来館ピュア (平公民館含む)		サン・アルプス大町	フレンドプラザ大町	交流促進センター 明日香荘	ふれあいセンター さざなみ	ぽかぽかランド美麻		
	人	件	人	件	人	人	人	人		
平成27年度	3,687	1,685	21,986	475	19,987	147	4,456	99,471	31,277	10,464

年度	美麻福祉企業センター				
	年間就労者人員			年間支払工賃	
	総数	施設内	施設外	施設内	施設外
平成27年度	人	人	人	千円	千円
	201	201	—	14,986	—

資料：大町市体育協会・観光課・商工労政課・市民課・子育て支援課・福祉課・福祉事務所・

教育委員会・八坂支所・美麻支所

注）年間就労者数は、各月の実績数の合計である。

業種別・主な事故の型別労働災害発生状況

業種 主な事故の型	業種						合計	構成比 (%)
	製造業	鉱業	建設業	運輸貨物業	林業	左記以外の事業		
墜落・転落	2	—	8	6	—	12	28	18.7
転倒	14	—	3	12	—	20	49	32.7
激突	1	—	—	—	—	3	4	2.7
飛来・落下	3	—	3	—	2	4	12	8.0
崩壊・倒壊	—	—	1	—	—	—	1	0.7
激突され	1	—	1	3	—	2	7	4.7
はさまれ・巻き込まれ	4	—	2	2	—	6	14	9.3
切れ・こすれ	2	—	1	—	2	6	11	7.3
感電	—	—	—	—	—	—	—	—
交通事故	2	—	1	—	—	6	9	6.0
無理な動作	2	—	3	—	—	6	11	7.3
上記以外	1	—	—	—	—	3	4	2.7
合計	32	—	23	23	4	68	150	100.0
構成比 (%)	21.3	—	15.3	15.3	2.7	45.3	100.0	

資料：大町労働基準監督署（労働者死傷病報告）

注）1. 休業4日以上労働災害

2. () 内は死亡の内数

11. 社会・福祉

保育施設

平成28年1月1日現在

名称	所在地	開設年月日	児童 入所定員	建 物			屋外運動場
				総面積	保育室	その他	
			人	㎡	㎡	㎡	㎡
かえで保育園	大町2297-1	S27. 7. 1	90	941. 22	510. 30	430. 92	800. 00
はなのき保育園	大町3385-1	S29. 3. 24	150	1, 970. 96	753. 00	1, 217. 96	2, 175. 30
あすなる保育園	常盤3601-18	S36. 10. 1	180	1, 379. 51	811. 61	567. 90	3, 132. 80
しらかば保育園	平9365-3	S40. 4. 1 (H15. 3改)	60	686. 00	225. 84	460. 16	1, 216. 30
どんぐり保育園	社4682-26	S42. 4. 1 (H11. 12改)	60	795. 10	217. 90	577. 20	901. 00
たけのこ保育園	八坂1073	H5. 4. 1 (H18. 1. 1)	45	597. 90	578. 50	19. 40	920. 00
みあさ保育園	美麻11780-8	S61. 1	45	460. 42	151. 69	308. 73	3, 074. 58
くるみ保育園	大町5560-25	H23. 4. 1	110	1, 456. 11	349. 85	1, 095. 15	1, 517. 60

資料：子育て支援課

保育園の入園児童の推移

各年3月31日現在

年 度	かえで保育園		はなのき保育園		あすなる保育園		しらかば保育園	
	総数	うち 3歳未満児	総数	うち 3歳未満児	総数	うち 3歳未満児	総数	3歳未満児
	人	人	人	人	人	人	人	人
平成23年度	673	187	1, 538	356	1, 633	186	789	151
24	620	123	1, 546	364	1, 636	222	764	105
25	611	143	1, 464	432	1, 745	251	687	93
26	541	151	1, 572	538	1, 573	302	673	112
27	520	138	1, 398	348	1, 526	380	573	120

年 度	どんぐり保育園		くるみ保育園		たけのこ保育園		みあさ保育園	
	総数	3歳未満児	総数	うち 3歳未満児	総数	うち 3歳未満児	総数	うち 3歳未満児
	人	人	人	人	人	人	人	人
平成23年度	695	165	1, 154	276	88	16	260	30
24	659	117	999	179	102	21	144	24
25	666	55	924	190	158	12	211	38
26	674	130	950	210	118	34	150	54
27	598	108	783	170	138	58	212	73

資料：子育て支援課

注) 数値は1年間の延べ数。

市民課窓口事務の処理状況

年 度	戸籍届出 申請受理数	戸籍謄抄本 証明書 交付数	住民異動 届出申請 受理件数	住民票の 写し交付数	印鑑証明 交付数	妊娠届 母子手帳 交付数	その他の 証明申請 受理数
	件	件	件	件	件	件	件
平成23年度	1,568	12,384	3,716	11,856	10,349	175	3,687
24	1,533	13,126	4,297	13,002	10,494	142	4,744
25	1,573	12,951	4,313	13,352	10,268	171	3,872
26	1,567	12,550	4,548	12,559	9,481	178	3,218
27	1,532	11,928	2,938	12,947	9,163	143	2,156

資料：市民課

国民健康保険被保険者数・決算状況

年 度	被 保 険 者		決 算 状 況			保 険 税	
	世帯数	人 数	歳入総額	歳出総額	決算剰余金	調定額	収入済額
	世帯	人	千円	千円	千円	千円	千円
平成23年度	4,690	7,948	3,146,071	3,074,382	71,689	550,199	509,626
24	4,679	7,872	3,332,227	3,253,744	78,483	647,089	601,356
25	4,631	7,738	3,385,066	3,271,895	113,171	639,271	597,805
26	4,621	7,664	3,509,686	3,427,716	81,970	610,132	573,100
27	4,544	7,440	3,931,994	3,787,277	144,717	574,904	545,827

資料：国民健康保険事業年報

注) 1 被保険者世帯数及び人数は年度平均

2 保険税は退職を含む現年度分(平成12年度からは介護分を含む)

国民健康保険給付状況

年 度	療養の給付		療 養 費		出産育児一時金 (助産費)	葬祭費	高額療養費
	件数	支出額	件数	支出額			
	件	千円	件	千円	千円	千円	千円
平成23年度	110,663	1,837,373	2,654	20,133	13,770	1,500	244,083
24	110,570	1,885,898	2,296	15,514	6,570	1,410	265,256
25	112,162	1,905,541	2,257	17,734	8,280	1,590	271,230
26	103,269	2,077,035	2,100	16,156	9,224	1,560	309,647
27	110,865	2,065,672	1,978	13,620	12,520	990	318,066

資料：国民健康保険事業年報

注) 1 療養の給付及び療養費、高額療養費は退職を含み、件数及び支出額は、第三者・返納金等を控除した数値

2 平成14年度の療養の給付は11ヶ月給付

福祉医療費特別給付金支給状況

年 度	乳幼児		心身障害者		精神障害者		母子・父子		合計	
	件数	支出額	件数	支出額	件数	支出額	件数	支出額	件数	支出額
	件	千円	件	千円	件	千円	件	千円	件	千円
平成23年度	26,727	41,651	27,430	115,678	4,989	14,158	4,381	9,590	63,527	181,077
24	31,582	52,837	27,929	119,391	5,541	16,906	4,674	9,953	69,726	199,087
25	29,854	42,804	28,372	116,557	6,523	20,197	4,184	9,166	68,933	188,724
26	30,687	47,681	28,552	121,757	6,320	20,959	4,519	9,744	70,078	200,141
27	28,819	43,475	28,052	121,698	7,136	21,788	4,221	8,674	68,228	195,635

資料：市民課

注) 乳幼児医療の対象年齢は以下のとおり拡大している。

平成23年4月「小学3年生まで」から「小学6年生まで」に拡大。

平成24年4月「小学6年生まで」から「中学3年生まで」に拡大。

老人福祉の状況

年 度	老人クラブ			要介護老人		生活支援ホームヘルプサービス		施設への入所		
	クラブ数	会員数	補助金交付額	ひとり暮らし老人数	老人世帯数	対象者数	サービス時間	計	養護老人ホーム	他市町村養護老人ホーム
		人	円	人	世帯	人	時間	人	人	人
平成23年度	37	2,238	3,390,620	877	964	16	1,021	36	28	8
24	37	2,184	3,320,360	1,008	1,221	14	726	35	28	7
25	35	1,971	3,036,790	1,368	1,530	12	541	37	30	7
26	34	1,947	2,912,030	1,475	1,594	13	553	37	30	7
27	31	1,849	2,728,010	1,816	1,682	11	390	37	30	7

資料：福祉事務所

福祉施設の利用状況

年 度	総合福祉センター			ふれあいプラザ
	入 浴	セ ン タ ー		
		件	人	人
平成25年度	31,752	2,268	19,979	6,051
26	29,302	1,988	20,293	6,554
27	29,356	2,042	19,306	7,123

資料：福祉事務所

障害別身体障害者数の推移

年 度	総 数	視 覚	聴 覚 平 衡	音 声 言 語	上 肢 切 断	上 肢 機 能	下 肢 切 断	下 肢 機 能	体 幹	内 部 (心臓・腎臓 呼吸器・免疫・ 小腸・肝臓)	ろうあ	ぼうこ う直腸 機 能	そしゃ く機 能
	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人
平成23年度	1,591	106	139	15	36	216	16	460	192	349	5	56	1
24	1,603	98	139	15	33	216	14	472	183	365	5	61	2
25	1,608	93	138	14	32	215	16	478	169	383	5	63	2
26	1,591	94	138	12	30	206	17	487	157	379	5	64	2
27	1,572	93	137	11	27	199	17	486	148	384	5	63	2

資料：福祉事務所 (注：平成27年度より「内部」に小腸・肝臓を追加。)

知的障害者数の推移

年 度	総 数	施 設 入 所 者			在 宅 者		
		総 数	18歳以上	18歳未満	総 数	18歳以上	18歳未満
	人	人	人	人	人	人	人
平成23年度	271	58	57	1	213	154	59
24	277	58	58	—	219	162	57
25	287	54	53	1	233	173	60
26	286	54	53	1	232	174	58
27	289	50	48	2	239	186	53

資料：福祉事務所

生活保護状況の推移

年 度	保護実績 (1ヶ月平均)		保 護 延 人 員						
	世 帯	人 員	総 数	生活扶助	住宅扶助	教育扶助	介護扶助	医療扶助	その他の 扶 助
	世帯	人	人	人	人	人	人	人	人
平成23年度	146	186	5,597	1,912	1,565	120	335	1,637	28
24	149	189	5,564	1,913	1,571	94	330	1,649	7
25	148	188	5,638	1,900	1,509	74	331	1,751	73
26	153	190	5,723	1,875	1,502	78	317	1,897	54
27	153	184	5,517	1,726	1,495	85	322	1,876	13

資料：福祉事務所

- 注) 1. その他の扶助には生業、出産、葬祭、一時の各扶助を含む。
2. 保護人員の総数は各項に重複したものは除いてある。

生活保護費の推移

年 度	保 護 費								
	総 額		生活扶助	住宅扶助	教育扶助	介護扶助	医療扶助	その他の扶助	施設事務費
	実 数	対前年比							
	千円	%	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円
平成23年度	320,620	111.6	89,827	19,313	1,419	10,555	131,470	1271	66,765
24	318,277	99.3	89,806	20,740	1,011	12,001	128,488	1527	64,704
25	312,820	98.3	85,324	19,635	691	9,358	129,710	1,793	66,309
26	327,504	104.7	88,786	20,792	890	8,223	136,480	2,060	70,273
27	316,600	96.7	83,854	21,405	953	8,662	133,637	695	67,391

資料：福祉事務所

注) 1. 旧八坂村、旧美麻村の保護費は、北安曇福祉事務所から支給のため数値不明。

共同募金の状況

年 度	目標額	募 金 実 績 額					目標達成率
		総 額	戸 別	法人個人大口	学校職域	その他	
	円	円	円	円	円	円	%
平成16年度	10,958,000	10,467,408	7,447,580	2,650,000	317,311	52,517	95.5
17	10,460,000	10,333,109	8,925,168	1,025,000	312,336	70,605	98.7
18	11,795,000	11,181,154	8,105,038	2,524,510	493,706	57,900	94.7
19	10,957,000	10,868,447	7,912,089	2,458,914	424,014	73,430	99.2
20	10,642,000	10,597,524	7,719,868	2,365,947	438,043	73,666	99.6
21	10,723,000	10,397,752	7,651,070	2,293,559	386,208	66,915	97.0
22	10,514,000	10,226,011	7,606,806	2,154,551	393,845	70,809	97.3
23	10,369,000	9,934,814	7,400,500	2,045,847	379,876	108,591	95.8
24	9,905,000	9,756,439	7,334,000	1,962,262	374,249	85,928	98.5
25	9,707,000	9,799,038	7,251,623	1,971,074	371,729	204,612	100.9
26	9,688,000	9,690,562	7,153,095	1,939,940	406,335	191,192	100.0
27	9,656,000	9,520,011	7,076,565	1,829,806	362,413	251,227	98.6

資料：共同募金会

注) 平成7年度より、一般共同募金と歳末たすけあい共同募金を一本化で実施

12. 保 健 衛 生

医療施設数・医療従事者数の推移

医療施設 各年4月1日現在
医療従事者 隔年12月31日現在

年	医 療 施 設					医 療 従 事 者						
	病 院		診 療 所		歯 科 診 療 所	医 師	歯 科 医 師	薬 剤 師	保 健 師	助 産 師	看 護 師	准 看 護 師
	病院数	病床数	診療所数	病床数								
平成24年	1	284	29	26	12	46	15	36	34	16	215	42
25	1	267	29	26	11	…	…	…	…	…	…	…
26	1	267	29	26	11	47	16	30	40	15	236	45
27	1	277	29	26	11	…	…	…	…	…	…	…
28	1	278	29	26	11	…	…	…	…	…	…	…

資料：大町保健所

主な死因別死亡者数の推移

死 因	年 次	平成 22年	平成 23年	平成 24年	平成 25年	平成 26年
		人	人	人	人	人
結 核		—	—	—	—	—
悪 性 新 生 物		107	92	103	100	93
糖 尿 病		8	2	3	4	1
高 血 圧 性 疾 患		3	4	2	2	—
心 疾 患		59	71	55	61	66
脳 血 管 疾 患		51	58	38	44	45
肺 炎		39	23	22	29	28
慢 性 閉 塞 性 肺 疾 患		4	5	7	5	2
胃 潰 瘍 及 び 十 二 指 腸 潰 瘍		—	2	2	—	1
肝 疾 患		2	3	7	2	5
腎 不 全		4	7	9	5	5
老 衰		19	21	25	43	23
不 慮 の 事 故		16	11	19	18	21
自 殺		3	4	7	9	2

資料：大町保健所

市立大町総合病院の利用状況（延数）

年 度	総 数	内 科	小 児 科	外 科	整 形 外 科	脳 外 科	皮 膚 科	泌 尿 器 科	産 婦 人 科	眼 科	耳 鼻 咽 喉 科	麻 酔 科	形 成 外 科	歯 科 口 腔	
														外 科	
平成23年度	千人	千人	千人	千人	千人	千人	千人	千人	千人	千人	千人	千人	千人	千人	—
24	175	82	8	23	17	1	9	13	14	7	1	0	0	—	—
25	169	74	6	27	18	1	8	14	13	7	1	0	0	—	—
26	162	69	5	28	17	1	8	13	13	7	1	0	0	—	—
27	167	71	6	24	22	5	8	11	12	7	1	0	0	—	—
28	167	69	9	21	18	15	8	11	5	7	1	0	0	—	3

資料：市立大町総合病院

注) 入院、外来患者数を合算した数値である。

予防接種・検診等の状況

種 別				平成25年度			平成26年度			平成27年度		
				対 象 員	実 施 員	実施率 %	対 象 員	実 施 員	実施率 %	対 象 員	実 施 員	実施率 %
予 防 接 種	三 種 混 合	219	158	72.1	2	25	1250.0	-	4	-		
	四 種 混 合	512	474	92.6	673	608	90.3	587	616	104.9		
	二 種 混 合	270	179	66.3	260	185	71.2	263	185	70.3		
	急性灰白随炎(生ポリオ)	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
	急性灰白随炎(不活化ポリオ)	325	150	46.2	8	46	575	-	8	-		
	日 本 脳 炎	1,141	812	71.2	841	579	68.8	831	630	75.8		
	風 し ん	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
	麻 し ん	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
	麻しん・風しん混合(MR1期)	189	173	91.5	147	132	89.8	188	145	77.1		
	麻しん・風しん混合(MR2期)	216	185	85.6	204	180	88.2	178	154	86.5		
	麻しん・風しん混合(MR3期)	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
	麻しん・風しん混合(MR4期)	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
	B C G	152	105	69.1	176	152	86.4	149	161	108.1		
	ヒ ブ	639	669	104.7	704	640	90.9	596	620	104.0		
種 小 児 用 肺 炎 球 菌	608	632	103.9	704	614	87.2	596	628	105.4			
子 宮 頸 が ん	381	44	11.5	-	-	-	-	-	-			
水 痘	-	-	-	1,009	412	40.8	564	361	64.0			
B 型 肝 炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-			
検 診 等	大 町 市 国 保 特 定 健 康 診 査	5,346	2,106	39.4	5,345	2,340	43.8	5,205	2,373	45.6		
	胃 がん 検 診 (ハ`リウム+胃カメラ)	10,564	1,234	11.7	10,198	1,219	12.0	10,198	1,163	11.4		
	大 腸 が ん 検 診	10,564	1,970	18.6	10,198	2,004	19.7	10,198	2,022	19.8		
	乳 が ん 検 診	6,877	855	12.4	6,343	694	10.9	6,343	737	11.6		
	子 宮 頸 が ん 検 診	7,184	477	6.6	7,184	381	5.3	7,184	373	5.2		
	肺 が ん 検 診	10,198	2,503	24.5	10,198	2,387	23.4	10,198	2,261	22.2		
	再 掲) 胸 部 レ ン ト ゲ ン 検 診	10,198	2,436	23.9	10,198	2,330	22.8	10,198	2,202	21.6		
前 立 腺 が ん 検 診	3,638	595	16.6	3,855	634	16.4	3,855	638	16.5			

資料: 民生部市民課

注) 1.検診等の対象者数について

大町市国保特定健康診査は、40～74歳の被保険者数

2.平成24年9月から、不活化ポリオワクチンが導入

3.平成24年11月から、四種混合ワクチンが導入

4.平成25年度から、法改正によりヒブ・小児用肺炎球菌・子宮頸がんワクチンが定期接種に追加

(平成25年6月から子宮頸がんワクチン積極的勧奨差控え)

5.平成26年10月から、水痘(水ぼうそう)ワクチンが導入

6.平成28年10月から、B型肝炎ワクチンが導入

ごみ処理の状況

年 度	収集対象 世帯数	年間収集量				1日平均			焼却量
		可燃ごみ	不燃ごみ	総量	作 業 延人数	作業員	収集車両 延数	収集量	
	世帯	t	t	t	人	人	台	t	t
平成23年度	11,975	5,207	102	5,309	7,516	29	15	20.8	7,556
24	11,966	5,174	97	5,271	7,518	30	15	20.8	7,519
25	11,728	5,055	95	5,150	7,552	30	15	20.2	7,187
26	11,775	4,934	87	5,021	6,958	27	14	19.6	7,496
27	11,774	4,787	91	4,878	7,118	28	14	19.2	7,372

資料：生活環境課

(記載内容についての説明)

- ・ 収集対象世帯数（4月1日現在の広報おおまち掲載世帯数）
- ・ 年間収集量（計量データ）
- ・ 作業延人数（年間収集車稼働台数×1台あたりの作業人数2人）
- ・ 1日平均作業員（1日平均収集車両延べ数×1台あたりの作業人数2人）
- ・ 1日平均収集車両延べ数（年間収集車稼働台数÷年間収集日数）
- ・ 1日平均収集量（年間収集量÷年間収集日数）
- ・ 焼却量（焼却データ）

し尿処理の状況

年 度	施設処理	
	収 集 量	処 理 量
	t	t
平成23年度	12,123	13,402
24	11,450	12,149
25	10,373	11,404
26	9,884	11,185
27	9,532	10,353

資料：生活環境課

注) 合併前は、旧大町市の数値である。

狂犬病予防法による犬の登録及び注射状況

年 度	登 録	注 射
	頭	頭
平成23年度	2,051	1,954
24	1,981	1,855
25	1,906	1,745
26	1,816	1,656
27	1,758	1,602

資料：生活環境課

公害苦情処理件数

年 度	総 数	大 気 汚 染	水 質 汚 濁	土 壌 汚 染	騒 音	悪 臭	振 動	地 盤 沈 下	産 業 廃 棄 物	一 般 廃 棄 物	日 照 権	通 風 権	電 波 障 害	そ の 他
	件	件	件	件	件	件	件	件	件	件	件	件	件	件
平成23年度	7	—	1	—	2	3	—	—	—	—	—	—	—	1
24	7	1	2	—	—	3	—	—	—	—	—	—	—	1
25	9	2	3	—	1	2	—	—	—	—	—	—	—	1
26	8	3	3	—	1	—	—	—	—	—	—	—	—	1
27	11	1	7	—	2	—	—	—	—	—	—	—	—	1

資料：生活環境課

注)平成17年度までは、旧大町市の数値である。

北アルプス広域葬祭場の利用状況

区 分	死 者		死 胎	動 物	
	12歳以上	12歳未満			
平成22年度	総 数	557	1	9	263
	市 内	379	1	7	124
	圏 内	148	—	—	135
	圏 外	30	—	2	4
平成23年度	総 数	528	2	9	238
	市 内	368	1	7	135
	圏 内	134	1	2	98
	圏 外	26	—	—	5
平成24年度	総 数	510	—	10	266
	市 内	361	—	8	140
	圏 内	130	—	—	120
	圏 外	19	—	2	6
平成25年度	総 数	539	—	10	304
	市 内	367	—	8	149
	圏 内	144	—	2	150
	圏 外	28	—	—	5
平成26年度	総 数	564	—	6	309
	市 内	382	—	5	161
	圏 内	158	—	—	137
	圏 外	24	—	1	11
平成27年度	総 数	536	1	8	294
	市 内	369	1	7	149
	圏 内	135	—	1	142
	圏 外	32	—	—	3

資料：北アルプス広域連合

主要道路

道路番号	種 別	路 線 名	市域内区間（起点～終点）
19	一般国道	1 9 号	大 町 市 八 坂 瀬 口 ～ 大 町 市 八 坂 栃 沢
147	〃	1 4 7 号	大 町 市 大 黒 町 ～ 松 川 村 境
148	〃	1 4 8 号	〃 ～ 白 馬 村 境
031	主要地方道	長 野 大 町 線	小 川 村 境 ～ 大 町 市 大 黒 町
033	〃	白 馬 美 麻 線	白 馬 村 境 ～ 大 町 市 美 麻 青 具
045	〃	扇 沢 大 町 線	扇 沢 ～ 大 町 市 俵 町
051	〃	大 町 明 科 線	大 町 市 旭 町 ～ 池 田 町 境
055	〃	大 町 麻 績 イン タ ー 千 曲 線	大 町 市 旭 町 ～ 生 坂 村 境
306	一般県道	有 明 大 町 線	松 川 村 境 ～ 大 町 市 下 仲 町
324	〃	青 具 築 場 停 車 場 線	大 町 市 美 麻 青 具 ～ 築 場 駅
325	〃	白 馬 岳 大 町 線	大 町 市 大 谷 原 ～ 大 町 市 木 崎
326	〃	槍 ケ 岳 線	大 町 市 七 倉 ～ 大 町 市 大 黒 町
334	〃	大 平 大 峰 沓 掛 線	大 町 市 宮 本 ～ 大 町 市 沓 掛
393	〃	小 島 信 濃 木 崎 (停) 線	長 野 市 境 ～ 信 濃 木 崎 駅
394	〃	川 口 大 町 線	長 野 市 境 ～ 大 町 市 三 日 町
469	〃	舟 場 矢 下 線	大 町 市 八 坂 舟 場 ～ 大 町 市 八 坂 矢 下
474	〃	信 濃 大 町 停 車 場 線	大 町 市 仁 科 町 ～ 大 町 市 大 黒 町
496	〃	あ づ み の 公 園 大 町 線	大 町 市 須 沼 ～ 大 町 市 西 原
497	〃	美 麻 八 坂 線	大 町 市 美 麻 矢 久 大 町 市 八 坂 梨 平

資料：長野国道事務所信州新町出張所・大町建設事務所

注) 1. 国道重用分を除いた数値

2. 区間（起点～終点）は合併に伴う表示変更後の表記とする

橋 梁 数

平成28年4月1日現在

種 別	橋 梁		内永久橋		内 木 橋	
	数	延 長	数	延 長	数	延 長
一 般 国 道	18	973.6 m	18	973.6 m	—	—
主 要 地 方 道	59	1,335.6	59	1,335.6	—	—
一 般 県 道	79	2,525.2	79	2,525.2	—	—
合 計	156	4,834.4	156	4,834.4	—	—

資料：長野国道事務所・大町建設事務所

平成28年4月1日現在

市域内延長	左の内訳			
	改良済	未改良		
5,048.0	m	5,048.0 m	—	m
9,675.0		9,675.0	—	
13,797.1		13,797.1	—	
16,864.8		16,864.8	—	
3,775.9		3,775.9	—	
15,111.7		15,111.7	—	
6,351.2		6,351.2	—	
11,559.6		10,823.0	736.6	
13,621.7		13,513.4	108.3	
5,248.8		1,589.9	3,658.9	
12,084.2		11,043.8	1,040.4	
15,763.5		15,763.5	—	
1,552.6		1,552.6	—	
14,970.0		9,946.0	5,024.0	
8,333.4		7,918.6	414.8	
9,270.6		7,683.9	1,586.7	
1,448.8		1,448.6	—	
2,021.5		2,021.5	—	
15,464.4		12,578.4	2,886.0	

主要河川

平成28年10月1日現在

河川名	延長		流域面積	
	総延長	市域内延長	本川流域面積	市域内面積
	m	m	km ²	km ²
高瀬川	47,410.0	34,910.0	175.4	141.4
鹿島川	18,700.0	18,700.0	49.1	49.1
箆川	11,200.0	11,200.0	39.6	39.6
乳具川	18,530.0	10,130.0	80.7	59.1
農具川	17,200.0	17,200.0	59.7	58.5
犀川	62,000.0	11,400.0	413.1	10.1
金熊川	18,700.0	13,600.0	51.3	23.7
土尻川	28,400.0	7,200.0	61.1	19.1
藤沢川	2,900.0	2,900.0	5.6	5.6
片岡沢川	3,000.0	3,000.0	7.6	7.6

資料：大町建設事務所

幅員別の道路状況

平成28年4月1日現在

道路別	実延長	幅員別内訳（車道）			左の内 自動車交通 不能区間	路面別内訳	
		改良済		未改良		未舗装	舗装済
		5.5m以上	5.5m未満				
	m	m	m	m	m	m	m
国道	28,520.1	28,520.1	—	—	—	—	28,520.1
県道	153,472.1	111,324.1	26,662.9	15,455.7	1,264.7	—	153,417.5
主要地方道	53,663.2	51,992.7	933.9	736.6	—	—	53,638.0
一般県道	99,779.5	59,331.4	25,729.0	14,719.1	1,264.7	—	99,779.5
市道	824,628.5	98,841.7	226,331.3	499,455.5	185,038.6	261,032.6	563,595.9
1級市道	120,781.3	48,025.8	43,855.3	28,900.2	5,617.0	8,073.8	112,707.5
2級市道	114,328.3	11,373.0	42,870.3	60,085.0	10,786.3	16,669.5	97,658.8
その他の市道	589,518.9	39,442.9	139,605.7	410,470.3	168,635.3	236,289.3	353,229.6

資料：長野国道事務所信州新町出張所、大町建設事務所、建設課

都市計画区域

指定年月日	面積	人口（平成17年10月1日現在）
平成6年8月29日	8,490 ha	29,767 人

資料：建設課

地域地区

地域地区	内 訳			摘 要
	名 称	面積（延長）	指定年月日	
準防火地域		135.0 ha	S34. 10. 1	
風致地区	木崎湖風致地区（第1・2種）	598.0 ha	S40. 3. 19	1種528ha、2種70ha
	青木湖風致地区（第1種）	455.0 ha		
	日向山風致地区（第1種）	103.0 ha		

資料：建設課

都市計画用途地域

(当初決定年月日 昭和48年10月15日 最新決定年月日 平成26年6月30日)

面積 (ha)	第一種低層住居専用地域			第二種低層住居専用地域		第一種中高層住居専用地域		第二種中高層住居専用地域		第一種住居地域	第二種住居地域	準住居地域	近隣商業地域	商業地域	準工業地域	工業地域	工業専用地域	合計 約838
	約66	約63	小計 約129	約5	約175.5	約33	約169.5	約89	約35	約3.5	約19	約93	約19	約67				
容積率(%)	60	80	—	80	200	200	200	200	200	200	400	200	200	200	200	200	200	
建ぺい率(%)	40	50	—	50	60	60	60	60	60	60	80	80	60	60	60	60	60	
道路斜線	1.25	1.25	—	1.25	1.25	1.25	1.25	1.25	1.25	1.25	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	
隣地斜線	1.25	1.25	—	1.25	1.25	1.25	1.25	1.25	1.25	1.25	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	
建築物の高さ(m)	10	10	—	10	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	

資料：建設課

都市計画区域内の用途地域の指定のない区域

(決定年月日 H16.3.4 施行日 H16.5.1)

	平坦部地区	山間部地区	大町温泉郷地区
面積(ha)	2,053	4,423	約20
容積率(%)	200	100	300
建ぺい率(%)	60	60	70
道路斜線	1.25	1.25	1.5
隣地斜線	1.25	1.25	2.5

資料：建設課

建築確認申請の状況

年次	総数	新築	増築	改築	移転	増改築	修繕	用途変更	工作物
平成23年度	151	122	21	4	—	—	—	1	3
24	157	119	25	1	—	—	—	3	9
25	142	116	20	2	—	—	1	2	1
26	109	98	9	—	—	1	—	—	1
27	114	102	7	1	—	—	—	1	3

資料：建設課

注1) 民間確認検査機関で確認を行ったものを含む。

注2) 計画変更及び除却届は含まない。

都市施設

都市施設		内 訳			
		名 称	面積・延長	最新決定年月日	当初決定年月日
都市公園	3・3・1	西公園（近隣公園）	3.0 ha	昭和 48年 3月 5日	昭和 43年 9月 16日
	3・3・2	大町文化公園（近隣公園）	3.1	平成 1 . 3 . 20	62 . 2 . 26
	4・4・1	大町公園（地区公園）	4.6	13 . 2 . 9	59 . 7 . 2
	6・5・1	大町運動公園（運動公園）	18.9	11 . 6 . 28	48 . 3 . 5
	1号	高瀬渓谷緑地公園（都市緑地）	3.4	昭和 59 . 7 . 2	59 . 7 . 2
	2号	大町駅前広場公園（都市緑地）	0.1	63 . 12 . 6	63 . 12 . 6
	9・6・1	アルプスあづみの公園（国営公園）	232.6	平成 27 . 3 . 12	平成 2 . 11 . 19
	3・3・3	やしろ公園（近隣公園）	1.8	3 . 10 . 3	3 . 10 . 3
公共 下水道	汚水	大町市公共下水道（大町処理区）	821.0 ha	平成 26 . 7 . 2	平成 2 . 12 . 17
		大町市特定環境保全公共下水道（常盤処理区）	422.0	18 . 3 . 27	6 . 12 . 15
		大町市特定環境保全公共下水道（仁科三湖処理区）	40.2	22 . 3 . 17	22 . 3 . 17
	雨水	農具川右岸第4排水区	447.0 ha	平成 25 . 12 . 24	平成 25 . 12 . 24
都市計画街路	3・3・1	白塩北原線	1,080 m	平成 13 . 3 . 1	昭和 38 . 10 . 18
	3・3・2	館の内借馬線	4,440	13 . 3 . 1	26 . 6 . 30
	3・4・4	中央通り線	4,670	21 . 12 . 17	26 . 6 . 30
	3・4・5	若宮駅前線	1,130	21 . 12 . 17	26 . 6 . 30
	3・4・6	桜田町俵町線	2,200	21 . 12 . 17	38 . 10 . 18
	3・5・7	曾山観音橋線	3,170	13 . 3 . 1	26 . 6 . 30
	3・5・8	三日町犬ノ窪線	4,540	23 . 3 . 3	38 . 10 . 18
	3・5・9	相生町野口線	2,950	21 . 12 . 17	26 . 6 . 30
	3・5・10	東町線	2,140	13 . 3 . 1	26 . 6 . 30
	3・4・12	あづみの公園大町線	2,050	13 . 3 . 1	平成 9 . 3 . 6
		駅前交通広場	3,500 m ²	13 . 3 . 1	昭和 26 . 6 . 30
駐 車 場		木崎湖駐車場	0.28 ha	昭和 55 . 3 . 1	昭和 55 . 3 . 1
処 理 施 設		大町市環境プラント（ごみ焼却場）・ 大町市クリーンプラント（し尿等処理場）	1.73	平成 6 . 12 . 12	平成 6 . 12 . 12

資料：建設課、上下水道課、生活環境課

14. 水道・電気・ガス

大町市水道事業普及状況

年度	行政区域内		現在給水区域内		普及率	
	世帯	人口	世帯	人口	世帯	人口
	戸	人	戸	人	%	%
平成23年度	11,184	28,216	10,969	27,595	98.1	97.8
24	10,963	27,786	10,756	27,220	98.1	98.0
25	11,018	27,491	10,811	26,937	98.1	98.0
26	11,019	27,184	10,812	26,640	98.1	98.0
27	11,044	26,825	10,840	26,313	98.2	98.1

資料：上下水道課

大町市公営簡易水道事業普及状況

年度	行政区域内		現在給水区域内		普及率	
	世帯	人口	世帯	人口	世帯	人口
	戸	人	戸	人	%	%
平成23年度	782	1,968	760	1,908	97.2	97.0
24	765	1,923	743	1,867	97.1	97.1
25	757	1,895	735	1,844	97.1	97.3
26	755	1,866	734	1,818	97.2	97.4
27	757	1,841	736	1,797	97.2	97.6

資料：上下水道課

大町市水道事業配水量の推移

年度	年間配水 総量	1日最大配水量		1日 平均 配水量	1人1日 最大 配水量	1人1日 平均 配水量	有効水量		無効水量	有収水量 比率	有効水量 比率
		月日	水量				有収水量	無収水量			
	km ³	月日	m ³	総m ³	総ℓ	総ℓ	km ³	km ³	km ³	%	%
平成23年度	4,067	8.13	13,229	11,112	575	403	2,963	1	1,104	72.9	72.9
24	4,100	8.13	12,543	11,232	461	413	2,961	19	1,121	72.2	72.7
25	4,106	8.13	12,176	11,250	472	418	2,915	31	1,161	71.0	71.7
26	4,116	8.13	12,870	11,277	483	423	2,845	1,063	207	69.1	94.9
27	3,925	8.13	12,307	10,755	468	408	2,822	111	993	71.9	74.7

資料：上下水道課

大町市公営簡易水道事業配水量の推移

年度	年間配水 総量	1日 最大 配水量	1日 平均 配水量	1人1日 最大 配水量	1人1日 平均 配水量	有効 (有収) 水量	無効水量	有効水量 比率
	km ³	m ³	m ³	総ℓ	総ℓ	km ³	km ³	%
平成23年度	425	1,554	1,165	814	611	243	182	57.2
24	474	1,402	1,299	751	696	212	262	44.7
25	546	1,675	1,496	908	811	228	318	41.8
26	432	1,546	1,183	850	651	222	210	51.4
27	339	1,036	928	577	516	227	112	67.0

資料：上下水道課

大町市水道事業用途別栓数と給水量

年度	総数		一般家庭用		工場・病院用		その他	
	栓数	年間給水量	栓数	年間給水量	栓数	年間給水量	栓数	年間給水量
平成23年度	13,047	2,962	11,136	2,157	3	49	1,908	756
24	13,083	2,960	11,119	2,142	5	43	1,959	775
25	13,120	2,914	11,131	2,118	16	73	1,973	723
26	13,170	2,845	11,196	2,077	18	61	1,956	707
27	13,213	2,822	11,250	2,063	19	63	1,944	696

資料：水道課

大町市水道事業水源施設状況

水源名	配水池	源水の種別	取水能力 m ³ /日
上白沢	第2	湧水	3,970
矢沢	源汲、犬の窪、猫塚、第1、第3、稲尾常盤高区、常盤中区、常盤低区	〃	7,740
居谷里	三日町、松崎、曾根原、宮本	〃	5,170
白沢	白沢高区、白沢低区	〃	1,000
崩沢	海ノ口崩沢	〃	43
北村	海ノ口北村	〃	39
南平	海ノ口南平	〃	38

資料：上下水道課

大町市公営簡易水道事業水源施設状況

水源名	配水池	源水の種別	取水能力 m ³ /日
宮の尾第1	鷹狩、切久保、学校上第1、学校上第2、明野、相川、一の瀬、笹尾	湧水	23
宮の尾第2		〃	186
士林		〃	112
中央		〃	39
藤尾	菖蒲、竹籠、菅の窪、二滝	〃	66
東部第1	布川、地志原、舟場第1、舟場第2、栃沢	〃	112
東部第2		〃	43
曾山	曾山	〃	28
大塩	大塩	深井戸水	127
二重	二重、二重高区	〃	56
湯の海	湯の海	〃	64
新行第1	新行	湧水	36
新行第2	〃	〃	39
新行第3	〃	〃	73
青具第1	青具	〃	48
青具第2	〃	〃	15
魚の京	花尾、三百地、中の崎	〃	136
産屋沢	石原、峠	〃	32

資料：上下水道課

都市ガスの需要状況

年 度	製造量	供給戸数	使 用 量			
			総 量	家庭用	商業用	その他
	m ³	戸	m ³	m ³	m ³	m ³
平成23年度	386,214	1,623	380,012	219,863	117,765	42,384
24	403,225	1,611	398,273	219,632	118,561	60,080
25	424,829	1,608	418,876	215,400	120,403	83,073
26	414,967	1,603	406,557	216,885	115,732	73,940
27	404,927	1,595	395,273	212,752	115,242	67,279

資料：大町ガス(株)

電力需給状況

年 度	使 用 電 力 量		
	合 計	電 灯	電 力
	千kWh	千kWh	千kWh
平成23年度	506,103	79,359	426,744
24	414,109	77,903	336,206
25	358,005	75,976	282,029
26	351,859	72,817	279,042
27	409,215	68,019	341,196

資料：中部電力(株)大町営業所

15. 運 輸 ・ 通 信

信濃大町駅乗車人員の推移（1日平均）

（単位：人）

駅 名	平成22年度	23	24	25	26	27
信濃大町駅	1,228	1,241	1,334	1,373	1,284	1,332

資料：JR東日本長野支社

加入電話・公衆電話の回線数

各年3月31日現在

年 度	加 入 電 話			公衆電話
	事 務 用	住 宅 用	合 計	
平成25年度	2,566	5,464	8,030	53
26	2,358	5,144	7,502	46
27	2,125	4,928	7,053	43

資料：NTT東日本 長野支店 注）ISDN回線64を含む。

自動車の保有台数

年 度		貨 物		乗 合	乗 用		小 計	被けん引
		普通車	小型車		普通車	小型車		
平成23年度	自家用	596	1,164	82	4,314	6,606	12,762	7
	営業用	114	14	72	6	56	262	2
24	自家用	572	1,136	72	4,370	6,528	12,678	7
	営業用	121	12	77	7	54	271	2
25	自家用	558	1,134	70	4,521	6,450	12,733	7
	営業用	115	12	83	7	54	271	2
26	自家用	555	1,133	70	4,579	6,291	12,628	7
	営業用	118	13	87	7	53	278	2
27	自家用	560	1,153	68	4,666	6,052	12,499	9
	営業用	132	13	80	7	54	286	2

資料：長野県自動車販売店協会、税務課

有線放送の利用状況

年 度	電話設置台数	放送設備 設置台数	1日平均 通話数	1日平均 放送件数
	台	台	回	件
平成23年度	2,713	77	356	35.8
24	2,659	86	319	33.4
25	2,638	89	284	37.4
26	2,564	90	256	36.3
27	2,476	101	210	39.0

資料：大町市有線放送電話農業協同組合

各年3月31日現在(単位:両)

特 種 用 途 車	大 型 特 殊 車	小型二輪	※ 軽 自 動 車				※ 小型 特殊車 (農耕 用)	※ 原付自転車	
			四 輪		三 輪	二 輪		第一種	第二種
			乗 用	貨 物					
452	288	467	6,550	5,296	1	441	2,147	1,859	362
28	—	—	—	62	—	—	—	—	—
447	289	452	6,619	5,301	1	458	2,128	1,783	363
29	—	—	—	67	—	—	—	—	—
443	292	439	6,763	5,188	1	460	2,081	1,674	345
29	—	—	—	71	—	—	—	—	—
449	295	460	6,966	5,157	1	452	2,039	1,614	347
28	—	—	—	65	—	—	—	—	—
431	310	458	7,126	5,037	—	439	1,996	1,540	349
28	—	—	—	63	—	—	—	—	—

※は課税対象台数

16. 金融・市民生活

金融機関の預金・貸出残高状況

各年9月30日現在

年次	預金残高	貸出残高
	千円	千円
平成17年度	118,455,152	61,205,735
18	117,782,070	58,068,333
19	118,455,290	57,371,248
20	119,294,406	55,853,688
21	98,839,517	40,172,256
22	103,625,817	38,380,219
23	104,381,339	37,253,226
24	107,645,357	36,191,942
25	108,879,494	37,225,079
26	110,822,029	38,814,861
27	96,714,693	33,732,533
28	96,329,854	33,076,051

資料：市内金融機関

八十二銀行大町支店、長野銀行大町支店、長野県信用組合大町支店、
長野県労働金庫大町支店、松本信用金庫大町支店

消費者物価指数《年平均》

年次	市別	総合	食料	住居	光熱・水道	家事用品	家具	被服及び履物	保健医療	交通・通信	教育	教養娯楽	諸雑費
平成24年	長野市	96.5	94.8	98.8	93.3	96.9	94.8	98.7	98.9	97.4	95.5	94.7	
	全国	96.2	93.6	100.4	92.3	97.0	95.4	98.7	98.0	96.1	95.6	94.4	
25	長野市	96.7	94.3	98.6	96.2	96.5	95.8	97.6	100.2	97.4	95.4	95.5	
	全国	96.6	93.4	99.9	96.6	94.9	95.8	98.1	99.4	96.6	94.6	95.5	
26	長野市	99.3	97.7	99.2	102.3	97.8	97.2	98.7	102.9	98.6	98.1	98.8	
	全国	99.2	97.0	100.0	102.6	98.5	97.8	99.1	102.0	98.4	98.1	99.0	
27	長野市	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	
	全国	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	
28	長野市	99.7	101.5	100.3	92.6	97.4	101.1	102.3	98.0	101.8	100.8	101.2	
	全国	99.9	101.7	99.9	92.7	99.6	101.8	100.9	98.0	101.6	101.0	100.7	

資料：県情報統計課

平成27年基準＝100

制度資金の利用状況

事 項	平成23年度			平成24年度			平成25年度			平成26年度			平成27年度		
	申込 件数	申込 金額	融資 金額	申込 件数	申込 金額	融資 金額	申込 件数	申込 金額	融資 金額	申込 件数	申込 金額	融資 金額	申込 件数	申込 金額	融資 金額
県中小企業 制度資金	37	51,998	51,998	18	21,935	21,935	8	8,975	8,975	7	5,943	5,943	14	9,659	9,659
市中小企業 制度資金	77	45,459	45,459	64	36,462	36,462	67	49,621	49,621	58	40,786	40,786	73	41,117	41,117

資料：商工労政課、北安曇地方事務所

一人当たりの市民所得

	市町村民所得（分配）	10月1日現在人口	一人当たり 市町村民所得
	100万円	人	100万円
平成25年度	76,746	28,672	2.7
平成26年度	79,253	28,394	2.8

資料：企画財政課 注) 10月1日現在人口は「毎月人口異動調査」数値

産業別市町村内総生産

(単位：100万円)

区 分	総 生 産	
	平成25年度	平成26年度
1. 産 業	82,577	91,447
農 林 水 産 業	2,427	2,303
鉱 業	185	194
製 造 業	18,264	26,510
建 設 業	4,405	3,178
電 気 ・ ガ ス ・ 水 道 業	3,569	4,314
卸 売 ・ 小 売 業	4,614	4,216
金 融 ・ 保 険 業	3,746	3,892
不 動 産 業	17,845	17,937
運 輸 業	5,554	6,028
情 報 通 信 業	1,227	1,038
サ ー ビ ス 業	20,742	21,836
2. 政府サービス生産者	5,461	5,569
3. 対家計民間非営利サービス生産者	2,641	2,503
4. 小計（1+2+3）	90,679	99,519
5. 輸入品に課される税・関税	1,214	1,790
6. (控除) 総資本形成に係る消費税	496	708
7. 市町村内総生産（4+5-6）	91,397	100,601

資料：企画財政課

市町村民所得・可処分所得の分配

(単位：100万円)

項 目	平成 25 年 度	平成 26 年 度
1. 雇用者報酬	53,038	53,575
(1) 賃金・俸給	45,473	45,908
(2) 雇主の社会負担	7,565	7,667
a. 雇主の現実社会負担	6,002	6,142
b. 雇主の帰属社会負担	1,563	1,525
2. 財産所得(非企業部門)	3,891	5,951
a. 受 取	4,872	6,945
b. 支 払	981	994
(1) 一般政府	△ 304	△ 255
a. 受 取	584	621
b. 支 払	887	875
(3) 家 計	4,124	6,135
① 利 子	334	2,176
a. 受 取	420	2,284
b. 支 払	86	108
② 配当(受取)	612	782
③ 保険契約者に帰属する財産所得	2,249	2,291
④ 賃貸料(受取)	930	887
(2) 対家計民間非営利団体	71	71
a. 受 取	78	80
b. 支 払	8	10
3. 企業所得(法人企業の分配所得受払後)	19,817	19,728
(1) 民間法人企業	7,309	8,222
a. 非金融法人企業	7,329	7,386
b. 金融機関	△ 20	836
(2) 公的企業	724	295
a. 非金融法人企業	133	205
b. 金融機関	591	90
(3) 個人企業	11,784	11,211
a. 農林水産業	409	279
b. その他の産業(非農林水・非金融)	2,075	1,715
c. 持ち家	9,300	9,218
4. 市町村民所得(要素費用表示)(1+2+3)	76,746	79,253
5. 生産・輸入品に課される税(控除)補助金	6,143	7,256
6. 市町村民所得(市場価格表示)(4+5)	82,888	86,509

資料：企画財政課

消防施設と人員

年 度	施 設											人 員			
	自動 消防 車	指 令 車	査 察 車	積 載 車	ポ ン プ 小 型 動 力	自 動 車 救 急	警 鐘 楼	防 火 水 槽		消 火 栓	器 具 置 場	消 防 団		消 防 本 部 署	
								定数	実数			定数	実数		
平成23年度	台 13	台 2	台 2	台 22	台 42	台 2	基 58	個所 234 (13)		基 1,465 (194)	個所 46	人 835	人 753	人 41	人 41
24	13	2	2	23	42	2	56	234 (13)		1,464 192	45	835	756	42	42
25	13	2	2	23	42	2	56	234 (13)		1,470 194	45	835	720	42	42
26	13	2	2	23	42	2	56	232 (11)		1,408 131	45	769	715	47	47
27	13	2	2	23	42	2	56	210 (13)		1,474 194	45	769	701	46	46

資料：北アルプス広域消防本部

- 注) 1. () は私設の消防施設。 2. 警鐘楼はホース乾燥施設も含む。
 3. 積載車は小型ポンプ付である。 4. 大町市については大町消防団と北アルプス広域大町消防署の合算数値。

救急出動及び搬送状況

年 次	出 動 件 数										搬 送 人 員		
	総数	交通	急病	運動 競技	一般 負傷	労働 災害	自損 行為	水難 火災	加害	転院・ その他	総数	男	女
平成24年	件 2,966	件 241	件 1,592	件 35	件 586	件 20	件 19	件 1	件 8	件 464	人 2,896	人 1,528	人 1,368
25	3,202	196	1,768	34	624	20	31	—	4	525	3,077	1,666	1,411
26	3,462	196	1,964	40	690	25	29	2	8	508	3,359	1,787	1,572
27	3,395	212	1,861	49	681	42	5	12	9	524	3,269	1,748	1,521
28	3,379	175	1,905	24	663	66	17	5	9	515	3,251	1,720	1,531

資料：北アルプス広域消防本部 注) 数値は、大町消防署・北部消防署・南部消防署の合算数値である。

出火原因別の出火件数

年 次	総数	た ば こ	火 あ そ び	た き 火	こ ん ろ	(疑 含) 放 火	風 呂 か ま ど	ス ト ー ブ	煙 突 ・ 煙 道	電 灯 ・ 配 線	交 通 機 関	(調 査 中) 不 明	そ の 他
平成24年	7	件 —	件 —	件 1	件 —	件 2	件 1	件 —	件 —	件 —	件 —	件 1	件 2
25	9	—	—	2	1	1	—	2	—	—	—	2	1
26	7	—	1	1	—	1	—	—	—	—	—	1	3
27	7	1	—	3	—	—	—	1	—	2	—	—	—
28	10	—	—	1	1	1	2	—	1	—	—	3	1

資料：北アルプス広域消防本部

火災の発生件数・焼失面積と損害額等

年次	火災件数					焼損面積		死傷者数		損害額 千円
	総数	建物	林野	車両	その他	建物 m ²	林野 a	死者 人	負傷者 人	
平成24年	7	6	—	—	1	282	—	—	1	9,797
25	9	6	1	1	1	726	—	1	6	17,041
26	7	5	—	—	2	368	2	—	2	17,193
27	7	5	1	—	1	495	17	1	—	13,414
28	10	9	—	1	—	734	—	1	1	23,867

資料：北アルプス広域消防本部

山岳遭難事故の状況

原因別	平成 24年	平成 25年	平成 26年	平成 27年	平成 28年
発生件数	70	72	73	76	63
死亡者	14	12	11	11	4
救出された者（うち負傷者）	68 (42)	66 (41)	66 (41)	68 (41)	67 (32)
行方不明の者	1	—	1	1	2
総数	83	78	78	81	73
疲労・凍死傷	20	8	17	9	9
吹雪	—	—	—	—	—
なだれ・雪庇・ブロックの崩落	2	4	3	3	—
転倒・転落・滑落	37	46	42	36	32
落石	—	—	1	3	—
道に迷い	3	10	4	8	16
グリセードの失敗	—	—	—	—	—
病気	9	7	7	9	5
その他	11	2	3	12	5
原因不明	1	1	1	1	2

資料：大町警察署 注) 大町警察署管内の数値。

交通違反

年次	総数		無免許 運転	一時停止 違反	積載乗車 違反	飲酒酩酊 運転	速度違反	その他 (免許不携帯を含む)
	実数	対前年比						
	件	%	件	件	件	件	件	件
平成24年
25	2,581	...	4	428	—	8	724	1,417
26	1,976	77	9	238	—	13	697	1,019
27	2,022	102.3	—	243	—	1	687	1,091
28	1,520	75.1	1	242	—	6	557	714

資料：大町警察署 注) 大町警察署管内の数値

交通事故

年次	死傷者			事故件数			
	総数	死者	傷者	総数	自動車	二輪車(含原付)	その他の車
	人	人	人	件	件	件	件
平成24年	329	4	325	239	212	10	17
25	279	6	273	222	194	15	13
26	275	4	271	198	169	15	14
27	282	1	281	208	188	7	13
28	234	4	230	177	155	7	15

資料：大町警察署 注) 大町警察署管内の数値

刑法犯罪の発生件数と検挙件数

年次	区分	総数	凶悪犯				一般犯				
			殺人	強盗	放火	強姦	暴行傷害	窃盗	詐欺	横領	その他 刑法犯
平成24年	発生	415	—	1	2	—	9	326	8	1	68
	検挙	96	—	1	—	—	7	66	3	...	19
25	発生	371	1	—	1	—	14	282	18	6	49
	検挙	139	1	—	3	—	13	103	3	6	10
26	発生	313	—	—	—	—	5	220	31	4	53
	検挙	193	—	—	—	1	5	113	49	4	21
27	発生	401	1	—	1	—	15	312	21	—	51
	検挙	120	1	—	1	—	13	96	2	—	7
28	発生	262	—	—	1	—	16	192	8	—	45
	検挙	145	—	—	1	—	17	103	4	—	20

資料：大町警察署 注) 1. 大町警察署管内の数値である。

2. その他刑法犯には、強制わいせつ、偽造、恐喝、脅迫等を含む。

民事事件の推移

(単位：件)

年次	総数			訴訟事件			督促事件			民事調停事件			その他の事件		
	新受	既済	未済	新受	既済	未済	新受	既済	未済	新受	既済	未済	新受	既済	未済
平成24年	285	303	21	108	125	19	98	99	—	6	8	—	73	71	2
25	195	200	16	60	68	11	72	70	2	9	6	3	54	56	—
26	163	153	26	59	46	24	60	62	—	8	9	2	36	36	—
27	142	157	11	45	61	8	47	47	—	17	16	3	33	33	—
28	162	162	11	48	47	9	71	71	—	5	6	2	38	38	—

資料：最高裁判所「裁判統計データベース」

注) 1. 数値は、大町簡易裁判所の取扱件数である。

2. 平成28年の数値は概数である。

3. 訴訟事件の内訳

通常訴訟，手形・小切手訴訟，少額訴訟，少額訴訟判決異議

4. 民事調停事件の内訳

一般調停，宅地建物調停，農事調停，商事調停，交通調停，公害等調停，特定調停

刑事事件の推移

(単位：人)

年次	総数			訴訟事件			略式事件			その他の事件		
	新受	既済	未済	新受	既済	未済	新受	既済	未済	新受	既済	未済
平成24年	140	138	2	—	—	—	111	109	2	29	29	—
25	159	152	9	—	—	—	117	110	9	42	42	—
26	144	145	8	—	—	—	98	99	8	46	46	—
27	126	127	7	—	—	—	93	94	7	33	33	—
28	131	132	6	—	—	—	86	87	6	45	45	—

資料：最高裁判所「裁判統計データベース」

注) 1. 数値は、大町簡易裁判所の取扱人員である。

2. 平成28年の数値は概数である。

3. 訴訟事件の内訳

通常第一審，再審事件

家事事件の推移

(単位：件)

年次	総数			審判			調停			その他		
	新受	既済	未済	新受	既済	未済	新受	既済	未済	新受	既済	未済
平成24年	3,540	3,510	476	2,842	2,821	180	540	503	251	158	186	45
25	3,623	3,568	531	2,902	2,828	254	579	587	243	142	153	34
26	3,471	3,569	433	2,788	2,886	156	540	546	237	143	137	40
27	4,038	4,087	384	3,265	3,274	147	591	626	202	182	187	35
28	3,893	3,879	398	3,179	3,206	120	540	502	240	174	171	38

資料：最高裁判所「裁判統計データベース」

注) 1. 数値は、大町市を管轄する長野家庭裁判所松本支部の取扱件数である。

2. 平成28年の数値は概数である。

観光客の入込数の推移（延数）

年次	観光客総数	光 地 内										対前年比	消費額	
		大町温泉	高瀬郷	高瀬渓谷	市街地・東山	黒部ダム	後立山	仁科湖	鷹高	狩原	新行高原・ぽかぽかランド美			高原・ぽかぽか
	百人	百人	百人	百人	百人	百人	百人	百人	百人	百人	百人	百人	%	千円
平成24年	29,000	5,897	1,111	1,426	8,878	860	7,637	259	1,200	1,733	101.5	12,240,576		
25	29,149	5,596	1,151	1,231	9,914	873	7,414	539	1,124	1,307	100.5	12,570,287		
26	27,553	5,120	944	1,442	9,193	881	7,005	490	1,076	1,402	94.5	11,796,775		
27	28,273	5,170	1,053	1,433	10,094	837	7,087	461	470	1,668	102.6	12,270,385		
28	27,248	4,410	916	1,426	9,306	739	7,737	417	656	1,641	96.4	11,698,120		

資料：観光課

注）平成21年次から大町温泉郷と高瀬渓谷の統計が分かれる

観光客の入込数（スキー場）

年 度	総 数	サンアルピナ 鹿島槍 スキー場	サンアルピナ 青木湖 スキー場	ヤナバ スキー場	大 町 スキー場	爺 方 岳 スキー場
	人	人	人	人	人	人
平成23年度	203,696	152,686	—	23,780	—	27,230
24	190,891	140,275	—	24,106	—	26,510
25	175,985	146,145	—	—	—	29,840
26	189,918	143,035	—	14,563	—	32,320
27	119,491	96,514	—	8,817	—	14,160

注）この表の数値は、「観光客の入込数の推移（延数）」の観光客総数に含まれている。

観光地等の概要

名称	概要	要
木崎湖 1.413km ²	仁科三湖中最も開発された湖で、キャンプ場などがある。新緑、夏の避暑、紅葉、黒部ダム探勝の基地の温泉をもち、四季を通じて訪れる人があとをたない。 湖畔には伝統を誇る夏期大学があり、全国各地から集まる講師や受講生で賑わい、風光明媚な自然の環境が年と共に活況を極めつつある。 大系線信濃木崎駅から徒歩15分。	
中綱湖 0.141km ²	周囲2.225mで仁科三湖中最も小さい。ワカサギ、ヘラブナ、ウグイ、コイ等が豊富で避暑がてらの釣り人の好適地として知られている。また冬の穴釣りは野趣に富んでいる。春の湖畔はオオヤマザクラがととも美しい。 大系線築場駅下車前。	
青木湖 1.863km ²	湖畔の静寂さは仁科三湖中随一であり、白馬三山を紺碧の湖面に映している。湖畔には西国三十三番の観音石仏がかつての千国街道の面影を残し、キャンプ、ハイキングの散策には最適である。 大系線築場駅から徒歩20分。	
鹿島槍スポートヴィレッジ (鹿島槍スキー場) 78.0ha	眼前に鹿島槍、爺ヶ岳の勇姿が迫る眺望雄大なスキー場。晴天には遠く浅間、妙高の諸連峰が望め、積雪量豊富で広大なゲレンデで子供から大人まで楽しめる。 ふもとの民宿からリフトの便もあり、またナイタースキーも楽しめる。夏場もネイチャーツアーやバーベキュー、星空観察など様々な体験が可能。 大系線築場駅から徒歩15分。また、信濃大町駅から無料シャトルバス40分。	
ヤナバススキー場 30.0ha	北アルプスの山々を望み、仁科三湖を懐に抱く眺望豊かなスキー場。スノーボード用のコースが充実しており、ビッグテーブルトップやハーフパイプなど、多彩なアトラクションを配置。 大系線ヤナバススキー場前駅(冬期臨時駅)下車すぐ。国道148号沿い。	
爺ヶ岳スキー場 40.0ha	後立山連峰に抱かれた標高1,000mの高原で、良質な粉雪に恵まれたゲレンデを持つスキー場。 スキー場ベース部分は広い緩斜面を持ち、初心者から中級者向けの練習バーンに最適。上部は林間コースとなっており、晴天時には安曇野も見渡せる。広さのあるちびっこゲレンデには現在ではとても珍しいトロイカがあり、子供たちに大変人気がある。 大系線信濃大町駅からタクシー15分、ふれあい号30分(日曜・祝日・年末年始運休)。	
葛温泉と高瀬渓谷	槍ヶ岳に源を発する高瀬川が奇岩をつくり出し、独特の渓谷美をみせている。急峻な谷が新緑や紅葉に彩られ、白い花崗岩がコバルトブルー色の清水に映えて、すばらしい景観をつくりだしている。この渓谷に東京電力が高瀬、七倉の2つのロックフィルダムをつくった。高瀬ダムは高さが176mの日本有数の巨大ロックフィルダムで、霞ヶ関ビルの容積の約20倍、1,159万m ³ 、また七倉ダムは高さ125m、ダム体積738万m ³ で、この2つのダム湖に映える四季おりおりの景観はすばらしい。 また下流の大町ダム(国土交通省)には、ダムサイドの緑地公園があり、治山治水事業のモニユメントとして泉小太郎像がある。 この渓谷のなかには葛温泉の3軒の温泉宿もある。この温泉は約300年前から開かれ、湯量も豊富で露天風呂もある渓谷のいで湯である。 山菜や岩魚等季節の味覚こそ忘れ得ぬものがあり、槍ヶ岳、三俣蓮華岳、烏帽子岳方面への登山基地でもある。4月下旬～11月上旬は七倉～高瀬ダム間市内特定タクシーのみ乗り入れ可能。 大系線信濃大町駅からタクシー35分(冬期通行止め)。	
大町温泉郷	昭和39年秋に大町アルペンライン沿いに建設された温泉郷である。後立山連峰の背景と鹿島川の流れ、白樺とカラマツの林にかこまれたこの温泉郷は保養地として人気がある。 また、酒の博物館やゴッホが愛した歌川派(浮世絵)美術館、アルプス温泉博物館等の博物館もある。 大系線信濃大町駅から路線バス13分。	
木崎湖温泉	葛温泉からの引湯で、湖畔の温泉として人気を呼んでいる。 木崎湖を中心に四季のレジャーに最も恵まれており、交通の便もよいため四季を通じて若者や家族連れが憩う。 大系線信濃木崎駅から徒歩15分。	
立山黒部アルペン	世紀の難工事といわれ秘境黒部渓谷に誕生した黒部ダムをはじめ、北アルプスを貫いて大町と富山県立山とを結ぶアルペンルートは、日本の屋根であるアルプスの景観と黒部大渓谷をほしいままに親賞でき、我が国で他に類をみない国際的スケールの山岳大観光ルートである。 観光期間4月中旬～11月30日。大系線信濃大町駅から路線バス40分(冬期通行止め)。	

名 称	概 要
黒 部 ダ ム	黒部渓谷に513億円の総工費と延1千万人の労働力、7年の歳月を要してつくられた、日本第一位の高さ186m、堤頂長492m、体積158万㎡のアーチ式ドーム越流型ダムで、黒部湖の総貯水量は約2億㎡。その迫力ある放水は見もの。 大糸線信濃大町駅から路線バス40分。乗り換えトロリーバス16分。
市 立 大 町 山 岳 博 物 館	昭和26年、公民館青年部の熱意と市民の積極的な援助により創設された、日本初の山岳博物館。展望室からは北アルプスの雄大な眺めを満喫できるほか、山と芸術・黎明期から近代までの登山史・里山から高山までの動物や植物を紹介している。またコマクサ園では高山植物に、付属園では特別天然記念物のカモシカのほか北アルプスとその山ろくに生息する動物たちにも出会える。 大糸線信濃大町駅からタクシー5分。
酒 の 博 物 館	大町温泉郷にあり、酒造りの歴史や文化、道具などをはじめ、全国の酒約1,500点を展示している。試飲コーナーでは、甘口から辛口まで地酒5種類の飲みくらべができ、売店・地酒センターでは地酒をはじめ、オリジナル品を含む物産の販売もしている。 大糸線信濃大町駅から路線バス13分。
大 工 博 物 館	エネルギーや科学の基礎について楽しみながら学べる博物館。 土日祝祭日には、科学体験工作教室を開催（期間中は随時受付）。親子で一緒に工作にチャレンジするのに最適。 大糸線信濃大町駅からタクシー20分。ふれあい号35分（日曜・祝日・年末年始運休）。
塩 の 道 ち ょ う じ や (旧塩の道博物館)	大町山岳博物館に通じる道路沿いの市街地にあり、塩問屋であった平林家の母屋を一般公開した博物館である。糸魚川から松本に至る海と内陸を結ぶ干国街道は塩の道と呼ばれ、当時の経済道路でありその中継場所であったこの建物は当時の面影をのこしており、貴重な古文書や生活用品が展示され往事をしのばせてくれる。 大糸線信濃大町駅から徒歩10分。
流 鎚 馬 会 館	大町の流鎚馬と若一王子神社例大祭に関する資料を展示。塩の道ちょうじやに併設。 大糸線信濃大町駅から徒歩10分。
ア ル プ ス 温 泉 博 物 館	温泉を様々な角度より見て、触れて、知ることのできる博物館。温泉の誕生から入浴法、効能などわかりやすく紹介している。湯けむり屋敷薬師の湯に併設。 大糸線信濃大町駅から路線バス13分。
大 町 市 民 俗 資 料 館	江戸時代から昭和30年代に入るまで社地区の主要産業として地域経済を支えてきた松崎和紙、および宮本和紙の資料や旧社小学校に所蔵されていた明治から現代に至る教科書等の資料、社地区で出土した、写経石などの考古資料、指定文化財の資料、紙すきの道具、各種節句人形などを展示、社公民館併設。 大糸線信濃大町駅からタクシー5分。ふれあい号15分（日曜・祝日・年末年始運休）。
劇 団 四 季 博 物 館	劇団四季創設以来のあゆみを、舞台模型、パネル写真、台本、記念資料、又、実際に舞台上で使用した大・小道具、衣装等を展示紹介している。四季オリジナルグッズの販売コーナー有。 大糸線信濃大町駅からタクシー15分。ふれあい号30分（日曜・祝日・年末年始運休）。
ア ル プ ス 搗 精 工 場	日本最大規模の酒造搗精工場。近代設備と最先端コンピュータ管理により、酒造米を精白し高品質純度の生産が可能。長野県の酒約97種の展示と試飲コーナーがあり、販売も行っている。 大糸線信濃大町駅からタクシー10分。
ゆ～ぷる木崎湖	25m温水プール、ウォータースライダー、子どもウォータープレイプールを備えたプール棟、大浴場、露天風呂、サウナ、ジャグジーを備えた温泉棟、レストラン、多目的に使える宴会場などがあり、快適にご利用いただける。 大糸線信濃木崎駅から徒歩10分。
大 町 ダ ム 情 報 館	大町ダムの役割や周辺の自然環境について、パネルやパソコンで分かりやすく解説している。また龍神湖散策コースや地域のイベントなど、多くの周辺情報を提供している。 大糸線信濃大町駅からタクシー20分。
「ラ・カスタ」 ナチュラルヒーリングガーデン	人と自然のふれあいを通じて、心豊かで心地よいナチュラルライフスタイルを提案する“美と癒し”のヒーリングガーデン。アロマセラピーを応用した自分だけの香り製品をつくる香りの手作り体験工房も設置されている。

名 称	概 要
西丸震哉記念館	木崎湖畔にたたずむギャラリー。日本の探検登山の草分け的存在といわれる西丸震哉氏のコレクションを美術家、杉原信幸氏の監修のもとに展示している。 西丸氏の貴重な収集品と、その活動の足跡に触れることのできる記念館。 JR稲尾駅から徒歩5分。
唐花見湿原	標高945mの山間に、周辺をカラマツ・アカマツ・杉などの針葉樹やコナラなどの雑木林と畑地で囲まれた低湿原。湿原に積もった泥炭は厚さ2.6m以上になり、8,000年あまりの歴史を持つといわれる。資源が乏しい時代には泥炭を掘り出して燃料にしたこともあった。 掘跡はトンボなど水にすむ生き物の棲み家になっている。唐花見湿原の一番良い季節はミヤマウメドキの実がなる頃。10月から見られる。晩秋から初冬にかけての静まり返った湿原の散歩がおすすめ。 信濃大町駅からタクシー10分。ふれあい号10分（日曜・祝日・年末年始運休）。
金熊温泉	八坂北部の山中から湧き出る「金熊温泉」。美人の湯とも言われるこの温泉の泉質は単純硫黄泉で、湯冷めせず保温効果が抜群。 古くからこの地に伝わる金太郎伝説にちなんで金熊温泉と名付けられた。 信濃大町駅からタクシー15分。ふれあい号20分（日曜・祝日・年末年始運休）。
新行高原	美麻地区の西に位置し、標高900mの高原で夏でも涼しくすごしやすい。北アルプスの景観も素晴らしい。また、高原の気候に適したそばも栽培しており、信州のそばどころとして定着している。
麻の館	美麻地区の名前の由来ともなった麻の栽培と麻づくりの手仕事についての展示があり、麻の伝統と歴史など、麻のすべてが分かる博物館。1階はそばの専門店となっており、北アルプスの展望を楽しみながら手打ちそばが楽しめる。そば打ち体験も可能（要予約）。 信濃大町駅から特急バス13分。ふれあい号40分（日曜・祝日・年末年始運休）。
ぽかぽかランド美麻	通称オリンピック道路（県道31号線）沿いに位置するぽかぽかランド美麻は温泉・宿泊・食事・宴会にも利用できる施設。黒部ダム、安曇野、白馬村、長野市へのアクセスも容易にでき、アクティブな旅の拠点として利用可能。 また、浴場は露天風呂を含め日替わりで計7種類の施設を楽しむことができる。 信濃大町駅から特急バス22分。ふれあい号40分（日曜・祝日・年末年始運休）。
国営アルプスあづみの公園（大町・松川地区）	広大な自然環境を満喫しながら、様々な遊び体験や森の癒しを体感することができる国営公園。大町・松川地区では、森の散策体験のほか園内の素材を活用したクラフト体験や、灰焼きおやきなどの様々な体験に参加できる。 信濃大町駅からタクシー20分。

資料：観光課

北アルプスの紹介

北アルプス（飛騨山脈）は長野・新潟・富山・岐阜の4県にまたがり、奥穂高岳（3,190m）を筆頭に標高3,000mを超える山々を多く連ねて本州の中央部に位置する山脈で、中央アルプス（木曾山脈）・南アルプス（赤石山脈）とともに日本の屋根ともいえる日本アルプスを形成している。

その生い立ちは新生代第四紀の初め（約250万年前）ごろまでさかのぼる。そのころから始まった隆起活動は、火山に象徴されるようなマグマ活動を伴いながら今もなお続いている。この大山脈の東側には約2,000万年前ごろに大きく陥没してできた、フォッサマグナ（大地溝帯）が広がっており、北アルプスとは地形や地質の点で大きく異なっている。糸魚川－静岡構造線は、この北アルプスとフォッサマグナを境する大断層である。

日本海の親不知付近の海底からそそりたつ北アルプスの山脈群は安房峠の南にそびえる乗鞍岳（3,026m）まで続き、北の朝日岳（2,418m）から南の乗鞍岳まで約87.5kmにわたる。この間は黒部・高瀬・梓川が形成する溪谷によって3筋の山脈に大別され、北から、白馬岳（2,932m）や鹿島槍ヶ岳（2,889m）を抱える後立山連峰（鹿島槍連峰）、劔・立山連峰、裏銀座縦走路と呼ばれる登山コースが通る烏帽子・鷲羽連峰、常念山脈、槍・穂高連峰、乗鞍火山脈の各山域に区分される。一帯は中部山岳国立公園に指定され、自然環境・景観が保護されつつ登山者・スキーヤー・観光客など多くの人々に親しまれている。

高山植物の咲き乱れるお花畑、高山に生きる動物たち、山と溪谷の織り成す山岳美、陰しい岩と雪、そして山麓の独特の文化的景観と出で湯…。裾野から山頂まで四季にわたる魅力は尽きず、北アルプスは世界に誇ることができる日本の山々の代表格となっている。

大町の山岳標高一覧（2,400m以上）

標高降順

	山名	読み	標高 (m)	境界・備考
1	槍ヶ岳	ヤリガタケ	3,180	大町市・松本市
2	野口五郎岳	ノグチゴロウダケ	2,924	大町市・富山市
3	鷲羽岳	ワシバダケ	2,924	大町市・富山市
4	大天井岳	ダイテンジョウダケ (オテンショウダケ)	2,922	大町市・安曇野市・松本市
5	鹿島槍ヶ岳	カシマヤリガタケ	2,889	大町市・黒部市・立山町
6	ワリモ岳	ワリモダケ	2,888	大町市・富山市 ※1
7	真砂岳	マサゴダケ	2,862	大町市・富山市 ※1
8	双六岳	スゴロクダケ	2,860	大町市・高山市
9	三ツ岳	ミツダケ	2,845	大町市・富山市
10	三俣蓮華岳	ミツマタレンゲダケ	2,841	大町市・富山市・高山市
11	針ノ木岳	ハリノキダケ	2,821	大町市・立山町
12	五龍岳	ゴリュウダケ	2,814	黒部市 ※2
13	蓮華岳	レンゲダケ	2,799	大町市・立山町
14	赤岩岳	アカイワダケ	2,769	大町市・松本市
15	燕岳	ツバクロダケ	2,763	大町市・安曇野市
16	西岳	ニシダケ	2,758	大町市・松本市
17	縦沢岳	モミサワダケ	2,755	大町市・高山市
18	スバリ岳	スバリダケ	2,752	大町市・立山町
19	南真砂岳	ミナミマサゴダケ	2,713	大町市
20	布引山	ヌノビキヤマ	2,683	大町市・立山町 ※1
21	赤沢岳	アカザワダケ	2,678	大町市・立山町
22	爺ヶ岳	ジイガタケ	2,670	大町市・立山町
23	餓鬼岳	ガキダケ	2,647	大町市
24	鳴沢岳	ナルサワダケ	2,641	大町市・立山町
25	唐沢岳	カラサワダケ	2,633	大町市 ※H26三角点
26	岩小屋沢岳	イワゴヤザワダケ	2,630	大町市・立山町
27	烏帽子岳	エボシダケ	2,628	大町市・富山市
28	南沢岳	ミナミサワダケ	2,626	大町市・立山町 ※H26三角点
29	不動岳	フドウダケ	2,601	大町市・立山町
30	硫黄岳	イオウダケ	2,554	大町市
31	牛首山	ウシクビヤマ	2,553	大町市・黒部市・立山町
32	北葛岳	キタクズダケ	2,551	大町市・富山市
33	白岳	シラタケ	2,541	大町市・白馬村・黒部市 ※1
34	七倉岳	ナナクラダケ	2,509	大町市・富山市 ※1 山群中最高峰の数値
35	東沢岳	ヒガシザワダケ	2,497	大町市 ※1
36	東餓鬼岳	ヒガシガキダケ	2,490	大町市・安曇野市 ※1
37	船窪岳	フナクボダケ	2,459	大町市・富山市 ※1 山群中最高峰の数値
38	赤岳	アカダケ	2,416	大町市 ※1

※1……標高は国土地理院発行の5万分の1地形図記載の数値による。

※2……三角点は黒部市側にあるが山頂付近は大町市と隣接する。

なお、注記以外の標高はすべて『日本の山岳標高一覧—1003山—』（国土地理院、1991）の数値による。

資料作成：市立大町山岳博物館

資 料

◆行政組織機構図

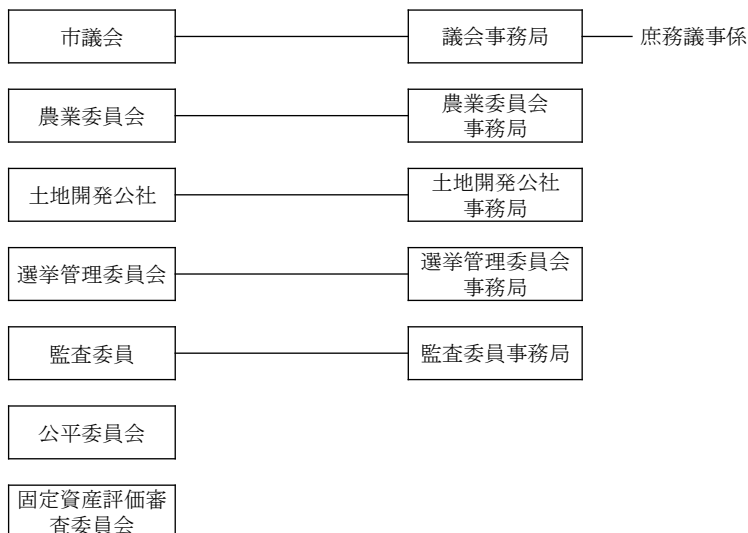
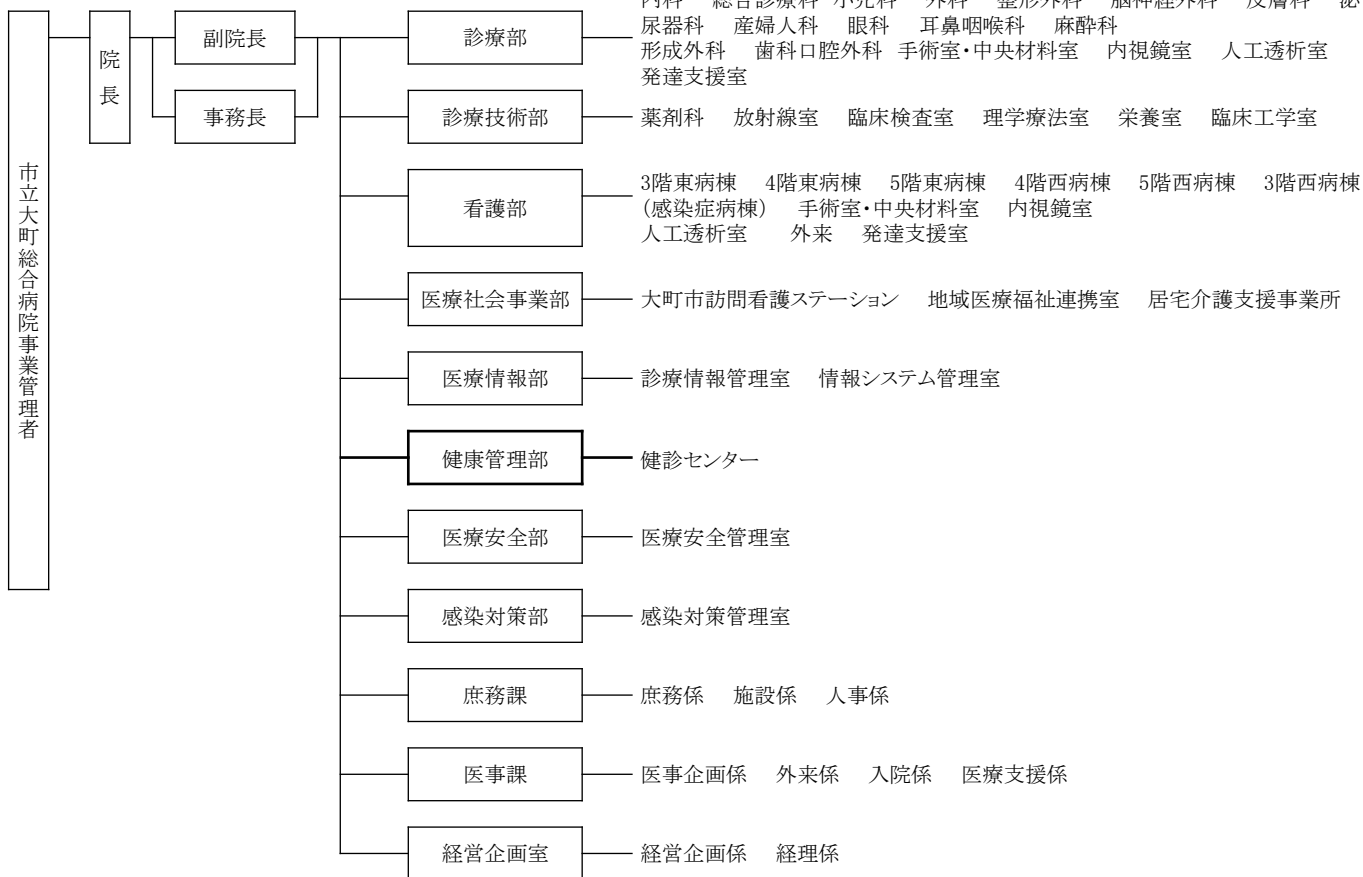
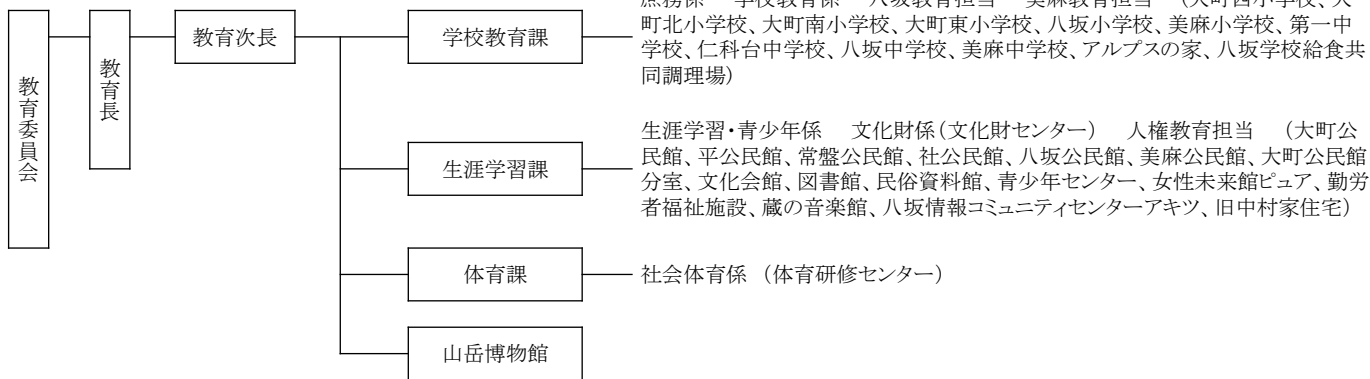
◆市内体育施設

◆市内社会施設

大町市行政組織機構図

平成28年4月1日 施行





※()は附属施設、または、管理している施設

課 等 の 事 務 分 掌

課 等 名		事 務 分 掌
庶 務	課	議案・秘書・例規・職員人事・文書・車両管理・市民参加と協働のしくみ・その他の課の分掌に属さないことに関する事
企 画 財 政	課	企画・調整・統計調査・実施計画・総合計画・広域行政・財政・予算・市有財産・物品購入・検収・庁舎管理・地籍調査・土地開発公社等に関する事
ま ち づ くり 交 流	課	定住促進・男女共同参画・人権政策・市民活動サポートセンター・芸術文化・国際芸術祭等の開催に関する事
税 務	課	市民税・固定資産税・その他諸税の調査・賦課及び徴収に関する事
消 防 防 災	課	消防団・消防水利・防災施設・水防・防災計画・危機管理・防犯に関する事
情 報 交 通	課	地域情報化・事務処理の電算化・総合情報センター・ケーブルテレビ放送事業・広聴広報・市民バスに関する事
市 民	課	戸籍・住民基本台帳・印鑑・国民健康保険・国民年金・消費者行政・交通安全対策・保健事業・母子保健・保健センターに関する事
生 活 環 境	課	環境衛生・公害対策・し尿処理・ごみ処理に関する事
福 祉	課	生活保護・高齢者福祉・介護保険制度・総合福祉センター・八坂総合福祉センター・美麻総合福祉センターに関する事
子 育 て 支 援	課	児童福祉・保育所・子育て支援・児童センター等に関する事
商 工 労 政	課	商工業、中小企業の振興・雇用対策・労政・ブランド振興・地場産業の振興に関する事
観 光	課	観光振興・誘客宣伝・観光施設の維持管理・国営公園を生かした地域振興に関する事
農 林 水 産	課	農業、林業、畜産業、水産業等の振興・農地保全利用に関する事
産 業 立 地 戦 略 室		工業振興・企業誘致に関する事
建 設	課	都市計画・市道、農道、林道、用水路、公園、公共物等の管理・除雪・農地整備・市営住宅等の維持管理に関する事
上 下 水 道	課	水道事業・公営簡易水道事業・下水事業・市有源泉等に関する事
八 坂 支 所	総 務 係	文書・車両管理・庁舎管理・市税、使用料等の徴収・地域内防災及び災害救助・地域自治組織・過疎対策・地域振興事業等に関する事
	民 生 係	戸籍・住民基本台帳・印鑑・国民健康保険、国民年金に係る受付・福祉医療・環境保全・交通安全・生活保護・障害者福祉、老人福祉、児童福祉等に係る受付に関する事
	産 業 建 設 係	地場産業の振興・農道、水路、林道の維持・加工施設の管理・観光振興・市道、公共物の維持・除雪・砂防、地滑り対策・地域振興住宅・市営住宅に係る受付に関する事
美 麻 支 所	総 務 係	文書・車両管理・庁舎管理・市税、使用料等の徴収・地域自治組織・過疎対策・メンドシーノ交流事業に関する事
	民 生 係	戸籍・住民基本台帳・印鑑・国民健康保険、国民年金に係る受付・環境保全・交通安全・生活保護・障害者福祉、老人福祉、児童福祉等に係る受付に関する事
	産 業 建 設 係	地場産業の振興・農道、水路、林道の維持・加工施設の管理・市民農園の管理・観光振興・市道、公共物の維持・除雪・砂防、地滑り対策・地域振興住宅・市営住宅に係る申請受付に関する事
会 計 課		現金の出納・保管・決算・その他経理に関する事
市 立 大 町 総 合 病 院		診療（内科・外科・産婦人科・耳鼻咽喉科・眼科・小児科・整形外科・脳神経外科・皮膚科・泌尿器科・麻酔科・脳外科・形成外科）事務・薬剤・放射線・臨床検査・人工透析・リハビリテーション・看護・給食に関する事
議 会 事 務 局		本会議・委員会・会議録の調整等市議会一般に関する事
教 育 委 員 会 事 務 局		学校教育・生涯学習・社会体育・同和推進・文化財の保護等に関する事
選 挙 管 理 委 員 会 事 務 局		選挙人名簿の調査・選挙の執行管理に関する事
監 査 委 員 会 事 務 局		事務監査・出納検査・決算審査に関する事
農 業 委 員 会 事 務 局		農地調整・国有農地の管理・農業振興・農政に関する事

社会施設

名称	所在地	開設年月日	収容人員(人)	敷地面積(㎡)	建物面積(㎡)
大町市中央保健センター (保健センター)	大町1058-13	H 3. 4. 1	177		896.25 (分室と共用部分を含む) 1,058.88
大町市総合福祉センター	大町1129	H14.10.1		4,571.42	(センター棟) 2,749.78 (作業所棟ほか) 462.57
母子通園訓練所あゆみ園	大町3130	S46.10.1	10	139.50	(大町病院内) 139.50
児童センター	大町4714	H18.4.1		3,417.13	延床面積570.03・建築面 570.03
老人陶芸の家	大町1058-13	S49.10.7			180.26
大町市ふれあいプラザ	常盤3546-33	H13.4.1		2,583.45	741.53
社会就労センター	社5892-6	S39.4.1	30	1,070.36	453.98
大町公民館	大町1601-2	S22.10.29	157		(共用部分も含む) 681.67
文化会館	大町1601-2	S61.5.28	1,172	25,515.00	(公民館部分も含む) 5,661.95
サン・アルプス大町	大町1601-2	S60.11.1	480	2,200.00	1,497.75
文化会館スケートボードパーク	大町1601-2	H16.4.1		840.00	
大町公民館分室	大町1058-13	H 3. 4. 1	335	2,618.85	(専用部分のみ) 1,063.39
平公民館	平10352-1	S59.4.1	691	6,194.00	996.63
女性未来館ピュア	平10352-1	S59.4.1			614.46
常盤公民館	常盤3601-18	S58.4.1	約 500	6,381.20	1,264.70
社公民館	社3945-2	S58.4.1	365	6,216.00	891.00
民俗資料館	社3945-2	S60.4.1	40	(6,216.00)	(891.00)
市立大町図書館	大町4710-6	S17.8.28			1,726.94
市立大町山岳博物館	大町8056-1	S26.11.1		39,875.92	2,683.95
大町市蔵の音楽館	大町2542-1	H16.4.1		150.00	79.30
ギャラリー・いーずら	大町3300-1	H 9. 4. 1			(いーずら大町特産館2階) 120.00
同和教育集会所	常盤3601-18	S54.4.1	47	330.00	131.98
体育研修センター	常盤5638-18	H 27. 4. 1		787.00	796.22
フレンドプラザ大町	大町1601-2	H 1.10.1	166	1,167.09	670.61
大町市労働会館	大町4111-1	H 7. 4. 1	60	532.44	(共有部分も含む) 117.51
大町市総合情報センター	大町3872-7	H13.4.1		1,720.00	913.30
大町市文化財センター	大町4700	H13.7.1		673.55	738.66
中心市街地多目的ホール	大町2511-3	H18.11.1	40	272.12	(専用部分のみ) 66.96

八坂地区

名称	所在地	開設年月日	収容人員(人)	敷地面積(㎡)	建物面積(㎡)
八坂総合福祉センター	八坂1128	H 9. 4. 1	50	2,156.68	829.95
八坂保健センター	八坂987-1	S56.4.1	70	793.00	388.80
八坂公民館	八坂1133-1	H18.1.1	約 200	8,080.00	
八坂情報コミュニティセンターアキツ	八坂1133-1	H 7. 4. 1	約 200	8,080.00	859.88

美麻地区

名称	所在地	開設年月日	収容人員(人)	敷地面積(㎡)	建物面積(㎡)
福祉企業センター	美麻9043-1	S46.8.26	30	2,155.00	750.00
美麻総合福祉センター	美麻11810	H11.9.1	250	6,220.00	(美麻保健センターも含む392.62) 1,541.00
美麻公民館	美麻11811-1	H20.1.1	138	2,677.00	(美麻支所分も含む) 755.75
重要文化財旧中村家住宅	美麻17668-1	H10.5.1		1,414.03	(主屋・土蔵・管理棟) 490.92

体育施設

名 称	位 置	開設年	面 積		
大 町 市 平 野 球 場	大町市平9539-3	S35年	10,550.00㎡		
大 町 市 平 運 動 場	大町市平9370-1	S52年	12,071.00㎡		
西 公 園	運 動 場	大町市大町4687	S42年	12,198.02㎡	
	体 育 館	大町市大町4710	S42年	966.24㎡	
大 町 市 常 盤 運 動 場	大町市常盤3516-38	S42年	9,845.41㎡		
大 町 市 平 ゲ ー ト ボ ー ル 場	大町市平9365-1	H14年	1,550.00㎡		
大町市運動公園	陸 上 競 技 場	大町市常盤5638-44	S53年	21,755.00㎡	
	サ ッ カ ー 場		S52年	12,401.00㎡	
	庭 球 場		ク レ ー	S56年	2,815.74㎡
			全 天 候	S58年	2,908.80㎡
	野 球 場		S61年	12,677.23㎡	
	多 目 的 的 広 場		S62年	10,005.00㎡	
	弓 道 場		S62年	864.79㎡	
	マレットゴルフ北コース		S57年	36ホール (パー144)	
	マレットゴルフ南コース		S63年		
	総 合 体 育 館		S63年	4,863.01㎡	
	陸上競技場メインスタンド棟		S53年	1,097.00㎡	
	サッカー場メインスタンド棟		S52年	739.00㎡	
	野球場メインスタンド棟		S61年	704.09㎡	
屋 内 運 動 場	H 6年	987.13㎡			
多 目 的 的 芝 生 広 場	H24年	2,750.00㎡			
大 町 市 B&G 海 洋 セ ン タ ー	体 育 館	大町市平10352-2	S54年	1,627.80㎡	
	艇 庫	大町市平9707-2	S54年	450.00㎡	
	多 目 的 的 広 場	大町市社3945-3	S57年	11,279.00㎡	
や し ろ 公 園 運 動 広 場	大町市社8200	H 8年	5,000.00㎡		
八 坂 ト レ ー ニ ン グ セ ン タ ー	大町市八坂11642	S58年	1,703.00㎡		
八 坂 運 動 場	大町市八坂8408	S50年	11,000.00㎡		
八 坂 テ ニ ス コ ー ト	大町市八坂8408	S50年	1,636.00㎡		
八 坂 山 村 広 場	大町市八坂14850-120	S60年	6,000.00㎡		
八 坂 ゲ ー ト ボ ー ル 場	大町市八坂14850-69	H 5年	584.73㎡		
八 坂 マ レ ッ ト ゴ ル フ 場	大町市八坂8411-2	H 7年	9,600.00㎡		
美 麻 ト レ ー ニ ン グ セ ン タ ー	大町市美麻11712	S56年	650.00㎡		
美 麻 運 動 場	大町市美麻14245	S48年	6,492.00㎡		
美 麻 丸 山 公 園 運 動 場	大町市美麻13713-2	H 4年	28,873.00㎡		
美 麻 テ ニ ス コ ー ト	大町市美麻14250	H 3年	5,857.00㎡		
美 麻 二 重 屋 内 ゲ ー ト ボ ー ル 場	大町市美麻8409	H 5年	1,411.00㎡		
美 麻 二 重 屋 外 ゲ ー ト ボ ー ル 場	大町市美麻9595-1	H 4年	1,478.00㎡		
美 麻 大 塩 ゲ ー ト ボ ー ル 場	大町市美麻3476-0-1	S62年	1,171.00㎡		
美 麻 千 見 ゲ ー ト ボ ー ル 場	大町市美麻28750-1	S57年	2,531.00㎡		

資料：教育委員会

利 用 競 技 種 目

野球（1面）、ソフトボール（1面）

ソフトボール（2面）、サッカー（1面）

野球（2面）、ソフトボール（2面）、ゲートボール（2面）、スケートリンク（1面）

バレーボール（1面）、バドミントン（3面）、空手道、バスケットボール（1面）、剣道

野球（1面）、ソフトボール（1面）、スケートリンク（1面）

ゲートボール（2面）

（フィールド内ゲートボール16面）日本陸連4種公認

（1面）

クレー（4面）

全天候（4面）

野球（1面）

野球（1面）、ソフトボール（2面）、サッカー（1面）

遠的（1面）・近的（1面）的場129.6㎡・的44.82㎡・5人立

メインアリーナ(1,627㎡)、サブアリーナ（558㎡）、ランニングコース（170m）、

バレーボール(4面)、バドミントン(13面)、バスケットボール(3面)

ギャラリー（固定席544席）・収容人数2,500名

収容人員 メインスタンド1,400名、芝スタンド4,000名

更衣室（2室）、倉庫（3室）、役員室（1室）、事務室（1室）、医務室（1室）、便所ほか

収容人員 メインスタンド743名、芝スタンド2,000名

選手控室（4室）、倉庫（3室）、役員室（1室）、放送室（1室）、医務室（1室）、便所ほか

収容人員 メインスタンド562名、内野階段スタンド352名、内野芝スタンド1,070名、外野スタンド2,616名

更衣室（2室）、事務室（1室）、本部室（1室）、放送室（1室）、便所ほか

ゲートボール（2面）、テニス（1面）、ミニサッカー（1面）

グラウンドゴルフ、ゲートボールほか

バレーボール（2面）、バスケットボール（1面）、バドミントン（3面）、テニス（1面）、卓球（4台）、

柔道（50畳）、空手道、剣道

カヌー（20艇）、OPヨット（10艇）、12Fヨット（2艇）、カッター（2艇）、ボードセール（9艇）ほか

野球（1面）、ソフトボール（1面）

ソフトボール（1面）

バスケットボール（中1面）、バレーボール（2面）、バドミントン（4面）、卓球（3台まで可）

野球（1面）、ソフトボール（2面）

クレーコート（2面）

ソフトボール（1面）

ゲートボール（1面）

18H

バドミントン（3面）、バレーボール（1面）、バスケットボール（1面）

野球（2面）、ソフトボール（2面）

野球（2面）、ソフトボール（2面）、サッカー（1面）、ラグビー（1面）

人工芝（6面）

1面

1面

屋内（1面）、屋外（1面）

2面

大町市統計要覧 2016

平成28年版
編集・発行 大町市役所
TEL.0261-22-0420

山岳文化都市宣言

私たちの大町市は、雄大な北アルプスのパノラマを代表とする、四季折々の変化に富んだ豊かで美しい大自然に恵まれています。

北アルプスの山麓で生まれ、育ってきた市民は、その長い歴史を通じて、山岳がもたらす豊かな自然環境の恵みを受けながら、自然と人との共生する独自の山岳文化を形成してきました。

私たちは、先人たちが守り育ててきた山岳文化を受け継ぎ、かけがえない豊かで美しい自然を次の世代に伝えていかなければなりません。

21世紀を迎えた今日、身近な生活環境の改善から地球環境の保全まで、様々な環境問題への取り組みが重視される中で、本市においても、市民、事業者、行政等が協働と連携を図りながら、新しい時代の課題や要求に応える山岳文化の振興が求められています。

本市における山岳文化の拠点である山岳博物館開館50周年の節目にあたり、山岳博物館創設当時の理念に学びながら、「環境の世紀」と言われる21世紀にふさわしい山岳文化の発展と創造をめざして、大町市を自然と人との共生する「山岳文化都市」とすることを宣言します。

平成14年3月15日

大町市

